

第六章 國道改良工事

第一 國道一號線(藤澤)改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度時局匡救事業トシテ當初豫算十萬圓ヲ以テ同年六月起工セルモノニシテ昭和八年度施行セル神奈川縣鎌倉郡大正村大字原宿ヨリ同村大字山谷ニ至ル間及同年度追加施工セル神奈川縣高座郡藤澤町大字大鋸地内ノ兩區間ニ介在スル延長一千二百五十九米六五ノ改築鋪裝工事ナリ而シテ之レガ完成ノ曉ハ横濱市藤澤町間ニ於テハ僅カニ横濱市保土ヶ谷區保土ヶ谷町地内延長約八百米ノ未改良區域ヲ餘スノミトナリ既ニ改築鋪裝ヲ了セル藤澤町地内ト相俟ツテ國際的觀光地タル湘南鎌倉江ノ島ニ聯絡シ得テ縣下交通運輸ニ一劃期ヲ呈スルニ至ルベシ

然ルニ實施ニ際シ豫算ニ剩餘ヲ生ジタル爲メ神奈川縣高座郡藤澤町大字藤澤大庭間及神奈川縣高座郡茅ヶ崎町大字茅ヶ崎地内改良工事ニ三萬圓ヲ流用減額シ總工費七萬圓トナレリ

計畫大要

本工事區間ハ前兩年度ニ互リ施行セル神奈川縣鎌倉郡戸塚町大字戸塚山谷間ト共ニ東海道ノ舊態ヲ存

シ道路兩側ニハ徑一米以上ノ老松現存ス而シテ其ノ路線形及縱斷勾配ハ些少ノ修整ニ依リテ改良シ得ル程度ナルモ其ノ幅員ハ甚ダ狹小不規則ニシテ平均七米ナルヲ以テ之レガ擴築ニハ松並木ヲ保存セシムル關係上前兩年度ノ如ク複線工法ト有効幅員十一米單線道路トヲ調査シ比較考究ノ結果本計畫路線ヲ撰定セルモノニシテ單線道路トシ工費ヲ節減スルト共ニ松並木ノ伐採ヲモ極メテ少數ニ止メタリ其ノ計畫概要ハ有効幅員十一米歩車道ヲ區別セズ路面構造ハ中央幅六米セメント混凝土鋪裝兩側各二米五ノ砂利敷及アスファルト乳劑塗裝トス

施工狀況

本改良工事ハ前年度ニ引續キ施工セルモノニシテ本年度ハ追加工事トシテ藤澤町大字大鋸地内延長五百米間セメント混凝土鋪裝ノ兩側各二米乃至二米五ノ部分ニアスファルト乳劑塗裝ヲ施スト共ニ工事區間ノ跡片付ヲ爲シ昭和十年七月十五日ヲ以テ全工事ノ竣功ヲ告ゲタリ

アスファルト乳劑塗裝ハ砂利敷路面上ニ碎石（十五耗級）ヲ一立方米竝ビ程度ニ敷均シ六噸ローラーニテ空締シタル後アスファルト乳劑及碎石（五耗級）ヲ以テ塗瀝鋪裝ヲ行ヒタリ

而シテ本年度ニ於テハ前述ノ如ク僅少ノ追加工事ヲ施行セルモノニシテ使用勞働者九百五十四人前年度トノ累計一萬三千二百八十五人ナリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	1,575.55 立方公尺	1,377.74	1,575.55 立方公尺	4.00	1,575.55 立方公尺	1,381.74	1.00
築堤	2,860.00 平方公尺	79.11	2,860.00 平方公尺		2,860.00 平方公尺	79.11	1.00
工擁壁	2,420.00 平方公尺	1,339.00	2,420.00 平方公尺		2,420.00 平方公尺	1,339.00	1.00
事側路	2,194.00 米	2,949.24	2,194.00 米	1,483.31	4,388.00 米	4,432.55	1.00
費雜	2,437.70 米	3,144.60	2,437.70 米	7.49	2,437.70 米	3,152.09	1.00
土地買收	825.00 平方公尺	1,113.80	825.00 平方公尺		825.00 平方公尺	1,113.80	1.00
物件移轉其他補償費	17件	22.11	17件		17件	22.11	1.00
器具機械費		11,123.80				11,123.80	1.00
雜費		13,203.20		3.00		13,206.20	1.00
共濟組合給與金		1,881.00				1,881.00	1.00
總計		67,823.30		21,411.40		89,234.70	1.00

第二 國道一號線（藤澤、茅ヶ崎）改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ施行セル神奈川縣鎌倉郡大正村大字山谷、高座郡藤澤町大字大鋸間及神奈川縣足柄下郡前羽村大字前川、同郡國府津町間ノ兩改良工事實施ニ當リ剩餘ヲ生ジタル八萬圓ヲ總豫算トシ昭和九年十二月起工セルモノニシテ神奈川縣高座郡藤澤町大字藤澤、同町大字大庭間延長七百三十三米二七ノ改築鋪裝竝ニ神奈川縣高座郡茅ヶ崎町地内延長一千七十五米二六ノ鋪裝工事ナリ

計畫大要

本工事區間ハ數年前神奈川縣ニ於テ改築セル箇所ニシテ幅員八米乃至十五米ナルモ屈曲勾配共ニ甚シク交通事故多キ藤澤町大字藤澤、大庭間ノ内大字羽鳥、大庭地内延長三百二十七米三七ノ改築ヲ施スト共ニ全區間砂利敷ノ儘ナルヲ以テ之レガ鋪裝ヲ爲シ交通運輸ノ圓滑ヲ圖ルコトトセリ其ノ計畫概要ハ有効幅員ハ藤澤町十一米乃至十五米、茅ヶ崎町ハ車道十一米、歩道各二米ノ十五米トシ路面ノ構造ハ藤澤町ハ主トシテ中央幅六米セメント、混凝土又ハアスファルト、乳劑マダム鋪裝兩側各二米乃至二米五ヲ砂利敷トシ茅ヶ崎町ハ車道九米五ヲアスファルト、混凝土鋪裝トス

施工狀況

本工事ハ前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ昭和十年十一月三十日ヲ以テ全工事ノ竣功ヲ告ゲタリ
 本工事ハ大體ニ於テ現在道路ヲ利用セルヲ以テ土工トシテハ特筆スベキモノナクセメント混凝土鋪裝
 ニ於テハコンプレツサーニ依ルランマーヲ以テ充分搗固メ且テンプレート及ベルト等ヲ使用シ地盤軟
 質ト思考セラルル箇所ニハ必要ニ應ジテクリンブ網ヲ挿入セリアスファルト乳劑鋪裝ハ多年交通ニ依
 リテ固メラレタル在來路面ヲ破壊セザル程度ニテ計畫高迄叩起シ一立方米竝ビ程度ニ碎石(五十耗級)ヲ
 敷均シローラーニテ空締シタル後水締輾壓ニ依リテ碎石ヲ定着セシメ之レノ上ニ碎石(二十耗級—十五
 耗級)及アスファルト乳劑ヲ以テ鋪設ヲ爲シ充分輾壓ノ上砂撒布ヲ爲セルモノナリ
 アスファルト、混凝土鋪裝ハ是亦在來路面ノ整正ヲ爲シタル後自然輾壓ニ依リ安定ヲ得タル地盤上ニト
 ベカ式アスファルト、混凝土厚六糎ヲ不陸ナキ様鋪設シ充分輾壓ヲ爲セルモノナルモ一部地盤軟質ト思
 考セラルル箇所ニハ基礎トシテ厚五糎ノブラツクペースヲ施シタル上ニ厚三糎ノトベカ式アスファル
 ト、混凝土ヲ鋪設セルモノナリ而シテ全線表面ノ平滑度ニ對シテハバンボメーターヲ以テ檢スルコトト
 セリ
 本年度使用セル勞働者ハ一萬四千五百二十一入前年度トノ累計一萬八千三百二十二入ナリ其ノ工事竣
 功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	4,400.00 立方米	3,111.00 円	2,100.00 立方米	3,380.00 円	6,500.00 立方米	6,491.00 円	1.00
築堤	20 平方		20 平方		40 平方		1.00
擁壁	1,000.00 平方	1,641.00 円	1,880.00 平方	3,048.00 円	2,880.00 平方	4,689.00 円	1.00
路面	100 米	1,000.00 円	210 米	2,100.00 円	310 米	3,100.00 円	1.00
側溝							1.00
工事費							
土地買収	9.50 平方	180.00 円	3.80 平方	76.00 円	13.30 平方	256.00 円	1.00
物件移轉其他補償費	2 件	2,000.00 円	1 件	1,000.00 円	3 件	3,000.00 円	1.00
器具機械費							
雜費							
共濟組合給與金							
總計		18,388.00 円		21,126.00 円		39,514.00 円	1.00

第三 國道一號線(茅ヶ崎)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ本年度ノ起業ニシテ前年度施行セル神奈川縣高座郡茅ヶ崎町大字茅ヶ崎地内改良工事ニ接續セル同地内延長一千六百六十米(内跨線橋長八米)ノ改築鋪裝工事ナリ而シテ總豫算十萬圓ヲ以テ昭和十年六月工事ニ着手セルモ實施ニ際シ豫算ニ剩餘ヲ生ジタル爲メ之レニ連接セル延長四百七十米ノ改築鋪裝ヲモ追加施行セルモノナリ

計畫大要

本改良工事區間ハ道路兩側老松亭々トシテ聳ユル間ニ無數ノ小松ヲ配スル松並木在リテ東海道ノ舊態ヲ其ノ儘存置シ線形及縱斷勾配ハ些少ノ修整ニ依リテ改良シ得ベキモ其ノ幅員ハ甚不規則ニシテ五米乃至七米ニ過ギズ因テ之ガ有効幅員ヲ十一米ニ限定シテ擴築ヲ爲ストキハ松並木大半ノ伐採ヲ避ケ難ク風致ヲ損スル事大ナルヲ以テ之ガ保存策トシテ一部切取箇所ニハ土留擁壁竝ニレ型側溝ヲ設置シ側溝縁石間ヲ最少有効幅員九米(延長約六十米)ト行セルモ其他ノ區間ハ有効幅員十一米ト爲シ排水ハ地形ニ應ジ松樹ヲ避ケツツ迂餘曲直シテ側溝ヲ設置シ松並木ノ伐採ヲ極メテ少數ニ止メタリ其計畫ハ有効幅員十一米(一部九米)トシ歩車道ヲ區別セズ路面構造中央幅六米二層式セメント混凝土鋪裝トシ兩側各一米乃至二米五ノ砂利敷トス

尙本改良工事區間ニ架設シアル橋長八米ノ跨線橋ニ對シテハ縣ヨリ通達ヲ發シ占用者タル相模鐵道株式會社ニ於テ之レガ改築工事ヲ施行セシメタルモノニシテ其ノ構造ハ丁桁床板橋ナリ

施工狀況

本工事ハ殆ンド現在道路ヲ利用セルヲ以テ土工トシテハ見ルベキモノナクセメント混凝土鋪裝ニ於テハコンプレツサーニ依ルランマーヲ以テ充分搗固メ且テンプレート及木鋸等ヲ使用シテ表面ノ平滑ヲ期スルト共ニ地盤軟質ト思考セラルル箇所ニハ必要ニ應ジテクリンブ網ヲ挿入セリ
 本年度總竣功額ハ八萬六千五百八十七圓ニシテ總工費十萬圓ニ對シ八割七分ノ竣功ナリ而シテ之レニ使用セル勞働者ハ一萬七千五百七十五人ナリ其ノ工事竣公表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
掘鑿			立方 米 111.1	円 11,111	立方 米 111.1	円 11,111
築堤			平方 米 111.1	円 11,111	平方 米 111.1	円 11,111
擁壁			立方 米 111.1	円 11,111	立方 米 111.1	円 11,111
路面			平方 米 111.1	円 11,111	平方 米 111.1	円 11,111
橋樑			延米 111.1	円 11,111	延米 111.1	円 11,111
側溝			延米 111.1	円 11,111	延米 111.1	円 11,111
雜費			延米 111.1	円 11,111	延米 111.1	円 11,111
土地買収費			平方 米 111.1	円 11,111	平方 米 111.1	円 11,111
工事費			平方 米 111.1	円 11,111	平方 米 111.1	円 11,111
合計			立方 米 111.1	円 11,111	立方 米 111.1	円 11,111
竣功			延米 111.1	円 11,111	延米 111.1	円 11,111

第四 國道一號線（二宮）改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ本年度ノ事業ニシテ同年度施行セル神奈川縣中郡二宮町大字川匂、足柄下郡前羽村大字前川間改良工事費ヨリ流用セル三萬圓ヲ以テ神奈川縣中郡二宮町大字二宮（東海道線二宮停車場入口）ヨリ同町大字山西（昭和八年度改良工事起點）ニ至ル延長六百三十五米ノ改良工事ナリ

計畫大要

本改良區間道路ノ現況ハ起點ヨリ二百米及終點附近百數十米ノ各左右ニハ人家相連ナルモ其他ハ舊東海道ノ名残りヲ止ムル老松ノ並木敷ナリ幅員ハ狹隘ニシテ五米乃至六米ヲ出デズ屈曲半徑及縱斷勾配ニ在リテハ改良ヲ要セザルノ程度ナルモ側溝ノ設備全ク無ク排水甚ダ不良ナリ
本區間ノ改良ニ當リテハ比較線ニ就キ調査シタル結果最小限度ノ松樹伐採ヲ爲シ現道路ヲ擴築スルヲ有利トシテ之ヲ採レリ其ノ計畫ハ幅員十一米ニシテ路面構造ハ終點寄り百八十米區間ハ中央車道六米ヲ混凝土鋪裝トシ左右各二米五ヲ砂利敷トシ其他ハ全幅ヲ一時的砂利敷工ニ止ム

施工狀況

本工事ハ昭和十年十二月二十七日起工ニシテ掘鑿工事ハ人力掘鑿ニ依リ五百三十三立方米ヲ竣功シ土

砂ハ本工ノ築堤土ニ利用シタル外ニ宮町前羽町間改良工事ノ過剰土九百六十立方メートルヲ本工ノ道路敷ニ捨土シテ築堤土ニ利用セリ其他ノ工事ニ在リテハ側溝工ノ一部ニ着手シタルモ功程ノ見ルベキモノナシ土地買収ハ總件數三十三件ノ内三件ヲ殘シ物件移轉其他補償ニ在リテハ三十四件中二十九件ヲ終了セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	—	—	五〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	四〇〇〇	〇・〇
工事築	—	—	—	—	—	—	—
側溝	—	—	—	—	—	—	—
土地買収	—	—	二五件	三〇〇〇	二五件	三〇〇〇	—
物件移轉其他補償費	—	—	—	—	—	—	—
器具機械費	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	—	—	—	—	—	—

第五 國道一號線（二宮）改良工事 時局匡救

緒言

本工事ハ本年度事業トシテ當初總工費二十萬圓ヲ以テ昭和十年四月二十五日起工セル一號國道神奈川縣中郡二宮町大字川匂足柄下郡前羽村大字前川間延長一千二百九十一米四ノ改良工事ナリ然ルニ其後工費ニ餘裕ヲ生ジタルヲ以テ神奈川縣中郡二宮町大字二宮同町大字山西間延長六百三十五米ノ改良工事施行ノ爲メ三萬圓ヲ流用減額シ總工費ヲ十七萬圓ト變更セルモノナリ

計畫大要

本改良區間道路ノ現況ハ全長ノ約八割ハ兩側ニ人家連檐スルモ其他ハ並木敷ナリ道路幅員ハ五米乃至八米平均六米五ニシテ屈曲半徑ハ本工ノ起點押切橋際最モ小ニシテ百米其他ハ二百米以上有ス縱斷勾配ハ最急二十分ノ一延長百四十米ノモノ二箇所アリ近時自動車交通量夥シク増加シ管ニ狹隘ナルノミナラズ側溝ノ設備甚ダ不完全ニシテ非衛生ナリ

本區間ノ改良ニ當リテハ比較線ヲ設ケ調査ノ結果全線ニ涉リ在來道路ヲ擴築スルコトトセリ計畫ノ概要ハ幅員十一米路面構造中央六米ヲ混凝土鋪裝トシ左右各二米五ヲアスファルト乳劑マカダム鋪裝トス特種工作物トシテ鐵筋混凝土丁型桁橋ヲ架設ス

施工狀況

本改良工事ハ昭和九年度執行ノ改良工事箇所ニ隣接セルヲ以テ事務所等ノ設備ハ其儘之ヲ利用シ僅ニ見張所一箇所ノ建設ニ止メタリ

掘鑿工事ハ人力掘鑿ニ依リ一萬七千二百十立方米ヲ竣功シ芝付工ノ一部ヲ殘シ本年度内土工ヲ竣ヘタリ

路面工事ハ混凝土鋪裝一層式(厚十八糎)及二層式(厚二十糎)ノ二種類ニシテ何レモ補強材トシテクリンブ網ヲ適宜挿入シ空氣壓搾機ニ依ルランマー搗固機使用木鋸仕上トシ目地ニハ十米毎ニエラストイトヲ挿入セル等ノ工法ニ依リ車道混凝土鋪裝面ノ約九割四分即チ全路面工ノ約五割ヲ竣功シタリ

側溝工ハ混凝土U型蓋付同L型及混凝土管理設等ノ各種ニシテ總延長ノ約八割六分ヲ竣功セリ
橋梁、塔臺橋ハ交通ヲ遮斷スルコトナク且假橋ノ經費ヲ節約スル爲メ半幅宛施工ノ方法ヲ採リ本年度ニ於テハ高欄ノ一部ヲ殘シ山側ノ半幅ヲ竣功セリ

土地買收ハ七十三件、物件移轉ハ家屋ノ移轉七十七戸、其他合計百件ニシテ共ニ全部ヲ完了セリ

本年度竣功額ハ十五萬三千四百九十圓ニシテ總工費十七萬圓ニ對シ九割強ノ竣功トナル而シテ之ニ使役セシ勞働者二萬四千九十二人ニシテ勞力費三萬一千四百七十七圓ヲ支拂ヘリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功歩
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿			11,310 立方公尺	11,140 圓	11,310 立方公尺	11,140 圓	1.00
築堤			2,240 平方公尺	111	2,240 平方公尺	111	1.00
擁壁			800 平方公尺	4,000 圓	800 平方公尺	4,000 圓	1.00
路面			7 平方公尺	100 圓	7 平方公尺	100 圓	1.00
側溝			1,100 米	1,100 圓	1,100 米	1,100 圓	1.00
橋梁			1 箇所	3,200 圓	1 箇所	3,200 圓	1.00
雜費				500 圓		500 圓	
土地買收費			5 平方公尺	100 圓	5 平方公尺	100 圓	
物件移轉其他補償費			100 件	40,000 圓	100 件	40,000 圓	
器具機械費				5,000 圓		5,000 圓	
雜費				2,240 圓		2,240 圓	
共濟組合給與金				3,000 圓		3,000 圓	
總計				140,000 圓		140,000 圓	0.40

第六 國道一號線(國府津)改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年時局匡救事業トシテ神奈川縣足柄下郡前羽村大字前川ヨリ同縣同郡國府津町ニ至ル延長一千八十八米六ノ改良工事ニシテ總豫算二十二萬圓ヲ以テ昭和九年五月一日起工セルモノノリ然ルニ其後神奈川縣高座郡藤澤町大字藤澤、大庭間及神奈川縣高座郡茅ヶ崎町大字茅ヶ崎地内改良工事費へ五萬圓ヲ流用減額シ總工費ヲ十七萬圓ニ變更セリ

計畫大要

本改良區間道路ノ現況ハ國府津町唐澤海岸約三百六十米ヲ除クノ外ハ兩側ニ人家連檐シ道路幅員狹隘ニシテ六米内外ナリ屈曲半徑ハ五十米及九十米ノモノ各一箇所存スルモ其他ハ相當ノ大キサヲ有ス縱斷勾配ハ最急約二十九分ノ一延長二百二十米ノ程度ナリ而シテ側溝ノ設備不完全ナルヲ以テ雨水ハ汎濫シ自然ノ滲透ニ委シ非衛生ナルコト甚シ

本區間ノ改良ニ當リテハ比較調査ノ結果特ニ改良ヲ要スル前川地内百二十米及唐澤海岸約二百八十米ハ新路線ヲ選定シ其他ハ在來道路ヲ擴築スルモノトス計畫ハ幅員十一米路面構造中央幅六米ヲ二層式又ハ一層式混凝土鋪裝トシ兩側各二米五ヲアスフアルト乳劑マカダム鋪裝トス特種工作物トシテ混凝土擁壁又ハ割石練積擁壁及鐵筋混凝土函型溝橋三箇所ト混凝土管渠二箇所トス

施工狀況

本工事ハ前年度ニ引續キ施行シ昭和十年十月三十一日竣功ヲ告ゲタリ掘鑿及築堤工事ハ本年度僅ニ芝付工ヲ施行シ路面工事ハ前年度ノ如キ工法ノ下ニ混凝土鋪裝二千九百一平方米六車道兩側部ニアスフアルト乳劑マカダム鋪裝(厚三糎)五千九百八十五平方米七ヲ施工セリ

溝橋工事ハ袖石垣及水叩等僅少ノ殘工事ヲ施行シ其他鐵筋混凝土駒止工百六十七米八境界標埋設等ヲ竣功セリ

本年度竣功額ハ三萬二千二百五圓ニシテ總竣功高十七萬圓ナリ而シテ本年度使用セシ勞働者ハ五千七百六人此勞力費八千九十一圓起工以來ノ累計勞働者二萬一千四百五人勞力費二萬八千八百六十六圓ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	11,180.00 立方米	11,180.00 圓	1,411.00 立方米	1,411.00 圓	12,591.00 立方米	12,591.00 圓	1.00
築堤	1,665.00 平方米	11,380.00 圓	811.00 平方米	811.00 圓	2,476.00 平方米	12,191.00 圓	1.00
壁面	3,110.00 箇所	10,220.00 圓	8,687.00 箇所	18,687.00 圓	11,797.00 箇所	28,907.00 圓	1.00
橋	1.00 米	7,770.00 圓	2.00 米	4,000.00 圓	3.00 米	11,770.00 圓	1.00
溝	1.00 米	2,400.00 圓	3,111.00 米	3,111.00 圓	6,511.00 米	5,511.00 圓	1.00
雜費							

總計	土地買收費					物件移轉其他補償費					器具機械費					雜費					共濟組合給與金				
	件	平方米	円	円	円	件	平方米	円	円	円	件	平方米	円	円	円	件	平方米	円	円	円	件	平方米	円	円	円
100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100
100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100
100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100
100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100	1	100	100	100	100

第七 國道一號線（富士川）改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ本年度ノ事業ニシテ同年度施行セル静岡縣庵原郡蒲原町大字中、大字神澤間改良工事費ヨリ流用セル二萬五千圓ヲ以テ昭和八年度ニ改築セル同縣同郡富士川町地内ノ一部大字岩淵中之郷間延長一千三百米ノ鋪裝工事ナリ

計畫大要

一號國道静岡縣庵原郡富士川町地内ハ昭和八年度ニ於テ改築ヲ爲シタル結果幅員増大シ線形亦良好トナリシガ近時自動車交通ノ發達ニ伴ヒ路面ノ損傷甚シク維持困難ヲ極メ交通運輸上不便尠カラザルノ状態ニ在リ

依ツテ本計畫ニ於テハ富士川橋々結附近ハ坂路ニシテ曲線ヲ爲シ路面ノ損傷、車輪ノ滑動スル恐れアルヲ以テ之ニ應ズル爲メ延長四十五米七ハ小鋪石鋪裝トシ他ハ在來路盤ノ上ニアスフアルト混凝土鋪裝ヲ施行スルコトトセリ

施工狀況

本改良工事ハ昭和十年十月起工シ諸般ノ施行準備ヲ爲シ同年十二月鋪裝路盤工ニ着手シ小鋪石鋪裝ア

スフアルト混凝土舗装セメント混凝土舗装ノ三種ヲ進行シ功程三割一分ヲ施行セリ
 本年度ノ竣功額ハ七千六百八十七圓ニシテ勞働者三千三十九人ヲ使役セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
路面工事				7,168.75		7,168.75	0.00
雑費				1,000.00		1,000.00	1.00
器具				870.00		870.00	
機械				122.00		122.00	
總計				9,160.75		9,160.75	1.11

第八 國道一號線（蒲原）改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度ニ於ケル時局匡救事業トシテ工事費二十萬圓ヲ以テ施行セルモノニシテ其ノ區間ハ静岡縣庵原郡蒲原町大字蒲原同町大字中間ノ延長三千四十米ナリ

計畫大要

一號國道ノ内、岩淵、興津間ハ舊幕時代ヨリ東海道ニ於ケル難所ト稱セラレ其後部分的ニ改良セラレタル所アリト雖尙幅員狹小ニシテ六米ニ達セザル所多ク屈曲亦甚シ殊ニ蒲原町地内ニ於テハ急角度ノ屈曲二箇所アリ交通上危險ナルト共ニ其ノ能力ヲ夥シク減殺セラルルノ状態ナリ然レバ本計畫ニ於テハ前記急角度ノ屈曲ヲ除去シ且路線ノ形狀ヲ良好ナラシムルヲ目的トシ工事ノ難易ト土地ノ狀況トヲ考慮シ路線ヲ選定セリ

改良路線ハ岩淵、蒲原間ノ前年度工事終點ヲ起點トシ夫レヨリ略鐵道線路ニ沿ヒ道路ヲ新設シ起點ヨリ約一千四百米ニシテ在來國道ニ合シ以テ急角度ノ屈曲ヲ除去セリ

而シテ從是以西ノ在來國道ハ略直線ヲ爲シ線形概シテ良好ナルヲ以テ之レヲ擴築スルコトトセリ本路線ノ最小屈曲半徑ハ百五十米トシ其他ハ二百米乃至一千米トス又最急縱斷勾配ハ四十分ノ一ニシテ其他ハ五十分ノ一乃至六十分ノ一トス其計畫ハ有効幅員ハ七米五乃至九米トシ歩車道ノ區分ヲ設ケズ路

面構造ハ砂利敷ニシテ横斷勾配ハ幅員九米ノ區間ハ人家連檐セル爲メ將來鋪裝ヲ爲ス場合ヲ考慮シ四十分ノ一、幅員七米五ノ區間ハ二十五分ノ一トシ共ニ双曲線トス特種工作物トシテハ割石練積土留擁壁及割石空積法留擁壁及橋梁長十二米五、有効幅九米ノ鐵筋混凝土T型桁橋一箇所トス

施工狀況

本工事ハ前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ主ニ路面及側溝工事ヲ施行シ昭和十年十月三十一日ヲ以テ全工事ノ竣功ヲ告ゲタリ

路面ノ構成ハ砂利敷ニシテ側溝ハ街渠形混凝土造ニシテ伸縮目地ニハ厚四耗ノアスファルトルーフィングヲ七米乃至十米間隔ニ挿入シ鐵筋混凝土蓋ヲ架セリ

土地買收及地上物件移轉ハ蒲原町大字中地内ニ於テ一部追加工事區域内ノ買收ヲ了セリ而シテ本年度使用セル勞働者ハ一萬百五十二人前年度トノ累計二萬六千三十人ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

本工事	費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘	鑿	二立方 四八七	二、一〇四	五立方 五七七	一、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一〇〇
築	堤	四、九三二 平方 米	一、一八六	五、八六 平方 米	一、三三二	五、五八八	三、八八四	一〇〇
擁	壁	二、三三三 平方 米	一、〇九	三三 平方 米	一、〇九	八〇	三、八八四	一〇〇
擁	面	九、六二〇 箇所	一、三三三	一、五八〇 箇所	五、六六一	一、三三三	七、七七八	一〇〇
路	橋	一、六 箇所	一、三三三	四 箇所	一、三三三	一、〇	二、三三三	一〇〇
側	溝	二、七 米	一、三三三	八、五 米	五、三三三	三、二 米	一、三三三	一〇〇

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
費橋	一箇所	四、八八九	一箇所	一、〇〇〇	二箇所	五、八八九	二〇〇
費雜	一箇所	一、三三三	一箇所	一、〇〇〇	二箇所	二、三三三	一〇〇
土地買收費	七、八八八 平方米	四、八八八	九、九九九 平方米	一、〇〇〇	一七、八八七 平方米	五、八八八	一〇〇
物件移轉其他補償費	二〇件	七、二二二	二六件	六、〇〇〇	四六件	一三、二二二	一〇〇
器具機械費	—	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇	—	二、〇〇〇	—
雜費	—	一、〇〇〇	—	一、〇〇〇	—	二、〇〇〇	—
共濟組合給與金	—	五〇〇	—	三〇〇	—	八〇〇	—
總計	—	一六、〇〇〇	—	三三、〇〇〇	—	四九、〇〇〇	一〇〇

第九 國道一號線(蒲原)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ本年度事業トシテ當初總工事費十萬圓ヲ以テ四月十八日起工セル一號國道靜岡縣庵原郡蒲原町大字中大字神澤間延長八百八十米ノ改良工事ナリ
然ルニ其後工費ニ二萬五千圓ノ剩餘ヲ生ジタルヲ以テ別ニ昭和八年度ニ改築セル同縣同郡富士川町地内ノ鋪裝工事ヲ施行スルコトトシ本改良工事費ハ七萬五千圓トナレリ

計畫大要

一號國道ノ内岩淵、興津間ハ舊幕時代ヨリ東海道ニ於ケル難所ト稱セラレ其後部分的ニ改良セラレタル所アリト雖モ道路ノ現況ハ尙幅員狹小ニシテ屈曲勾配等不適當ナル箇所多シ就中本改良區間ハ蒲原町ノ咽喉ヲ扼シ殊ニ蒲原驛ノ所在セルニ不拘幅員一般ニ狹隘ニシテ甚シキハ四米五ニ充タザル所アリ又縱斷勾配ハ十三分ノ一ノ急坂ヲ存シ交通運輸上不便尠カラザルノ状態ニアリ依テ本計畫ニ於テハ幅員ヲ増大シ勾配ヲ緩和シ且路線ノ形狀ヲ良好ナラシムルコトヲ目的トシ工事ノ難易ト土地ノ狀況ヲ考慮シテ路線ヲ撰定セリ其計畫ハ有効幅員九米、路面構造砂利敷トス特種工作物トシテノ橋梁ハ長五米六、有効幅員九米ノ鐵筋混凝土丁型桁橋二箇所ト横斷水路ニシテ斷面大ナルモノニハ函形溝橋ヲ築造ス

施工狀況

本改良區間ノ沿道ハ何レモ人家連檐シ街衢ヲ形成セル關係上家屋ノ移轉ヲ了セザレバ急速ニ工事ヲ施行スルコト能ハザルノ狀況ニ在リ依テ之レガ實施ニ方リテハ家屋移轉ヲ要セザル側ヨリ工ヲ起シ一方家屋ノ移轉ト相俟ツテ漸次工事ヲ進メタリ

本工事ハ在來國道ヲ擴築セルモノナルヲ以テ工事トシテ見ルベキモノナク本年度内ニハ橋梁二箇所ヲ始メ土工、溝橋ノ各工事ヲ竣功セシメタル外、側溝、路面及雜工事ノ大部分ヲ竣功セリ

工事中九月二十五日關東地方ニ襲來セル颱風ノ影響ヲ受ケ當地方モ豪雨ニ依リ堰澤川ノ上流山間部ニ於テ各所ニ山崩起リ土砂ノ流下ト共ニ流木亦甚シク終ニ舊堰澤川橋上ヲ越水スルニ至リ國道ハ一時交通杜絶セルヲ以テ徹宵防水ニ努メタル結果浸水家屋モ沿岸ノ數戸ニ止マリ減水ト共ニ急遽假橋ヲ架設シ交通ヲ開始スルニ至レリ

土地買收並物件移轉ニ在リテハ買收件數九十二件、地上物件移轉九十三件アリ何レモ年度内ニ完了セリ本年度ノ竣功額ハ七萬二千六百十一圓ニシテ勞働者一萬二百七十七人ヲ使役セリ其工事竣公表左ノ如シ

費目	本工事業費											總計															
	掘鑿	築堤	路面	溝橋	側溝	橋	雜橋	雜工	土地買收	物件移轉其他補償費	器具機械費		雜費	共濟組合給與金													
前年度迄竣工高	數量													金額													
	數量													金額													
本年度竣工高	數量	立方 米 九 五 三	平方 米 六、 〇〇〇	平方 米 一、 三三	箇所 六	米 一、 七三	箇所 二	平方 米 一、 七五	九 三 件					金額	四 一 〇	六 七 六	一、 九 八 八	八 九 七	三、 九 九 九	九 八 八	二、 〇 〇 〇	三、 一、 八 一 八	一、 〇 〇 〇	八、 八 〇 〇	三、 〇 〇 〇	四、 一 〇 〇	四、 一 〇 〇
	數量												金額														
合計	數量	立方 米 九 五 三	平方 米 六、 〇〇〇	平方 米 一、 三三	箇所 六	米 一、 七三	箇所 二	平方 米 一、 七五	九 三 件					金額	四 一 〇	六 七 六	一、 九 八 八	八 九 七	三、 九 九 九	九 八 八	二、 〇 〇 〇	三、 一、 八 一 八	一、 〇 〇 〇	八、 八 〇 〇	三、 〇 〇 〇	四、 一 〇 〇	四、 一 〇 〇
	數量												金額														
竣工高	數量												金額														
	數量												金額														
合計	數量												金額														
竣工高	數量												金額														

第一〇 國道一號線（愛知）改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和十年度ニ於ケル時局匡救事業トシテ工費十萬圓ヲ以テ愛知縣海部郡富田村大字江松ヨリ同縣同郡蟹江町大字蟹江新田ニ至ル延長四千八百六十二米七十二糎ノ混凝土鋪裝ヲ施行スル豫定ノ處工事順調ニ進捗シ工費ニ剩餘ヲ生ジタルヲ以テ更ニ同縣愛知郡下之一色町地内長六百六米四十三糎ヲ延長シ本工事ノ總延長五千四百六十九米十五糎ヲ施行スルコトトセリ

計畫大要

本區間ハ昭和六、七、八年度ニ互リ失業救済及産業振興事業トシテ國直轄ヲ以テ施工セル道路ノ一部ニシテ伊勢及尾張ノ二大橋開通セシ以後ハ交通系統上ニ一大變革ヲ來シ重要幹線道路トシテ使命愈重キヲ加フルニ至リ自動車ニ依ル交通モ一日五百臺ヲ算シ逐日増加ノ趨勢ニ在リ現今ノ砂利道ヲ以テシテハ路面ノ整備困難ニシテ折角巨額ノ國帑ヲ投ジ完成シタル道路モ充分其ノ機能ヲ發揮スル能ハザルノミナラズ砂塵濛々トシテ衛生上又寒心ニ耐ヘザルモノアリ

本區間道路ノ有効幅員ハ十一米ニシテ中央六米ハ鋪裝ヲ行フコトトシ其横斷勾配ハ三十分ノ一拋物線形トセリ

鋪裝ノ上層五糎ハ配合一、一、五、三、下層十二糎ハ一、三、六、混凝土トシ全幅ノ中央ニ縱目地ヲ長十米毎ニ横目

地ヲ設ケ各目地ニハ厚十二耗ノエラストイトヲ挿入シ伸縮ニ備フル事トセリ

施工狀況

昭和十年四月十八日創業ト共ニ實地測量ヲ爲シ本區間ヲ第一、二、三回ニ區分シ工事ヲ施行スルモノニシテ第一回ハ愛知縣海部郡富田村大字江松、同郡蟹江町大字蟹江新田間延長三千百五十八米六糎トシ第二回ハ同郡蟹江町大字蟹江新田地内延長一千七百四米六十六糎トシ第三回ハ同縣愛知郡下之一色町地内延長六百六米四十三糎トセリ最初路面工第一回ニ着手シ鋪裝路盤ハ八噸輾壓機ニ依リテ充分輾壓ヲ爲シ同時ニ鋪裝底面形ニ仕上ゲ型枠ヲ施シ下層混凝土ヲ打チ同時ニ上層モ施工セリ本年度ニ於テハ功程混凝土鋪裝一萬八千六百八十一平方米ニシテ工費四萬二千九十三圓ヲ要シ次年度ニ繰越セリ

第二、三回工事ノ施工方法ハ第一回工事同様ニシテ本年度ニ於テハ第二回功程混凝土鋪裝九千九百七十二平方米及砂利敷路面二千七百十平方米ヲ施シ工費二萬二千二百一十一圓ヲ要シ第三回功程ハ混凝土鋪裝二千四百九十平方米ニシテ工費六千四百六十一圓ヲ要シ次年度ニ繰越セリ

本工事ニ使用スベキ勞働者豫定人員ハ一萬二百六十四名ニシテ地元關係ノ貧困者ヲ主トシテ使用スル見込ナリ本年度ニ於テ使用セシ延人員ハ一萬八千七百名ナリ其工事竣功表左ノ如シ但シ「○」ハ無代價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費（道路）			立方 米	七〇、七六五 五九七		七〇、七六五 五九七	〇・九三 割分
器械費				〇		〇	
營繕費				〇		〇	
雜費				一七、六一三 三三〇		一七、六一三 三三〇	〇・二一
共濟組合給與金				〇		〇	
總計				九一、三六五 九二七	九一、三六五 九二七	九一、三六五 九二七	〇・九三 割分

第一一 國道一號線(桑名)改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救土木事業トシテ總延長三千九百六十九米、豫算總額二十五萬圓ヲ以テ施行セルモノナルモ、工事ノ都合上約五萬圓ヲ次年度ニ繰越シタルヲ以テ其ノ殘工事ヲ本年度ニ於テ施行シタルモノナリ

計畫大要

現在國道ハ桑名郡西桑名町伊勢大橋取付道路ヨリ桑名町城南村ヲ經テ三重郡朝日村ニ至ル區間ハ昭和六、七年度國道改良費ヲ以テ改良セラレタルモ朝日村ヨリ四日市市方面ニ至ル區間ハ幅員狹隘ニシテ屈曲多ク人家連延セル上伊勢電鐵省線三岐鐵道等ノ交叉箇所多ク現時交通ニハ不便不利尠カラザル状態ニシテ在來國道ノ利用改修ハ頗ル困難ナルヲ以テ朝明川架橋地點及四日市都市計劃線トノ聯絡ヲ考慮シ全ク新路線ヲ計畫セリ起點ヨリ測點三千六百四十五米間ハ有效幅員九米トシ夫ヨリ終點迄ハ十二米トセリ而シテ幅員九米部分ハ砂利敷トシ十二米部分ハ步車道ノ區別ヲ附シ車道ヲ混凝土鋪裝トシ歩道ハ混凝土塊鋪裝ヲ施行スル豫定ナリシモ測點三千七百八十五米ヨリ終點ニ至ル區間ハ地元富洲原町ノ委託ニ依リ歩道各兩側一米二百七十五耗ヲ擴張シ有効幅員十四米五五ニ施行セリ

施工狀況

本工事ハ前年度線越工事ヲ引續キ施行シタルモノニシテ其ノ主ナルモノハ土工路面工、下水工、鋪裝工及採取工等ニシテ夫レ等諸工事ノ前年度ノ殘部ヲ施行竣功セシメタリ然シテ其ノ竣功表ヲ示セハ左表ノ如シ但シ表中「▲」ハ富洲原町負擔「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
本工路	箇所一	▲ 6,000 円	箇所一	▲ 2,000 円	箇所一	▲ 8,000 円	1.00	期分
道橋	箇所一	▲ 4,000 円	箇所一	▲ 2,000 円	箇所一	▲ 6,000 円	1.00	
工事費	立方米 五、六八七	▲ 8,400 円	立方米 三、五六六	▲ 4,688 円	立方米 九、二五三	▲ 13,088 円	1.00	
用地料	坪 四、四二	▲ 5,600 円	坪 三、七二	▲ 4,688 円	坪 八、一四	▲ 10,288 円	1.00	
營繕費	坪 一、九四	▲ 2,400 円	坪 一、九四	▲ 2,400 円	坪 三、八八	▲ 4,800 円	1.00	
機械費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00	
雜費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00	
共濟組合給與金	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00	
總計		▲ 111,000 円		▲ 49,688 円		▲ 160,688 円	1.00	

第一二 國道一號線(富洲原)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和十年年度時局匡救事業トシテ豫算總額二十萬圓ヲ以テ施行セルモノニシテ其ノ區域ハ三重縣三重郡富洲原町大字松原ヨリ富田町大字茂福ニ至ル延長一千四百四十五米ノ内道路一千四百二十六米三三橋、梁十八米六七ナリシガ工費ニ餘裕ヲ生ジタルヲ以テ道路長五十米ヲ延長シ總延長一千四百九十五米ヲ施行セントスルモノナリ

計畫大要

國道一號線桑名町四日市市間ハ近來自動車ニ依ル運輸貨物ノ激増ト伊勢尾張兩大橋ノ開通ニ依リ頓ニ交通量激増シ國道改良工事ノ急施ヲ要スル狀態ニシテ在來國道ハ幅員狹隘、屈曲甚ダシク家屋連延且鐵道交叉箇所多キヲ以テ全ク新路線ヲ選定シ昭和六、七年度國道改良工事ニ依リ桑名郡桑名町、西桑名町、城南村及三重郡朝日村ノ一部竝昭和九年度ニ於テ朝日村ヨリ川越村及富洲原町ノ一部迄ハ既ニ改修セラレタリ計畫路線ハ昭和九年度施行箇所ニ引續キ新路線ヲ選ビ富田驛竝ニ省線トノ交叉箇所ヲ考慮シ且人家稠密ナル箇所ヲ避クルコトトシテ計畫セリ

起點ヨリ測點一千三百六十米迄ハ有効幅員十二米トシ歩車道ノ區別ヲ附シ車道ハ混凝土鋪裝トシ歩道ハ混凝土塊鋪裝ト爲ス計畫ナリシモ富田及富洲原兩町ノ委託ニ依リ歩道ノ各側一千二百七十五米ヲ擴

張シ有効幅員十四米五五ニ施行スルコトトセリ測點一千三百六十米ヨリハ二十分ノ一ノ勾配ニ依リ省線トノ交叉跨線橋ニ取付クルモノトシ最急縱斷勾配ヲ二十分ノ一最緩勾配ヲ五百分ノ一トシ最小屈曲半徑ハ百五十米トセリ

施工狀況

盛土用土砂ハ九年度工事ニ引續キ朝明川河床ヨリ採取瓦斯倫機關車ヲ以テ運搬シタルモ用地買收ノ協議豫想ニ反シ進捗セザリシヲ以テ之ガ運搬ヲ開始セルハ二月始メニシテ以來銳意工事ノ進捗ニ努メタル結果年度内ニ約六割ノ竣功ヲ見ルヲ得タリ法面及路面表土ニハ朝日村大字埋繩地内民有山土ヲ無償採取運搬セリ

路面工ハ十二月一日着手シ在來道路敷部分ノ輾壓ト鋪裝ヲ完了シタルノミニシテ次年度ニ繰越シタリ排水工ハ街渠下ニ鐵筋混凝土管ヲ敷設シ集水樹ニ集水セル路面ノ雨水ヲ附近ノ水路ニ放流スルモノニシテ之ニ要スル混凝土管ノ製作ハ全部完了シタルモ布設ハ約七割ノ功程ヲ舉ゲ翌年度ニ繰越シタリ橋梁溝橋擁壁ハ着工以來日淺ク夫レ等ノ一部ヲ施行シタルニ過ギズ大部分ヲ次年度ニ繰越シタリ本改良工事ノ本年度ノ竣功額ハ十萬八千二百五十八圓ニシテ其内譯ハ左表ノ如シ但シ〔一〕ハ無代價品評價額〔二〕ハ製作品代價ヲ示ス

第六章 國道改良工事 (國道一號線(富洲原)改良工事)

費目	本工本							總計
	道	橋	事	用	營	機	雜	
前年度迄竣功高	料							總計
	梁	取	地	繕	械	給	與	
本年度竣功高	費							總計
	路	取	地	繕	械	給	與	
合計	金							總計
	量	金	量	金	量	金	量	
數								
量								
金								
額								
數								
量								
金								
額								
數								
量								
金								
額								
數								
量								
金								
額								
步								
竣								
功								
合								
功								

第一三 國道二號線(滋賀)改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ時局匡救事業トシテ昭和九年四月一日ヨリ着手セリ其區域ハ滋賀縣栗太郡老上村大字野路ヨリ同郡草津町大字草津ニ至ル延長一千九百八十七米五及草津町ヨリ治田村ニ至ル延長一千二百十九米五ノ追加延長工事ニシテ前年度ニ於テ未竣功部分ヲ繰越施行セルモノナリ此總工費十五萬圓ナリ

計畫大要

本計畫ハ鈴鹿峠關ヶ原及敦賀方面ヨリ京阪神ニ通スル運輸交通ヲ受クル重要幹線ニシテ琵琶湖東岸ニ位スル草津町ハ東海道(二號線)中仙道(八號線)ノ分岐點ナリ本改修ニ於テハ二號線ノ改良ヲ爲サントス本改良區間舊國道ハ草津町分岐點ヨリ草津川ニ沿ヒ起伏多ク又屈曲シ人家連檐スルヲ以テ舊國道ノ擴張改築ハ工費經濟上並ニ路線ノ選定ニ困難ヲ伴フヲ以テ本改良計畫ニテハ現國道北側耕地中ニ新路線ヲ選定附替施工スルモノトス
本年度ハ前年度施行ニ依ル竣功部分草津町大字草津(草津川隧道ヲ除ク)治田村大字小柿ニ至ル間ヲ引續キ施工セントス

施工狀況

本年度施工區域ハ栗太郡草津町大字草津ヨリ治田村大字小柿ニ至ル間ニシテ前年度ニ於テハ草津町迄ノ大部分ヲ竣功セシメ之レヨリ引續キ施行シタリ

路床工事ハ盛土利用土ヲ草津川隧道工事(十年度施工)前後兩取合ノ高地及同工事殘土ヲ運搬シ尙不足トハ附近適當ナル場所ヨリ採取運搬スル計畫ヲ以テ調査セルニ此附近一帶ハ平坦ナル耕地ニシテ掘鑿ニ適地ナク考究ノ結果灌溉溜池ハ隨所ニ散在スルヲ以テ此ノ方面ノ調査ヲ進メ地方ノ關係者ト協議ノ結果治田村上鈎ニ於ケル灌溉用池ヲ得タリ然ルニ隧道工事殘土ハ工法上ニ於テ颱風期ヲ過グルニアラザレバ施工不可能ト認メラレ一方溜池ハ用水引用期ヲ經過セザレバ掘鑿ヲ許サズ依テ隧道工事ノ附近高地ノ一部ヲ掘鑿シ運搬ス又他ノ工事ヲ進ムルト共ニ時期ヲ待テ十一月下旬ニ至リ全能力ヲ擧ゲテ掘鑿運搬ニ着手シ路床ノ形態ヲ整ヘタリ

溝橋工事ハ附近一帶ガ耕地ニシテ用惡水路ハ縱横ニ流ル、ヲ以テ遮斷スルモノ又多シ依テ用惡水路ノ大小ニ應ジ床版渠或ハ圓管渠ヲ伏設セリ種別ハ用水量ノ大ナル部分ニハ夫々適當ナル床版渠ヲ架設シ其他小水路ニハ圓管渠ヲ施シ在來ノ用途ニ支障ナカラシメタリ

擁壁工事ハ路床工事ノ施行ニ從ヒ切取箇所即チ草津川隧道前後ノ路側斜面維持ノ爲メ施シタルモノニシテ構造ハ練石積トセリ

側溝工事ハ草津町大字草津及大路井草津川隧道前後ニ於ケル切取箇所ニ施行シタルモノニシテ法裾及路側ノ維持ノ爲メ施工ス

路面工事ハ各種ノ工事ノ進展ニ從ヒ施行セリ路床利用土質ハ澁川及目川間ニ通スル取合マデハ粘土質之ヨリ大路井迄ハ砂質ナリ全路床ノ内粘土路床ニ對シテハ路面ヨリ粘土約二十五糎(一平方ニ付零立方

米二五(ニ)對シ砂土ハ厚約七糎五(一)平方米約零立方米〇八(即チ約三割ヲ混合セシメ充分搔均シ砂利五糎ヲ敷均シ五噸輾壓機ニ依リ二十回、百五噸輾壓機ニ依リ約三十回輾壓シタル上厚約二十糎ノ結合土ヲ散布シ其ノ上ニ砂利五糎厚ニ敷均シ五噸輾壓機ニ依リ十回宛ノ輾壓仕上ヲ爲タリ其ノ結果ハ稍々良好ナルモノヲ認ムルト雖モ交通開始後ノ研究ヲ待ツモノトス砂質路床ニ對シテモ上部仕上ハ前記ト大體同様トセリ但シ〇ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
路床	一六、二八・五 立方米	一五、四七・四	二、一七・五 立方米	六、九六・四	二八、二五 立方米	二二、〇一〇	一・〇〇	一・〇〇
橋	簡所 六六	八、〇三・〇	簡所 三三	五、六二・四	簡所 九九	一三、六五・四	一・〇〇	一・〇〇
溝	五三三・二 米	三、〇二・一	二七・〇 米	四、三三・〇	五六〇・二 米	七、三四・一	一・〇〇	一・〇〇
側溝	六九三・二 平方米	二、八四・九	六・五 平方米	三、七二・八	七〇〇・七 平方米	六、五七・七	一・〇〇	一・〇〇
工事	簡所 一	一、九六・九	簡所 一	七、五九・二	簡所 二	九、五六一	一・〇〇	一・〇〇
費用	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇	一・〇〇
機械	三三・七 度	一、一〇・一	三・八 度	一、一六・八	三六・五 度	二、二六・九	一・〇〇	一・〇〇
用地	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇	一・〇〇
雜費	一、一〇・〇	一、一〇・〇	〇	〇	一、一〇・〇	一、一〇・〇	一・〇〇	一・〇〇
總計	九、二二・七	五、八八・四	一、一〇・一	一、一〇・一	一〇、三二・八	一、一〇・一	一・〇〇	一・〇〇

第一四 國道二號線(滋賀)改良工事 時局匡救

緒言

本工事ハ時局匡救事業トシテ昭和八年度以來累年度工事トシテ着工セルモノニシテ本年度ノ區域ハ栗太郡草津町内草津川隧道五十三米ト同郡治田村大字小柿前年度施工終點ヨリ同村大字上鈎ニ至ル延長一千五百四十米ニシテ舊國道トノ聯絡ニハ葉山村大字手原ニ於テ取合セタリ計畫當初ハ豫算十萬圓ノ處取合ノ關係上五百二十米ヲ延長セルヲ以テ六千圓ノ増額ヲ爲シ總工費十萬六千圓トセリ本年度ニ於テハ竣功ニ至ラズ草津川隧道工及治田村路面工ノ一部ヲ殘シ繰越施行スルモノトス

計畫大要

本計畫ハ前年度施工ノ延長ニシテ九年度施工終點ニ聯絡シテ治田村大字小柿耕地ヲ直線的ニ東進シ葉山川ヲ橋梁ニ依リ橫斷シ測點四百九十四號ヨリ六百米ノ半徑ニ依リ左折シ治田村大字上鈎ニ至ルヲ終點トス夫レヨリ葉山村大字手原ニ於テ舊國道ニ聯絡シ交通ノ用ニ供ス此延長一千五百四十米ニシテ幅員ハ有効七米五縱斷勾配ハ葉山川前後取合ヲ四十分ノ一ヲ最急トシ最緩勾配ヲ六百分ノ一ニシテ橫斷勾配ハ二十五分ノ一トス草津町地内草津川(天井川)ハ周圍ノ狀態ニ依リ隧道ニ依リ河底ヲ橫斷シ構造ハ鐵筋混凝土函樵式有効幅員四米五二連延長五十三米トス葉山川ニハ鐵筋混凝土床版渠ヲ架設シソノ有効幅員七米九延長六米三ナリ

施工狀況

本年度改良區域ハ栗太郡治田村大字小柿ヨリ同村大字上鈎ニ至ル間ハ改良工事ニシテ道路工事ノ主體タル路床工事ニ着手スルヲ常則トスルモ本區域ハ地形平坦ニシテ盛土ニ要スル土砂ノ採取箇所ヲ調査セシニ適當ナル掘鑿地ナカリシモ幸ヒ附近ニハ灌溉用溜池散在スルヲ以テ此ノ方面ニ留意シ地方關係者トノ協議調ヒ該地ヲ掘鑿路床ノ築造ヲ爲シタリ

溝橋工事ハ國道改良工事ノ進捗ニ伴ヒ附近一帶ニ散在スル灌溉用惡水路ヲ遮斷スルヲ以テ在來ノ用途ヲ支障ナカラシムル爲メ流水路ノ狀態ニ應ジ適當ナル床版橋又ハ圓管渠ヲ伏設ス管渠ハ鐵筋混凝土管、床版橋ハ鐵筋混凝土版ヲ施工セリ

橋梁工事ハ治田村大字坊袋及下鈎地先ヲ流ル、葉山川ニ鐵筋混凝土床版橋ヲ架設スルモノニシテ有効幅員七米九橋長六米三ノ一徑間ナリ橋台ハ混凝土護岸ハ詰杭ヲ以テ在來ノ水路形ニ支障ナカラシム路面工事ハ路床其他ノ工事ノ進捗ニ伴ヒ路面ニ敷砂利ヲ爲シツ、輾壓仕上ヲ爲シタリ本區域ニ於ケル路床用土砂ハ治田村大字上鈎ノ灌溉用池ヲ掘鑿シ運搬セル粘土質ナルヲ以テ路面以下深二十五糎ニ對シ砂約七糎五ヲ混入搔混シ土質ノ改良ヲ企テ其ノ上ニ敷砂利ヲ行ヒツ、輾壓仕上セルモ冬期惡天候ノ爲メニ其一部ヲ繰越セリ

雜工事ハ他ノ工事ノ進捗ニ從ヒ在來ノ町村道及縣道ヲ遮斷スルヲ以テ取付ヲ爲シ在來ノ用途ニ支障ナカラシメタリ

隧道工事ハ路線ガ栗太郡草津町大字草津及大路井ニ於テ草津川ニ依リ遮斷セラル、箇所ハ河床高二道

路建築限界ヲ容ル、ニ足ル所謂天井川ノ河狀ヲ利用シ鐵筋混凝土造リ有効幅員四米五ニ連長五十三米ノ河底隧道ヲ築造シ其ノ構造ハ基礎土栗石ヲ厚二十種敷均シ基礎混凝土ヲ施シ鐵筋混凝土造函框構トシ其ノ主體工事ヲ完了セルモ埋戻及雜工事ヲ殘シ竣功ニ至ラズ繰越施行スルコト、セリ

本年度ノ竣功表次ノ如シ但シ「〇」ハ無代價評價額ヲ示ス

總計	費事工本							費目	
	雜	機	用	費	事	工	本		
	費	費	費	工	梁	道	橋	面	床
			二・八段				簡所 三		二、九八四 立方米
									10,000円
4,111円	11,141円	1,141円	11,141円		11,141円				11,141円
							簡所 三		二、九八四 立方米
									10,000円
4,111円	11,141円	1,141円	11,141円		11,141円				11,141円
0.40				0.99	0.99	0.82	0.99	0.99	0.99

第一五 國道二號線（兵庫）改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度ニ於ケル時局匡救道路改良工事トシテ總工費十五萬圓ヲ以テ兵庫縣姫路市東郷町（市川右岸）ヨリ同市神屋町ニ至ル延長一千百六十九米三ノ區域ノ道路ヲ改良施行スルモノトス

計畫大要

本改良區間姫路市東郷町ヨリ同市神屋町ニ至ル現在國道ハ屈曲甚タシキノミナラス幅員極メテ狹小ニシテ自動車等ノ行違不可能ナル箇所多々ナルニモ不拘牛馬諸車其他ノ通行頻繁ナリ殊ニ近時自動車ノ交通激増シ日ヲ追フテ交通ノ危險度ヲ加ヘツ、アルガ故ニ市川右岸ヨリ既ニ縣ニ於テ施行ヲ了セシ新國道起點平野町ニ至ル間ヲ改良施行シ此ノ危險ヲ除去スベキ必要ニ迫リ居リシモ財政上之ヲ一時ニ施行スル能ハザルニ依リ本年度ハ國鐵播但線附近在來道路迄ノ間ヲ施行シ前記ノ危險ヲ緩和シ併テ市川以東ノ既竣功道路ノ効用ヲ増大ナラシメントスルモノナリ

而シテ路線選定ハ大體姫路市都市計畫ノ豫定線ヲ利用シ市川橋ノ西詰下流約四十米ノ地點ヲ起點トシテ西行シ六百四十米附近ニ於テ七度三十分ノ角度ニテ右折シ神屋町地内在來道路ニ至ル路線ヲ決定セリ而シテ最初ノ工事施行延長ハ一千六十米ニシテ其内九百十米ハ鋪裝道路他ノ百五十米（東郷町地内四十米、神屋町地内百十米）ハ取付道路トシテ着工セリ之ガ工事ニ際シテ極力工費ノ節約ヲ圖リタル結果豫

算ニ相當ノ餘裕ヲ生ズル見込付キタルニ依リ將來工事ノ進捗ニ便スル爲メ神屋町地内ニ於テ更ニ百九米三ヲ取付道路トシテ追加施行スル事トセリ
道路幅員ハ全幅十六米ニシテ鋪裝部分ハ歩車道ヲ區別シ車道十米八、歩道ハ各二米六ト爲シ車道ハ細粒式瀝青混凝土鋪裝ト爲シ歩道ハ混凝土方塊鋪裝トセリ
縱斷勾配ハ最急一、二%、横斷勾配ハ車道二、五%、歩道二%トセリ

施工狀況

姫路市地内工事ハ前年度七月着手施行シ雜工事ヲ除ク全工程ハ竣功セシメシモ枝道取付ハ側溝トノ取合ノ關係ト工費節約ヲ計ル爲メ民地々上ゲト同時ニ施行スルヲ便宜トシ又追加施行ノ取付道路ハ家屋等ノ移轉ガ九年度末迄ヲ要シタル爲メ何レモ本年度内完了不可能トナリ本年度ニ繰越施行セリ
右雜工事施行中枝道鋪裝並ニ取付道路ハ十年度工事トノ取合ノ關係上八月十二日竣功セリ
右ハ何レモ終點附近ニ於テ施行セシ處ニシテ枝道取付ハ一部簡易瀝青鋪裝ト爲セル外ハ砂利敷トシ必要ニ應ジ路側ハ石積トシ取付道路ハ砂利敷トセリ
尙用地費ニ關シテハ當該區間ハ全部姫路城南土地區劃整理地區内ニ該當シ用地ハ同組合ノ無償提供ニナリ工事ヲ進メタルモ猶將來ノ工事進捗上ニ便スル爲メ前記組合地區ノ終點ヨリ同市神屋町才ノ木迄百九米三取付道路ヲ追加買收シ年度内ニ於テ用地買收地上物件ノ移轉ヲ殆ント終了ヲ告ゲタルモ年度終末ニ差迫リ僅カニ土地及物件ノ各一件宛ヲ繰越セシモ十年十月竣功セリ
本年度ニ於テ使役シタル勞働者延人員ハ一萬一千四百三十二人ニシテ之ニ要セシ金額一萬一千九百三

第一六 國道二號線(兵庫)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和十年度ニ於ケル時局匡救道路改良工事トシテ總工費二十萬圓ヲ以テ姫路市神屋町ヨリ同市下寺町ニ至ル延長三百七十五米ノ區間ノ道路ヲ改良施行スルモノトス

計畫大要

明石、姫路兩市間ハ改築國道ニテ聯絡セシムベク改築工事中ノ處前年度ニ於テ姫路市神屋町迄ハ略竣功シ在來道路ニ聯絡スルコトトナリシモ未改築ノ姫路市神屋町ヨリ平野町迄ハ幅員狹小ニシテ屈曲多ク尙省線播但線トノ平面交叉アリ不便一方ナラス而モ交通量ハ右改築工事進捗ニ伴ヒ日々急激ニ増大シ交通上之ヲ一日モ放置スル能ハザル状態ニシテ平野町ノ既改築國道(兵庫縣施行)迄改築聯絡セシムルハ急務ノ情況ニ在リ

而シテ之ガ改築ニ當リテハ幅員十六米ヲ高速道ト低速道トニ區別シ高速道ハ中央六米ニシテ省線播但線ヲ跨線シ低速道ハ兩側各四米五ニシテ同線ト平面交叉ス高速路面ハアスファルト塊及細粒式アスファルト混凝土鋪裝トシ低速路面ハ細粒式アスファルト混凝土鋪裝トシ兩側ノ低速道間ニ餘地ヲ存スル部分ハ簡易瀝青鋪裝トス排水設備トシテハ高速道ニハ兩側ニ街渠ヲ設ケ之ヲ雨水樋ニ集メ低速道ニハ片側ニ側溝ヲ設ケテ共ニ在來下水ニ導キ放流ス

尙本計畫道路ノ既設道路水路等トノ交叉スル箇所及本工事ノ爲メ必要ヲ生ジタル軌道踏切設備等ハ其効用ヲ妨ゲザル程度ニ夫々適當ニ施行スルモノトス

姫路跨線橋ハ中央ノ跨線部分ハ鋼鈹桁橋其前後ノ高架部分ハ三徑間聯續鐵筋混凝土框構桁及鐵筋混凝土丁型單桁橋トス低速道橋ハ鐵筋混凝土床版橋トス

施工狀況

昭和十年四月二十五日付內務大臣ヨリ執行命令アリ依テ用地買收並ニ地上物件移轉ノ協議ヲ開始シ一方跨線橋架設踏切道工事ノ承認ニ就テ鐵道省ト交渉シ各工事進捗ニ支障ナキ様取計ヒタリ

又工事ニ必要ナル土取場及砂利、砂、栗石ノ採取場ハ市川高水敷内ニ求ムルコトトシ兵庫縣知事宛右採取ノ手續ヲ爲シ承認ヲ得其他ノ諸材料ハ夫々必要ニ應ジテ購入調達ヲ爲シ工事ハ五月十六日ヲ以テ先ヅ用地買收、物件移轉ニ關係ナキ部分ヨリ着手セリ

其後用地買收、地上物件移轉ノ完了スルニ伴ヒ逐次各工種ニ互リテ功程ヲ進メタルモ本工事ニ最大ナル關係ヲ有スル鐵道部分ノ工事ニ關シ鐵道省ノ承認著シク遲延セシ爲メ本工事各工種全般ニ互リテ鐵道踏切部トノ關係ノ多少ニ應ジテ何レモ大小ノ繰越ヲ爲スノ已ムナキニ至レリ

然レドモ年度末近クニ至リテ本工事豫算ニ幾分ノ餘裕ヲ得ル見込トナリシヲ以テ更ニ次年度工事ニ資スル爲メ追加工事ヲ施行スルコトトセシモ此大部分モ年度中ニ竣功セシムルヲ得ズ次年度ニ繰越セリ

本工事ニ於テ本年度内ニ使役セシ勞働者延人員ハ三萬六千七十人、内職業紹介所利用者一萬二千三百四十六人ナリ而シテ本年度ノ竣功額ハ十三萬二千百五十七圓九錢六厘ニシテ豫算額ニ對比スル時ハ約六

割六分ノ竣功ナリ是ヲ表示スレバ左ノ如シ但シ表中「○」ハ前年度ヨリノ組替材料遣拂高「△」ハ八年度購入ノ機械ヲ材料ニ組替タルモノノ遣拂高ヲ示ス。

總計	共濟組合給與金	雜費	機械地費	費用	工事費						費目														
					雜	低	姫	側	溝	路		擁	路												
														橋	橋	溝	橋	面	壁	床					
													數	前年度迄竣功高	金額	數	本年度竣功高	金額	數	合	金額	計	步竣	功	

第一七 國道二號線(岡山)改良工事

九年度時局匡救
產業開發

緒言

本年度施行工事ハ産業開發ノ爲メ國道二號線ヲ改良スルモノニシテ昭和十年五月事業費十八萬圓ヲ以テ着工(後十七萬圓ニ減額別ニ前年度繰越工事ヲモ併セ施行セリ)而シテ其區域ハ都窪郡中庄村地内中庄跨線橋以西倉敷市平田大島ヲ經テ縣道倉敷足守線ニ至ル間延長二千八百八十九米三(内倉敷足守線以西延長百七十九米ノ追加施行區間ヲ含ム)及前年度繰越工事岡山市岡山市大供ヨリ御津郡今村ヲ經テ大野村大字北長瀬ニ至ル間延長百九十一萬六千百米(内ニ都窪郡中庄村地内中庄跨線橋(十米八ヲ含ム)ニシテ繰越工事ハ全部竣功セルモ新規工事ハ土取場ノ土質、天候、用排水買收其他種々ノ關係上全部ノ竣功ヲ見ルニ至ラズ

計畫大要

施行場所ハ新規工事トシテ岡山縣都窪郡中庄村ヨリ倉敷市昭和町ニ至ルモノト岡山市大供、御津郡今村ヨリ御津郡大野村大字北長瀬ニ至ル繰越工事(外ニ都窪郡中庄村地内中庄跨線橋)ト新規工事執行延長ハ二千八百八十九米三(追加工事未着手縣道倉敷足守線以西百七十九米ヲ含ム)繰越工事ハ一千九百十六米一(中庄跨線橋十米八ヲ含ム)幅員ハ有効幅ノ郡部ハ新規繰越共九米(全幅員十米)

新規工事ハ倉敷市大島昭和町(縣道倉敷足守線間十米)全幅十一米(倉敷市昭和町(縣道倉敷足守線以西延長

百七十九米間ニ於テ十一米(全幅十二米)ニシテ繰越工事ハ岡山市内ハ十八米(地下道區間ハ二十米一)トシテ歩車道ヲ區別シ車道十四米五、歩道百七十五米(地下道區間二米八トス)

宇野線跨線橋ハ設計並ニ施工ヲ鐵道省ニ委託シ外ニ中庄跨線橋、中間橋梁ヲ架設シ用排水ニ支障ヲ來ス箇所ニハ水路ノ新設附替ヲ爲ス

施工狀況

本年度施行工事ハ時局匡救ノ爲ニスル國直轄國道改良工事ニシテ前年度同様失業者ノ救濟ヲ兼ネテ施行セリ繰越工事ハ前年度ニ於テ既ニ土地買収家屋移轉完了シ橋梁水路附替溝渠工事竣功セルヲ以テ直チニ殘工事ニ著手シタルモ宇野線跨道橋ニ對スル鐵道省委託工事遅々トシテ進捗セザルヲ以テ督促ニ努メ其ノ完了スルヤ一氣呵成ニ之ニ關聯スル諸工事ヲ完了セリ

十年度新規工事ハ新年度ニスルヤ土取場及土砂運搬線路敷地ノ選定及準備ヲ完了シ六月八日土地買収協議發表其ノ承諾ヲ得タル土地ノ位置狀況ニ適スル工事ヨリ著手シタルモ買収上支障アリシト用排水關係ノ複雑、採上ノ困難、天候ニ惠マレザリシ上ニ前年度繰越工事ヲ本年度内ニ竣功スルノ止ムナキ關係上全力ヲ擧ゲテ之レガ完成ニ努メタル爲メ本年度新規工事ハ橋梁三箇所ヲ除ク外竣功ヲ見ルニ至ラズ路面工、側溝工ノ追加工事ハ未着手ノママ翌年度へ繰越スコトトナレリ

本年度改良工事ニ使役シタル人夫人員總數四萬九千三百七十五人(内九年度繰越分二萬二千四百一十一人、十年度新規分二萬七千二百三十四人)ニシテ一日平均百三十九人、此内職業紹介所又ハ町村紹介ニ依ルモノ總數三萬二千百一十一人(内九年度繰越分一萬四千三十人、十年度新規分一萬八千八十一人)ナリ工事ノ竣

九年度起業工事

總計	費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計	
		數量	金額	數量	金額	數量	金額
路	路床	133.777 立方米	11,274.4	74.147 立方米	8,812.4	211.924 立方米	111,126.4
路	路面	122.1 米	11,274.4	120.6 米	11,120.4	242.7 米	122,246.8
路	渠	○	○	○	○	○	○
溝	溝	○	○	○	○	○	○
橋	橋	○	○	○	○	○	○
工	工事	○	○	○	○	○	○
用地	機械地	○	○	○	○	○	○
機	機械	○	○	○	○	○	○
雜費	雜費	○	○	○	○	○	○
	總計		110,100.8		88,932.8		199,033.6

十年度起業工事

總計	本工事費用						費目
	路	擁	溝	橋	雜	地	
	床	壁	渠	梁	工	費	
							前年度迄竣功高
							數量
							金額
							本年度竣功高
							數量
							金額
							合計
							數量
							金額
							合計
							步竣
							合功

第一八 國道二號線（山口）改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費十五萬圓ヲ以テ二號國道山口縣厚狹郡船木町ヨリ同郡厚狹町ニ至ル延長三千八百六十一米八四ノ在來國道ヲ改築スルモノニシテ他ニ適當ナル代道無キ爲メ交通ヲ爲サシメツツ施工ヲ要スルト尙切取箇所ハ概ネ硬質岩盤ナルヲ以テ作業ノ困難甚大ニシテ爲メニ前年度内ニ竣功スルニ至ラズ其殘工事ヲ本年度ノ施行トセルモノナリ

計畫大要

本工事區間ニ於ケル在來國道ハ幅員狹小ニシテ急勾配、急屈曲多ク殊ニ西見峠並ニ伏附、錢ヶ原間ハ最難關ニシテ交通ヲ阻害スルコト夥シク近來高速度重交通機關ノ激増ニ伴ヒ危險著シキ状態ナリシヲ以テ之ガ改良ニ當リテハ幅員ノ擴張並ニ屈曲半徑ノ増大ニ努メ前述ノ缺陷ヲ矯ムルヲ主トシ一般ニ勾配ヲ緩ニシ路線形ヲ整ヘ日々激増シツツアル交通量ニ適應スル計畫ヲ樹立シ之ヲ施行スルモノトス其ノ大要ヲ示セバ左ノ如シ

總延長三千八百六十一米八四ノ内道路三千八百三十七米〇〇三、橋梁二十四米八三七ニシテ有効幅員七米五トス而シテ路面ノ構造ハ混凝土鋪裝、岩盤切取區間厚十五糎、橫斷勾配四十分ノ一、水縮マカダム鋪裝（其他區間）厚十五糎、橫斷勾配二十五分ノ一ナリ其他排水設備、擁壁、橋梁、六箇所等夫々施設スルモノトス

施工狀況

國道改良事務所ハ前年度ニ於テ厚狹町地内ニ借入設置シタルモノヲ繼承シ其他諸般ノ設備モ既設ノ儘ヲ使用シ殘工事ヲ施行セリ而シテ用地買收ハ十年六月中旬物件移轉ニ對スル賠償モ十一年三月上旬完了セリ

土工ハ最難箇所タル西見峠及伏附錢ヶ原間ノ兩切取工事モ交通其ノ他ニ細心ノ注意ヲ拂ヒツツ銳意爆破作業ヲ施シタル結果着々進捗シ何等他ニ障害ヲ及ボスコトナク十一月下旬全掘鑿及全築堤ヲ竣功セリ尙擁壁工、排水工、路面工、橋梁工等順次進行之ヲ竣功ス使用勞働者延人數ハ前年度ニ於テ四萬四百四十三人、本年度ニ於テ三萬七千五百七十二人、計七萬八千十五人ナリ

本工事ハ起工以來多大ノ困難ニ遭遇セルモ銳意進工ニ努メ遂ニ十一年三月中旬竣功セリ今ヤ錢ヶ原、伏附間及西見峠ノ大切取竝ニ西見峠東側ニ於ケル大築堤ヲ完成シ幅員ハ擴大サレ線形ハ整ヘラレ全ク從來ノ面目ヲ一新シ交通運輸上ニ齎セル便益甚大ナルモノアリ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ〇ハ無代價品評價額ヲ示ス

第一九 國道二號線(山口)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ當初工費十五萬圓ヲ以テ前年度施行箇所ニ引續キ二號國道山口縣厚狹郡厚狹町大字厚狹地内延長一千三百四十米ヲ改築スル計畫ナリシガ斯クテハ美禰線跨線橋ヲ終點トシ連絡道路ナキ爲メ本區間ノ工事竣功スルモ其ノ大半ハ利用不能ノ状態ニ在リテ不便尠カラザルニ依リ更ニ工費五萬圓ヲ以テ延長四百七十米ヲ追加施行シ竣功後速カニ全線ヲ利用シ得ル計畫ヲ樹立シ其總工費二十萬圓ヲ以テ延長一千八百十米ヲ改良スルコトニ改メタリ

計畫大要

本工事區域ハ廣島市ヨリ徳山市、防府市及小郡町ヲ經テ下關市ニ通ズル重要幹線山陽道ノ一部ナルニ不拘幅員僅カニ四米内外ニ過ギズ加之急勾配、急屈曲甚シク之レガ改築ノ要愈々切ナルモノアリ依テ昭和九年度國直轄改良工事ニ引續キ厚狹町地内ノ改築ヲ爲スモノニシテ現在國道ハ省線美禰線トノ平面交又及人家連檐等ノ爲メ之レガ擴築ハ不得策ナルヲ以テ新線ニ依ル事トシ略々現在國道ト並行ニ中心線ヲ決定シ鐵道トノ交叉箇所ニハ跨線橋ヲ架設シ立體交叉トシ前述ノ缺陷ヲ矯ムルコトトセリ計畫ノ大要ヲ示セバ次ノ如シ

總延長一千八百十米ノ内道路延長一千七百十四米八五、橋梁延長九十五米一五ニシテ其有効幅員ハ人家

連檐部八米乃至九米其他七米五トス而シテ路面構造ハ水締マカダム鋪裝厚十五糎橫斷勾配二十五分ノ一ナリ其他排水設備擁壁橋梁五箇所等夫々施設スルモノトス

施工狀況

前年度ニ於テ借入シタル厚狹町地内ノ國道改良事務所材料倉庫及置場等諸般ノ設備ヲ其儘繼承シ七月上旬工事實施ノ細密測量ニ着手スル一方工用器具機械ノ修理運搬等諸般ノ工事準備ニ着手シ實施設計完了後直チニ工事ニ着手シ得ル様進捗ニ努メタリ

七月上旬ヨリ土地買收並移轉物件ノ實地調査ヲ開始シ漸次所有者並ニ關係人ノ諒解ヲ需メ十月中ニ支拂ヲ完了セルガ竣功額請求ノ遅レタル部分ト追加工事ノ認可區域ニ對シテハ其手續ノ完了ヲ見ルニ至ラズ繰越スノ止ムヲ得ザルニ至レリ而シテ工事中土工擁壁路面溝橋側溝橋梁等モ或ハ其一部ヲ或ハ其大部ヲ翌年度ニ送レルモノ在リタリ

本工事ハ時局匡救事業ニ準據シ努メテ地元労働者ヲ大多數使役スル方針ヲ採リ厚狹町及船木町役場ニ於テ労働手帳ヲ交附シ紹介セラレタルモノヲ使役シ其延人員三萬六千六百三十九人ナリ

本工事ノ土工ハ地形並ニ鐵道跨線橋ノ關係上殆ンド築堤工事ニシテ盛土量約四萬五千四百立方米中約四萬二千立方米ハ補給土ナルニ不拘附近ニ適當ナル土取場ヲ得ルニ困難ナリシ爲メ其ノ交渉ニ多大ノ時日ヲ要シタルト尙昭和十年七月以來屢々大小洪水ニ遭ヒ橋梁工事意ノ如ク進捗セザル等ノ結果遂ニ工事ノ大半ヲ翌年度ニ繰越施行ノ止ムナキニ至レリ本工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ〇ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	本工事業費										總計	
	掘築堤壩	擁壁	溝橋	側溝	橋梁	採橋	雜工	土地買收	地上物件移轉	器具機械		其他諸費
前年度迄竣工高	數量											
	金額	4										88,263
本年度竣工高	數量	1,208.5 立方米	1,292.5									
	金額	47	111,148	EO	1,208.5 圓	1,292.5 圓	○	10,113	11,000	11,291	11,000	88,263
合計	數量	1,208.5 立方米	1,292.5									
	金額	47	111,148	EO	1,208.5 圓	1,292.5 圓	○	10,113	11,000	11,291	11,000	88,263
竣工高	數量											
合計	金額											228.0

第二〇 國道二號線(博多)改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費二十萬圓ヲ以テ二號國道福岡縣福岡市馬出町ヨリ同縣同市堅粕町ニ至ル延長一千二百六十六米三〇ヲ改良スルモノニシテ用地買收ノ一部未解決ナルト工事半途ニシテ幅員擴張工事起リタル爲メ遂ニ年度内ニ竣功スルニ至ラズ殘部ヲ本年度ニ繰越施行スルモノナリ

計畫大要

本工事施行區間ニ於ケル在來國道ハ門司、小倉、戸畑、八幡、若松等各都市ヲ經テ福岡市ニ聯結シ更ニ筑紫平野ヲ貫通シ長崎、熊本方面ニ通ズル重要幹線ノ一部ニシテ最モ交通頻繁ヲ極ムルモ幅員僅カニ四米五内外ニ過ギズ危險甚シク而モ近時交通量ハ益々激増ノ趨勢ヲ示シ之ガ改築ハ焦眉ノ急ヲ告グルノ状態ナリキ之ガ施行ニ當リ計畫中心線ノ決定ニ就テハ現在國道ハ屈曲剪除、幅員ノ擴張等ニ於テ充分ナル效果ヲ得ラレズ且人家連檐セル爲メ用地買收及物件移轉費及營業補償費等ニ多額ヲ要シ不得策ト認メラルルニ依リ海岸ノ一部ヲ埋立テ博多灣鐵道ニ並行セル新線ニ依ル事トシ中心線ヲ決定セリ而シテ福岡市ニ於テモ將來ノ發展ヲ慮リテ幅員五米ノ擴張ヲ工費七萬圓ヲ以テ委託シ來リ又福岡縣ニ於テモ工費一萬一千三百五十二圓六十三錢ヲ以テ更ニ之ガ三米ノ擴張ヲ委託シ來リ何レモ國ノ工事ト併セ施行スル

コトトシ總幅員二十八米トナレリ其ノ計畫ノ大要ヲ示セバ左ノ如シ
總延長一千二百六十六米三〇ニシテ其有效幅員二十八米トス路面構造ハ歩道四米五、車道十九米ニシテ
海岸及陸側ニ混凝土擁壁ヲ施工ス

施工狀況

國道改良事務所ハ福岡市杉山町二番地ニ設ケタル博多國道改良事務所ヲ前年度ヨリ引續キ使用シ又其
ノ他諸般ノ設備モ既設ノ儘之ヲ使用セリ而シテ用地買收及物件移轉ニ就テハ博多灣鐵道汽船株式會社
外一件ノ未承諾ノ折衝ノ爲メ殆ント年度末近ク全部ノ完了ヲ見タリ

土工ハ順調ニ進行シ十一年一月中旬其全部ヲ完了シ路面工、溝橋工、側溝工等モ夫々完了シ海岸擁壁工ハ
波浪ノ爲メ工事意ノ如クナラズ努力ノ下ニ之ガ完了ヲ見タリ

使用勞働者延人員ハ前年度ニ於テ一萬三千七百九十五人、本年度ニ於テ一萬三千五百七十九人、計二萬七
千三百七十四人ニシテ本工事ノ時局匡救事業トシテ企畫セルモノナレバ可及的大多數ノ要救濟者ヲ使
用スルノ方針ヲ採リ機械力ハ必要ノ最小限度ニ止メタリ而シテ使用勞働者數モ本年度ニ入り愈々増加
シ豫定人數ヲ遙ニ凌駕スルノ好成绩ヲ得タリ本工事ハ着手以來銳意進捗ニ努メタルモ用地買收ノ一部
解決遲延セシモノアリ又工事中途ニシテ福岡縣竝ニ福岡市ヨリ幅員擴張工事ヲ委託セラレタル爲メ豫
定ノ進捗ヲ見ザリシモ本年度ニ入りテ順調ニ進捗シ全ク竣功スルヲ得タリ今ヤ本區間ハ北九州各都市
ヨリ福岡市ニ入ル坦々タル大道路ニシテ交通運輸上ニ多大ノ便益ヲ齎セリ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ
〔×〕ハ福岡縣及福岡市ノ負擔額〔○〕ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	本										費目				
	掘	築	擁	路	溝	側	雜	土	地	器		其			
數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
前年度迄竣工高	1,586	5,993	1,433	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110
本年度竣工高	1,433	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110
合	1,586	5,993	1,433	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110
計	1,586	5,993	1,433	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110
功	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

第二一 國道二號線(香椎)改良工事 時局匡救

緒言

本工事ハ昭和十年度道路改良工事トシテ工費十萬圓ヲ以テ二號國道福岡縣糟屋郡香椎村大字唐原ヨリ同縣同郡多々良村大字名島ニ至ル道路延長三千百十六米八二ヲ改良スル計畫ナリ

計畫大要

現在國道ハ門司、小倉、戸畑、若松、八幡等ノ各都市ト福岡市ニ連結シ更ニ熊本、長崎方面ニ通ズル重要幹線ノ一部ナルニモ拘ラズ幅員狹少ニシテ屈曲部多ク殊ニ糟屋郡香椎村大字濱男字水谷ニ於テ省線鹿兒島本線ト平面交叉ヲ爲シ居ル爲メ交通上支障又尠カラズ而モ本區域ヲ除ク北部門司ニ至ル間既ニ國及縣ニテ改良工事ヲ施行シ又南部福岡市博多灣鐵道新博多驛ニ至ル間ノ名島附近ノ一部ハ縣既ニ改築濟ニシテ其他殘部ノ箱崎町地内モ縣ニ於テ改良工事實施中ナルヲ以テ是等前後ノ狀勢ニ鑑ミ本區間ノ改良ハ最モ緊急ヲ要スルモノナリ計畫中心線ヲ決定スルニ當リテハ在來國道ヲ擴築利用スルニ於テ前述ノ如ク鐵道鹿兒島本線ト交叉スルノミナラズ用地買收竝ニ物件移轉ノ爲メ多額ノ費用ヲ要シ不得策ナルニ依リ其ノ西方ヲ通過セシムルニ於テハ所要敷地ノ大部分ハ縣施行ノ香椎瀉埋立地ヲ利シ得ラル、ノミナラズ既設國道トノ連結及工事施行容易ニシテ多大ナル工費ノ節約トナルヲ以テ全然新線ニ依ル事トセリ其ノ大要ヲ示セバ左ノ如シ

總延長三千百五十九米四ノ内道路三千百十六米八二、橋梁四十二米五八（縣施行線）ニシテ有効幅員ニ依リ區別スレバ十一米ノ延長八百八米一、同二十八米ノ延長二千三百八米七一ナリ而シテ路面ノ構造ハ有効幅員二十八米ノ區間ハ歩道左右各四米五、車道十九米ニシテ同十一米ノ區間ハ歩車道ノ區別無シ尙切取箇所ノ一部ニ混凝土擁壁ノ施設ヲ爲スモノトス

施工狀況

本工事ハ先以テ準備トシテ改良事務所ヲ福岡縣糟屋郡香椎村大字濱男ニ設ケ外ニ見張所一棟ヲ設置シ六月中旬ヨリ工事ニ着手セリ而シテ用地買収及物件移轉トシテハ當國道ハ福岡縣直營香椎瀉埋立地内ヲ通過スルガ故ニ有償地ハ總面坪僅カニ二百十四坪ニシテ移轉物件無キヲ以テ所有者一同ヲ集メルコトナク昭和十年十月十日各人ニ對シ協議ヲ爲シ之ガ承諾ヲ得ベク努メタル結果十二月十五日全部ノ承諾ヲ得タリ

七工トシテハ測點八號ヨリ二十四號間ハ山陵ニシテ掘鑿土砂多ク六月中旬準備工ニ着手以來豫期捨土ヨリ開始シ昭和十一年二月中旬切取捨土及盛土ノ竣功ヲ見土羽工ノ一部ヲ殘シテ完了シ擁壁工ハ測點十九號附近ヨリ延長八十六米ニ涉リテ右側切取面ヲ施行シ十年十一月四日完了セリ路面工ハ九月上旬ヨリ路盤拵ヘニ着手續キテ十一年一月上旬基礎工ニ着手次デ三月中旬ニ至リ混凝土鋪裝ヲ開始漸次工ヲ進メ年度末迄ニハ一千七百四十平方米ノ鋪裝ヲ了セリ歩車道境界石ハ中途形狀ヲ變更シタル爲メ三月末日迄ニハ完了スルニ至ラズ

側溝工ハ十月中旬着工年度末迄ニ全工ニ涉リテ約四割ノ成績ヲ收メ溝橋工ハ九月下旬着工年度末迄ニ

ハ約七割ノ竣功ヲ見タリ雜工事ハ取付道二箇所ニシテ年度末迄ニ一箇所ノ竣功ヲ告ゲタルモ境界標ハ全土ノ竣功後施行スル事トシ年度内ニハ着手セザリキ
 本工事ニ使用セシ材料ハ總テ國産品ニシテ年度末迄ニ其ノ總額ハ一萬五千八百圓ナリ又使用勞働者ハ一萬五千三百七十二人ナリ

本工事中心線ノ大部ハ福岡縣直轄香椎瀉埋立工事施行區域内ヲ貫通セル所ニシテ極力工事ノ進捗ヲ計リタルモ十月十七日十二月十八日及二月四日ノ暴風雨襲來ニ依リ該埋立地内ノ道路敷ハ海岸ニ接近シ居ルヲ以テ波浪ノ爲メ甚ダシク破壊セラレ縣之ヲ復舊中ナルモ該工事ノ竣功セザルニ於テハ本工事ノ進行不可能ナリ加フルニ縣ニ於テ切取ルベキ道路敷地内ニ岩盤露出シ極力掘鑿ニ努力シ居ルモ敷地ノ完成ヲ見ズ之ガ爲メ意外ニ工事ノ進捗ヲ妨ゲラレシノミナラズ例年ニ無キ極寒ノ爲メ一般混凝土工事ハ冬期施行中止ノ状態ニテ年度内ニハ一少部ノ竣功ヲ見タルノミニシテ殘部ヲ翌年度ニ繰越スコト、セリ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ〇ハ無代價品評價額ヲ示ス

本 工 事	費 目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合 計		竣 功 合 功
		數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	
掘 築 擁 路 溝	鑿 堤 壁 面 橋	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

費目	費					總計
	側溝	雜工	土地買收	器具機械	其他諸費	
前年度迄竣功高	數量					
	金額					
本年度竣功高	數量		0.7段			
	金額	8,491.00	1,787.50	3,311.00	9,611.00	39,199.50
合計	數量		0.7段			
	金額	8,491.00	1,787.50	3,311.00	9,611.00	39,199.50
竣功高	數量					0.7段
合計	金額					39,199.50

第二二 國道二二號線(熊本)改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費二十四萬圓(内四萬圓ハ綠川改修費負擔)ヲ以テ二號國道熊本縣下益城郡杉合村大字杉島ヨリ同村大字小岩瀬ニ至ル延長六百三十米六ヲ改良スルモノニシテ前年度内ニ道路工事ノ大部分ト綠川橋ノ橋臺及橋脚等ヲ完成シ殘部ヲ本年度ニ繰越施行スルモノナリ

計畫大要

本工事施行區間ニ於ケル在來國道ハ往古ノ築造ニシテ熊本縣ノ南北ヲ貫通スル唯一ノ幹線道路ナルニモ拘ラズ幅員僅ニ五米ニ過ギズ加フルニ屈曲著シク且綠川橋ハ木造ニシテ近時高速度交通機關ノ發達著シク交通量激増シ交通上ノ危險ト不便尠カラズ之ガ改良ハ實ニ焦眉ノ急ヲ要シタルモノニシテ計畫中心線ノ決定ニ當リテハ大部分新線ヲ選ブコトニ依リ屈曲ヲ除キ距離ヲ經過シ得ルヲ以テ本路線ヲ決定セリ今計畫ノ大要ヲ示セバ次ノ如シ

總延長六百三十米六ノ内道路三百七十四米一、橋梁二百五十六米五ニシテ有効幅員七米五ナリトス路面ノ構造ハ砂利敷横斷勾配二十五分ノ一拋物線ニシテ縱斷勾配ハ最急三十分ノ一此延長三百四十三米四、前緩三百分ノ一、最小屈曲半徑二百米トス特種工事トシテハ盛土箇所ニ於テ法尻石積擁壁ヲ施工シ橋梁ハ一箇所デルバー式鋼鈹桁橋ニシテ延長二百五十五米七〇ナリトス

準備トシテ國道改良事務所ハ熊本縣下益城郡松橋町ニ設置セル熊本國道改良事務所ヲ前年度ヨリ引續キ使用シ又砂、砂利等ノ直營採取モ前年度ヨリ引續キ行ヘリ用地買收及物件移轉ハ前年度内ニ殆ンド大部分ヲ完了シ僅カニ電柱移轉ヲ殘スノミナリシモ本年度當初之ガ移轉ヲ完了セリ

土工ハ前年度内ニ大部分ヲ完了シ本年ニ入り綠川兩岸ノ橋梁取付箇所附近ノ殘工事ニ對シ綠川改修工事ニ伴フ官有地ノ不用土砂ヲ利用充當シ五月末完成シ十一月橋梁トノ取付ヲ完了シテ全部ノ竣功ヲ遂ゲタリ擁壁工ハ前年度ニ於テ全工程ヲ竣へ溝橋工又土工ノ施行ニ先ダチ前年度ニ於テ竣功セリ

路面工ハ前年度内ニ約三割ヲ竣功シ殘部ヲ引續キ土工竣功ノ部分ヨリ漸次輾壓シタル後敷砂利ヲ撒布シテ十一月末全部ヲ完成セリ

橋梁工ハ前年度ニ於テ橋台及橋脚ノ全部ヲ完成シタレ共橋體ハ大阪市橫河橋梁株式會社ニ請負ニ附シタル鋼鈹桁及高欄ノ製作ガ風水害ノ爲メ意外ニ遲延シ又其架設ニ當リテハ水害ノ爲メ支障ヲ來ス等大イニ進捗ヲ阻害セラレ漸ク本年九月末鋼鈹桁ノ架設ヲ終リ高欄ハ十二月末竣功スルニ至レリ而シテ鋼鈹桁ノ架設ヲ終ルト共ニ橋床鐵筋混凝土ノ施工ニ着手シ之ガ進捗ニ伴ヒ九月ヨリ橋面鋪裝ヲ始メ橋床ハ十一年二月初旬竣功シ橋面鋪裝ハ二月中旬完成スルヲ得タリ尙第五號橋脚及第六號橋脚ニハ前述ノ如ク洗掘ヲ防止スル爲メ各左右兩側及上下流ニ土留柵杭ヲ施工シ割石ヲ填充シテ其ノ上部ヲ張立テ尙外部ニ木工沈床(三層)ヲ施行セリ

雜工ハ本年度ニ於テハ年度當初先ヅ取付道ヲ一箇所施工シ尙前年度ニ於テ製作セル境界杭二百本ヲ十一月土工ノ竣功ト共ニ設置シ其ノ他ノ雜工事モ二月末日迄ニ竣功セシムルヲ得タリ

本工事ニ使用セシ材料ハ總テ國產品ニシテ其ノ總額ハ前年度ニ於テ五萬二十四圓、本年度ニ於テ九千八

百三圓餘(勞力費共請負ニ附シタル工費ノ分ヲ除ク)計五萬九千八百二十七圓ナリ、又使用勞働者延人數ハ前年度ニ於テ三萬一千六十七人ニシテ本年度四千九百四人計三萬五千九百七十一人ナリ
 本工事ハ着手以來銳意進工ニ努メタルモ前述ノ如ク橋梁中請負ニ附シタル鋼板桁ノ製作竝ニ架設ニ當リ不慮ノ風水害ヲ被リ意外ノ遲延ヲ來シ工事ノ進捗ヲ阻害サレシコト甚大ナリシモ專ラ之ガ完成ヲ急ギ遂ニ二月末日ヲ以テ全ク竣功スルニ至レリ今ヤ本區間ハ木造ニシテ危險ナル舊綠川橋ニ代フルニ近代的鋼橋ノ完成ヲ見其ノ改築サレタル前後取付道路ト共ニ交通運輸上ニ及ボス便益實ニ大ナルモノアリ今工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ「□」ハ綠川負擔額「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度迄竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	立方米 一、七七七	三、八七〇	立方米 一、七七七	四、七〇〇	立方米 一、九五八	一、七七七	一〇〇
擁壁	平方米 六八・五	二、四〇六	平方米 六八・五	二、四〇六	平方米 六八・五	二、四〇六	一〇〇
路面	九四五	一、一八	九四五	一、一八	九四五	一、一八	一〇〇
溝橋	箇所 三	一、一七	箇所 三	一、一七	箇所 三	一、一七	一〇〇
橋梁	未竣功	〇	未竣功	〇	未竣功	〇	一〇〇
採橋	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇〇
雜費	取工	一、一八	取工	一、一八	取工	一、一八	一〇〇
土地	買收	一、一八	買收	一、一八	買收	一、一八	一〇〇
地上	物件	一、一八	物件	一、一八	物件	一、一八	一〇〇
地物	移轉	一、一八	移轉	一、一八	移轉	一、一八	一〇〇
器具	機械	一、一八	機械	一、一八	機械	一、一八	一〇〇
其他	諸費	一、一八	諸費	一、一八	諸費	一、一八	一〇〇
總計		三、一〇〇		三、一〇〇		三、一〇〇	一〇〇

第二三 國道三號線(松江)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ工費十萬圓ヲ以テ昭和十年年度三號國道福岡縣築上郡角田村大字松江ヨリ同縣同郡西角田村大字有安ニ至ル總延長一千六百四十米ノ改良ヲ爲スモノトス

計畫大要

本國道ハ小倉市方面ヨリ中津市、別府市、大分市、官崎市ノ各都市ヲ經テ鹿兒島市ニ通ズル重要幹線ナリ福岡縣下ニ於テハ小倉市ヨリ同縣京都郡小波瀬村間ハ既ニ縣ニ於テ改良工事ヲ施シ昭和七年度ハ其ノ終點ヨリ引續キ行橋町ヲ經テ泉村大字羽根木ニ至ル間ヲ昭和八年度ニ於テハ最モ交通頻繁ナル大分縣界山國橋際ヨリ築上郡八屋町大字八屋間ヲ昭和九年度モ其ノ終點ヨリ引續キ同郡山田村ヲ經テ角田村大字松江間ヲ何レモ國直轄ノ下ニ改築シタルモ是等區間ニ引續ク本區間ハ幅員狹隘ニシテ五米内外ニ過ギズ且屈曲部多ク而カモ省線日豐本線ト平面交叉ヲ爲シ居リ交通上ノ支障尠ナカラズ改築ノ要愈々切ナルモノアリタリ而シテ計畫中心線ノ決定ニ當リテハ本區間ハ在來國道ノ擴築ハ不得策ナル區間ナルヲ以テ全線新線ヲ撰ビ路線ノ延長ヲ短縮シ可及的曲線ヲ避ケ本路線内中央部ニ位スル高臺畑地ヲ切込ミテ充分ナル土砂ヲ得ルコトニ依リ土工ノ均衡ヲ保チ經費ノ節減ヲ計リ且國有鐵道トノ交叉箇所ニハ跨線橋ヲ架設スルモノトス今其ノ計畫ノ大要ヲ示セバ左ノ如シ

總延長一千六百四十米ノ内道路一千五百八十米〇九四橋梁五十九米九〇六ニシテ有効幅員七米五ナリ路面構造ハ水締マカダム舗装ニシテ縱斷勾配最急三〇%此延長二百二十五米最緩〇二五%トス盛土箇所ハ一般ニ法留混泥土方塊据付ケ底地ニシテ軟弱ナル箇所ニハ石積ヲ爲シ切取素掘側溝箇所ニシテ必要ト認メタル處ニハ混泥土擁壁ヲ設ク橋梁ハ三箇所ニシテ一箇所ハ(跨線橋)鐵筋混泥土框構橋二箇所ハ鐵筋混泥土突桁橋ナリ

施工狀況

準備トシテ昭和八年度築上郡八屋町大字八屋ニ設置セル八屋國道改良事務所ヲ其ノ儘引續キ使用シ諸般ノ工事施行準備ヲ爲シ全線ヲ一括シテ工事場中央ニ現場員詰所ヲ設ケ本年度工事名ヲ松江國道改良工事ト稱呼セリ

用地買収及物件移轉ニ就テハ萬遺漏無キヲ期シ七月以降買収事務ノ進行ニ努力シ八月末日ニハ全區間ノ協議ヲ遂グル運ビトナリタリ本年度工事區間ハ角田村西角田村ノ二箇所ニ互リ短區間ナリシ爲メ九月三日一齊ニ右二箇所ノ各村毎ニ協議發表ヲ了シ特殊ノモノヲ除キ大部分ノ承諾ヲ徵シ日ナラズシテ何等ノ支障ナク全部ノ承諾ヲ得ルニ至レリ

上作業業ハ専ラ人力ニ依リ主トシテ地元農民ヲ使役スルノ方針ヲ採リ工事ヲ開始シ土砂ノ運搬ニ當リテハ全線ヲ一區トシ人力及馬力ヲ以テ軌條ヲ複線布設シ鐵道交叉部分ハ在來ノ町村道跨線橋ヲ利用シ單線トシテ搬出セリ

擁壁工ハ地内ノ起工承諾ヲ得ルヤ法留工準備ヲ爲シ八月六日之ニ着手シ銳意之ガ進捗ヲ圖リ八月二十

日第二號石積擁壁ニ着手シ昭和十一年三月三十日第二號石積擁壁ヲ完了スルニ至レリ而シテ法留混凝土ブロック据付ハ土工ニ伴ヒ施行セルニ依リ遅延セリ

溝橋工ハ六月下旬起工承諾ヲ得タル角田村ヨリ西角田村ニ進ミ水利關係ヲ詳細調査シ水利關係ニ對シテ細密ノ注意ヲ拂ヒ昭和十一年三月下旬ニハ大小各圓管其ノ他呑吐口等ノ全工事ヲ完成セリ路面工ハ遂ニ着手スルニ至ラズ全部ヲ繰越スノ餘儀ナキニ至レリ

橋梁工ハ九月二十三日第三號橋梁ニ着手シタルモ降雨出水ニ妨ゲラレ遂ニ冬期ニ入り相當長キ日子ヲ要シ昭和十一年三月下旬ニ至リ完成セリ第一號橋梁ハ本線橫斷橋ナルガ爲メ地元ノ事情ニ依リ遅延ヲ來シ第二號橋梁(跨線橋)ハ鐵道省ノ不承認ノ爲メ未ダ工事ニ着手スルコトヲ得ズ繰越スノ止ムナキニ至レリ

雜工トシテ取付道路四十三箇所、水路附替及境界標等ハ土工、擁壁工ノ進捗ニ從ヒ順次之ト相並行シテ施工スルノ便ナルヲ以テ之ガ完了ハ右工事ノ遅速如何ニ係ル事大ナルモノナリ而シテ水路附替ハ三月中旬完成シ其他ノ雜工事モ以上ノ如クニシテ大部分ノ完了ヲ見タレ共一部繰越スノ餘儀ナキニ至レリ本工事ニ使用セシ材料ハ總テ國産品ニシテ其總額一萬四千七百圓ナリ又使用勞働者延人數ハ一萬九千四百十三人ナリ

本工事施行ニ當リテハ着手以來銳意之ガ進捗ニ努力セシモ用地買収及物件移轉ノ一部遅延及鐵道省ト交渉中ノ跨線橋架替未解決ノ爲メ一大支障ヲ來シ引テハ本工事全般ニ互リ昭和十一年度ニ繰越シスルノ止ムナキニ至レリ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ〇ハ使用無代價品評價額ヲ示ス

費目	本工事業費										費目	
	掘	築	土	擁	溝	橋	雜	土地	地上	器具		其他
前年度迄竣工高	數量											
	金額											
本年度竣工高	數量	1,840.99 立方米	3,820.00 平方	5,131.11 平方	3,700.00 米	5.9 箇所	—	△段				
	金額	△,110.00	2,331.60	1,811.00	2,421.00	7,211.00	100.00	△,204.00	2,111.00	1,001.00	3,001.00	1,401.00
合計	數量	1,840.99 立方米	3,820.00 平方	5,131.11 平方	3,700.00 米	5.9 箇所	—	△段				
	金額	△,110.00	2,331.60	1,811.00	2,421.00	7,211.00	100.00	△,204.00	2,111.00	1,001.00	3,001.00	1,401.00
竣工高	數量											
合計	數量											
合計	金額											
合計	金額											
合計	金額											

第二四 國道三號線（八屋）改良工事 九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費十萬圓ヲ以テ三號國道福岡縣築上郡八屋町大字八屋ヨリ同縣同郡角田村大字松江ニ至ル延長一千六百米ヲ改良スルノ計畫ナリシモ工事施行半途ニ於テ工事費ニ剩餘ヲ生ズル見込トナリシ爲メ終點ヨリ引續キ百米ヲ追加シ總延長ヲ一千七百米ニ改メタリ而シテ工事ハ物件移轉遲延ニ禍ヒセラレ前年度内ニ竣功スルニ至ラズ其ノ殘工事ヲ本年度施行スルモノトス

計畫大要

本工事區間ノ在來國道ハ小倉市方面ヨリ中津市、別府市、大分市、宮崎市ヲ經テ鹿兒島市方面ニ通ズル重要幹線ニ當リ交通頻繁ヲ極ムルモ幅員僅カニ五米内外ニシテ加フルニ屈曲甚シク急勾配ノ箇所多ク近時自動車交通ノ激増スルニ伴ヒ危險尠ナカラズ其ノ前後國道ハ一部縣又ハ國ニ於テ改良セラレタルヲ以テ本區間ノ改築モ亦焦眉ノ急ヲ告グルノ状態ナリ而シテ計畫中心線ノ決定ニ當リテハ在來道路ヲ擴築利用スルハ不利ト認メ概シテ低地ナル海岸側ニ新線ヲ選ビ線形ヲ良好ナラシメ終點附近ノ丘陵ヲ切込ムコトニ依リテ盛土ヲ得、土工ノ均衡ヲ保チ經費ノ節減ヲ計レリ今其ノ計畫ノ大要ヲ示セバ左ノ如シ

總延長一千七百米ノ内道路一千六百六十米九四二、橋梁三十九米〇五八ニシテ其有効幅員七米五ナリ路面ノ構造ハ水締マカダム鋪裝トシ縱斷勾配最急二・七%ナリ盛土區間ハ全部法留石積ヲ爲シ低地ニシテ

土地軟弱ノ箇所ニ於テハ特ニ犬走ヲ作リ石積擁壁ヲ施工シ又其他水路附替川附替等ニ石積擁壁ヲ施行ス橋梁ハ鐵筋混凝土床版橋二箇所ト同丁狀桁橋三箇所ニシテ此延長三百九十米〇五八ナリ

施工狀況

準備トシテ昭和八年四月築上郡八屋町大字八屋ニ設置セル八屋國道改良事務所ヲ引續キ使用シ諸般ノ設備モ既設ノ儘ヲ使用シ殘工事ヲ施行セリ而シテ用地買收及物件移轉ニ就テハ前年度内ニ全區間ノ承諾書ヲ徵シ本年度ハ四月早々追加工事區間ノ起工承諾ヲ求メテ工事ノ促進ヲ計レリ

土工ハ前年度内ニ切取及盛土何レモ約八割五分ヲ竣功シ四月早々此殘工事ニ着手セリ五月上旬ニハ追加工事ノ盛土ニ着手シ之ガ進捗ニ努力シ七月下旬全土工ヲ完了セリ擁壁工ハ前年度ヨリノ殘工事約二〇%ト追加工事ノ土工ト相併行シテ進行セシメ七月上旬完成セリ側溝工ハ素掘側溝ノ計畫ナリシモ水量豫期以上ナル延長四百五十六米ハ道路保護上四月上旬之ヲ片側混凝土側溝ニ變更シ八月下旬竣功セリ

路面工ハ前年度未迄ニ測點零號ヨリ第五四號迄ノ間ハ完了セシモ其他ハ三月下旬近年稀ナル大暴風雨ノ襲來ニ遭遇シ之ガ爲メ作業中止ノ狀態トナリ本年度ハ天候ノ回復ト共ニ銳意進工ニ努力セリ然レ共昭和十年度起工直轄國道改良工事ニ必要ナル土取場ガ本工事終點ノ掘鑿箇所ト接續地ナル爲メ此箇所ノ路面ヲ土砂運搬終了迄中止ノ餘儀ナキモノアリシ爲メ其ノ完了ヲ待チテ一意路面仕上工ヲ進メ十月末完成スルニ至レリ

溝橋工ノ當初設計ノ分ハ前年度内ニ竣功シタルヲ以テ本年度ニ於テハ專ラ追加區間ノ工事ヲ施行スル

コトトシ五月初メ着手シ六月上旬竣功セリ橋梁工ハ前年度ニ於テ大暴風雨ノ爲メ相當ノ出水ニ遭遇シタルモ工事順調ニ進ミ居リシヲ以テ大ナル損害ヲ被ルコトナカリシモ工事ノ進捗ヲ妨ゲラレ第四號及第五號橋ノ各一部ヲ繰越シタルヲ以テ銳意之ガ竣功ニ努メ五月下旬全ク完成セリ

雜工事トシテ前年度内ニ竣功スルニ至ラザリシ取付道路ノ一部及境界標柱ノ全部ハ四月下旬逐次進工セシメ尙階段取付及水路附替ヲ各一箇所増加シ追加工事區間ニ於ケル取付道路ヲ施工シ七月下旬全部竣功セリ

本工事ニ購入使用セシ材料ハ總テ國産品ニシテ其ノ總額ハ前年度ニ於テ二萬五千七百九十三圓、本年度ニ於テ二千六十七圓計二萬七千八百六十圓ニシテ使用勞働者延人數ハ前年度ニ於テ二萬六千四十五人、本年度ニ於テ六千八百四十三人計三萬二千八百八十八人ナリ

本工事ハ前年度ニ於テ物件移轉ノ遅延掘鑿ノ困難及暴風雨襲來ノ爲メ進捗ヲ阻害サレタルコト大ナリシモ本年度ニ入りテハ順調ニ進工シ八月末ニ於テ路面工ノ一部ヲ除ク外全部完成セリ而シテ路面工ニ於テ前述ノ如キ支障アリタルモ十月末ニハ全ク竣功セシムルヲ得タリ

今ヤ九州東部唯一ノ本國道ハ着々ト改築セラレ交通運輸上ニ齎ス便益ハ蓋シ甚大ナルモノアリ今工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ()ハ使用無代價品評價額ナリ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘築堤壩	立方米 二四、六六六	〇	立方米 八、九八六	一、三三三	立方米 三三、六五二	一、三三三	100
擁壁	平方 九、一〇〇・一	〇	平方 一、五五五	一、五五五	平方 一〇、六五五	一、五五五	100
路面橋	箇所 三〇〇・四	〇	箇所 七	四、三三三	箇所 三〇七・四	四、三三三	100
溝橋	米 三	〇	米 三	三、〇〇〇	米 六	三、〇〇〇	100
側溝	箇所 三	〇	箇所 三	三、〇〇〇	箇所 六	三、〇〇〇	100
橋	箇所 三	〇	箇所 三	三、〇〇〇	箇所 六	三、〇〇〇	100
雜橋	二 段	〇	二 段	二、〇〇〇	二 段	二、〇〇〇	100
土地	買收	〇	買收	〇	買收	〇	100
物件	移轉	〇	移轉	〇	移轉	〇	100
器具	諸	〇	諸	〇	諸	〇	100
其他	費	〇	費	〇	費	〇	100
總計	—	一、四三三・〇〇	—	一、三三三・〇〇	—	一、〇〇〇・〇〇	100

第二五 國道三號線（大分）改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費二十萬圓ヲ以テ三號國道大分縣大分郡八幡村大字神崎地内ニ於テ昭和八年度直轄改良工事終點ヨリ別府市ニ向ヒ延長一千四百二十米ヲ改良スルモノニシテ土工及擁壁工ニ於テ多大ノ困難ニ遭遇シタル爲メ遲延ヲ來シ遂ニ年度内ニ竣功スルニ至ラズ殘部ヲ本年度ニ繰越シ施行スルモノナリ

計畫大要

本工事施行區間ノ在來道路ハ門司市、小倉市方面ヨリ中津市、別府市ヲ經テ大分市ニ通ジ更ニ宮崎市、鹿兒島市ニ達スル重要幹線ノ一部ニシテ交通最モ激甚ナル別府市、大分市間ニ在リテハ唯一ノ聯絡道路ナルニモ拘ハラズ幅員狹小ニシテ屈曲多ク山手側ハ道路ニ接近シテ鐵道日豐本線アリ海岸側ハ古來ノ石積護岸ヲ以テ直接別府灣ニ臨ミ年々歲々激浪ノ爲メ隨所ニ缺潰ヲ生ジ繁激ナル交通ノ要求ヲ滿タシ得ザル状態ニ在リ之ガ改良ニ當リテハ主トシテ海岸側ニ擴幅シ線形ヲ改良スルト共ニ堅固ナル石積護岸工事ヲ施行スルモノトス其ノ計畫ノ大要ヲ示セバ左ノ如シ

總延長一千四百二十米、有効幅員十五米五ニシテ路面ノ構造ハ步道砂利敷海岸側二米五、車道砂利敷十米、

軌道山手側單線三米トシ縱斷勾配前急〇・六%此延長二百六十米前緩〇・六%而シテ海岸一帶ニ波除ヲ附シタル石積混凝土擁壁ヲ設ケ道路ヨリ海岸ニ昇降スル階段ヲ施設ス

施工狀況

準備トシテ昭和九年五月一日大分市生石ヨリ別府市濱脇ニ移轉セル大分國道改良事務所ヲ前年度ヨリ引續キ使用シ大野川及住吉川ヨリ所要砂利砂ノ直營採取ヲ續行セリ用地買收及物件移轉ハ前年度ニ於テ其ノ全部ヲ完了セリ

土工ノ切取ハ前年度末竣功部分一二%ニシテ之ヲ全部盛土ニ流用シ盛土未竣功部分約二三%ハ擁壁工ノ進捗ニ伴ヒ引續キ四月上旬ヨリ土運搬ヲ爲シ八月上旬ヲ以テ土工全般ヲ完了セリ擁壁工ハ海岸側石積混凝土擁壁及山手側石積擁壁ト共ニ大部分ヲ前年度内ニ竣功シ殘部ヲ十二月中旬完成セリ路面工ハ前年度末竣功部分約八〇%ハ盛土完了後施行スルヲ得策トシテ四月中旬ヨリ十噸輾壓機ヲ以テ輾壓シ砂利敷ヲ爲シ十一月中旬竣功セリ

溝橋工ハ鐵筋混凝土函型及圓型溝橋ニシテ前年度ニ於テハ僅々二割竣功シ殘餘八割ハ本年度ニ於テ土工ノ進捗ニ伴ヒ施行シ八月下旬全部完成セリ側溝工ハ軌道ト車道トノ境界ニ設クルU型混凝土溝ハ土工完了後施行スルヲ得策トシ四月上旬土工箇所ヨリ着手シ八月下旬全部完成セリ雜工ノ主ナルモノハ鐵道用地管理換箇所ノ工事及道路ヨリ海邊ニ昇降スル階段四箇所ニシテ前者ハ前年度殆ンド完了シ階段ハ海岸擁壁ノ完成箇所ヨリ漸次着手シ十二月中旬竣功セリ

本工事ニ購入使用セル材料ハ總テ國產品ニシテ其ノ總額ハ前年度ニ於テ七萬七百五十九圓、本年度ニ於

テ一萬三千百三十五圓、計八萬三千八百九十四圓ナリ又使用勞働者延人員ハ前年度ニ於テ五萬三千九百八人、本年度ニ於テ一萬六百十九人、計六萬四千五百二十七人ナリ
 本工事ハ前年度ニ於テ土工及擁壁工ニ多大ノ困難ヲ來シ爲メニ各工種ニ互リ遲延ノ止ムナキニ至リタルモ爾來銳意竣功ニ努メ遂ニ完成スルヲ得タリ今ヤ大分、別府兩市間本國道ハ全延長ノ七割ヲ改築シ交通運輸ニ齎ス便益實ニ大ナルモノアリ今工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ「○」ハ使用無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	二、〇四三・九	四、八七二	一、六六七・一	四、八八八	二、六一九	五、〇三〇	一〇〇
築堤	二七、八三三・五	八、九三三	八、四三三・五	二、三三三	三六、二六七	一一、二六六	一〇〇
擁壁	八、三三三・二	〇、〇〇〇	三、九三三・五	〇、〇〇〇	八、七八三・三	〇、〇〇〇	一〇〇
路面	〇、〇〇〇	一〇〇	一、〇七〇	一、〇〇〇	一、〇七〇	一、〇〇〇	一〇〇
溝橋	〇	〇	〇	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇	一〇〇
側溝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇〇
雜工	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇〇
材料採取	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇〇
土地買收	三、〇〇〇	〇	〇	〇	三、〇〇〇	〇	一〇〇
地上物件移轉費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇〇
合計							
數量	二、〇四三・九		一、六六七・一		二、六一九		一〇〇
金額	四、八七二		四、八八八		五、〇三〇		一〇〇
數量	二七、八三三・五		八、四三三・五		三六、二六七		一〇〇
金額	八、九三三		二、三三三		一一、二六六		一〇〇
數量	八、三三三・二		三、九三三・五		八、七八三・三		一〇〇
金額	〇、〇〇〇		〇、〇〇〇		〇、〇〇〇		一〇〇
數量	〇、〇〇〇		一、〇七〇		一、〇七〇		一〇〇
金額	一〇〇		一、〇〇〇		一、〇〇〇		一〇〇
數量	〇		〇		〇		一〇〇
金額	〇		〇		〇		一〇〇
數量	〇		〇		〇		一〇〇
金額	〇		〇		〇		一〇〇
數量	三、〇〇〇		〇		三、〇〇〇		一〇〇
金額	〇		〇		〇		一〇〇
數量	〇		〇		〇		一〇〇
金額	〇		〇		〇		一〇〇
數量	〇		〇		〇		一〇〇
金額	〇		〇		〇		一〇〇

總計	器具 其他 諸費	機 械 費
1,161,161	○ 18,477	5,796
1,111,111	○ 11,110	111
100,000	○ 11,111	111
100		

第二六 國道三號線（大分）改良工事 時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費二十萬圓ヲ以テ三號國道大分縣大分郡八幡村大字神崎ヨリ別府市大字濱脇ニ至ル間ニ於テ昭和九年度直轄改良工事終點ヨリ別府市ニ向ヒ延長一千二百六十三米三〇ヲ改良スルモノナリ

計畫大要

本工事施行區間ノ在來道路ハ二號國道小倉市ヨリ分岐シ中津市、別府市ヲ經テ大分市ニ通ジ更ニ宮崎市、鹿兒島市ニ達スル重要幹線ノ一部ニシテ交通最モ激甚ナル別府市、大分市間ニ在リテハ唯一ノ聯絡道路ナルニモ拘ラズ幅員狹小ニシテ屈曲多ク且單線軌道敷設シアリ又山手側ハ道路ニ接近シテ鐵道日豐本線存シ海岸側ハ古來ノ石積護岸ヲ以テ直接別府灣ニ臨ミ年々歲々激浪ノ爲メ隨所ニ缺潰ヲ生ジ繁激ナル交通ノ要求ヲ滿タシ得ザル状態ニ在リ從ツテ之ガ改良ニ當リテハ主トシテ海側ニ擴幅シ線形ヲ改良スルト共ニ堅固ナル混凝土石積護岸工事ヲ施行スルモノトス而シテ別府市寄りノ延長三百四十米間ハ軌道會社ニ於テ單線軌道ヲ複線ニ爲スコトトナリ國ノ改良計畫幅員十五米五ヲ三米擴幅シテ十八米五トナスノ必要ヲ認メ其ノ増工事ヲ軌道會社ノ負擔トシ之ガ工事ヲ大分縣ノ依託工事トシテ國ノ工事ト

併セ施行スルコト、セリ其ノ設計ノ概要左ノ如シ

總延長一千二百六十三米三〇其有効幅員十五米五ノ延長九百二十三米三〇十八米五ノ延長三百四十米トス路面ノ構造ハ海岸側二米五ト車道十米ハ砂利敷ニシテ軌道ハ山手側單線三米、複線六米ナリ縱斷勾配ノ最急ハ〇・三二%此延長百米、最緩〇・〇六%ニシテ河岸側一帶ニ石積混泥土及波除壁ヲ設ケ道路ヨリ海濱ニ昇降スル階段ヲ施設ス橋梁ハ鐵筋混泥土床張橋一箇所ヲ架設ス

施工狀況

準備トシテ國道改良事務所ハ九年度ヨリ引續キ別府市大字濱脇ニ設置セルモノヲ使用シ四月下旬ヨリ大野川並ニ住吉川河口ニテ所用砂利及砂ノ直營採取ヲ開始シ其他諸般ノ準備ヲ進メタリ用地買収及物件移轉ハ四月初旬ヨリ調査ニ着手シ五月初旬是等ノ協議ヲ開始シ八月下旬ニ於テ全部ノ承諾ヲ得タリ土工ノ切取土量ハ盛土ニ比シ其ノ量少ク全部ヲ盛土ニ流用スルモ尙多量ノ不足ヲ告ゲタルヲ以テ鐵道用地並ニ別府市有地ノ無償土及民地ヨリノ有償土ヲ以テ補足セリ盛土運搬ハ擁壁工ノ進捗ニ伴ヒ七月下旬ヨリ切取ハ二月中旬ヨリ着手シ切取及盛土共ニ岩石多ク加フルニ土取場ハ鐵道線路ヲ距テタル山麓ニシテ土運搬ハ鐵道橋下ヲ横斷シ電車軌道ト平面交叉ヲ要スル爲メ甚シク工事ノ進捗ヲ阻害セラレ年度内ニ於テ切取八〇%、盛土六六%ヲ終ヘ殘部ハ翌年度ニ繰越ノ止ムナキニ至レリ擁壁工ノ施行區間ノ海岸側ハ石積混泥土擁壁ニシテ最高八米五ヨリ最低六米五ノ數種ヲ施行ス其ノ基礎床掘ハ干潮時ヲ利用スルモノナルヲ以テ各工種ニ先ダテ五月上旬ヨリ着手セリ床掘ハ平素二重土俵ヲ以テ締切り唧筒ニ依リ排水セシモ測點起點乃至六號間百三米三八地盤砂礫層ニシテ矢板締切工ヲ必

要トセリ又測點五十九號乃至七十九號間四百米ハ轉石多ク之ガ破壞並ニ取除キニハ相當ノ時日ヲ要シ何レモ排水ニ困難セリ尙測點十六號乃至三十三號間ノ内四百四十米ノ基礎工ハ締切工不可能ナルヲ以テ中空混凝土塊ヲ据付ケ然ル後填充混凝土並ニ均シ混凝土ヲ施工スルコト、ナシ六月下旬ヨリ施工準備ヲ始メ引續キ基礎床掘ニ着手セリ之ガ爲メニ潜水夫四組ヲ使役シ爆藥ヲ以テ岩石取除キヲ爲セシガジャツクハンマー、コンプレツサー等ニ故障多ク且數次ノ暴風雨襲來ニ遭ヒ年度内ニハ七割四分ヲ完了シタルノミニテ殘部ヲ翌年度ニ繰越セリ

路面工ハ盛土沈下ヲ見越シ土工完了後全區間ニ互リ施行スルヲ得策トシ全部ヲ翌年度ニ繰越スコト、セリ排水工ハ必要ナル箇所ニ鐵筋混凝土圓型溝橋ヲ設ケ在來吞吐口ノ繼足等ヲ施工セントスルモノニシテ十一月下旬着手セシモ盛土沈下ノ安全ヲ見タル結果年度末ニ於テ一割二分ヲ完成セルニ過ギズ又U型混凝土側溝ハ土工完了箇所ヨリ二月上旬着手シ三割三分ヲ完成シ他ハ翌年度ニ繰越スコトトセリ

橋梁工ハ鐵筋混凝土床版橋ニシテ海岸石積擁壁基礎工完成後十一月上旬ヨリ橋臺基礎床掘ニ着手シ年度内ニ於テ橋臺並ニ床版ノ施工ヲ終へ高欄工ハ之ヲ次年度ニ繰越セリ又道路ヨリ海濱ニ昇降スル階段一箇所ハ石積擁壁完成後施工スルヲ得策トシ翌年度ニ繰越スコトトセリ

本工事ニ使用セシ材料ハ總テ國產品ニシテ其總額ハ五萬六百九十二圓(外ニ大分縣委託一千八百九十四圓)ナリ使用勞働者延人數ハ總計四萬六千五百五十三人(外ニ大分縣委託一千九十一人)ナリ

本工事ハ前述ノ如ク土工及擁壁工ニ於テ多大ノ困難ニ遭遇セシ爲メ各工種ニ涉リ其ノ一部又ハ大部分ノ施行ヲ翌年度ニ繰越スノ止ムナキニ至レリ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ「*」ハ大分縣委託工事費「◎」ハ使用無代品評價額ヲ示ス

第二七 國道三號線（宮崎）改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工事費二十萬圓ヲ以テ三號國道宮崎縣延岡市大字岡富ヨリ同市大字南町ニ至ル延長六百二十三米ノ區間ニ於ケル板田橋ノ架換及其前後國道ノ改良ヲ爲スモノニシテ暴風雨其ノ他ノ爲メ豫想外ノ遲延ヲ來シタルヲ以テ其ノ繰越工事ヲ本年度ニ於テ施行スルモノトス

計畫大要

五箇瀬川ニ架設シアル在來ノ國道橋板田橋ハ幅員五米内外ノ木造ニシテ既ニ幾十星霜ヲ經其ノ間幾度カ補修ヲ加ヘタリト雖モ腐朽甚シク加フルニ近時延岡市地方ハ工業ノ發展著シク自動車ノ交通頓ニ繁劇トナリ重量物通過ニハ危險甚シク且ツ之ガ前後國道ハ延岡市内第一ノ繁華街ナルニモ不拘幅員八米内外ニシテ而モ十七分ノ一ノ急勾配ナルタメ交通上ノ支障尠ナカラズ之ガ改良ハ焦眉ノ急ヲ告グル状態ニ在リタリ而シテ計畫中心線ノ決定ニ當リテハ在來道路ノ中心線ハ延岡都市計畫ノ二等大路第一類第一號路線ト合致セルヲ以テ此路線ニ依ルコト、セリ而シテ國計畫有効幅員ハ十一米ナリシモ延岡市ハ都市計畫決定幅員ニ合致セシムベク道路ヲ十八米、橋梁ヲ十五米ニ擴張スル計畫ヲ樹テ此ノ幅員擴張工事ヲ當所ニ依託シ來リタルヲ以テ之ヲ受諾シ國工事ト併セテ施行スルコト、セリ本工事設計ノ概要

左ノ如シ

總延長六百二十三米ノ内道路五百七米、橋梁百十六米、其有効幅員中道路ハ十八米ニシテ、歩道左右三米、車道十二米、橋梁ハ十五米ニシテ、歩道左右二米、車道十一米トス、路面ノ構造ハ道路ノ歩道ハ、混凝土塊鋪裝、車道二層式混凝土鋪裝、縱斷勾配最急三十分ノ一、二箇所、橋梁兩端ノ盛土箇所ニ、混凝土擁壁ヲ施工ス、橋梁一箇所ゲルバー式鐵筋混凝土橋ニシテ、延長百十六米ナリ

施工狀況

準備トシテ、昭和九年四月設置セル宮崎國道改良事務所ヲ引續キ使用シ、其他諸般ノ設備モ亦既設ノ儘使用スルコト、セリ、用地買收及物件移轉ハ、幅員擴張工事ヲ延岡市ニ於テ企畫シ、之ガ實施ヲ當所ニ依託シ來リタルヲ以テ之ヲ國工事ト併セ施行スルコト、ナリタルモ、用地買收物件移轉ハ、全部區劃整理組合ニ於テ完結スルコト、ナリタルモ、家屋其他移轉ノ進捗ヲ見ズ、工事施行上重大ナル支障ヲ來セリ、而モ南九州ニ於ケル陸軍特別大演習ノ關係モアリテ、十一月初迄ニハ、全工事ヲ完成セシムルノ必要ニ迫ラレタルヲ以テ、前記組合ヲ督勵シ、晝夜兼行之ガ解決ニ當リタル爲メ、十月二十日全線ノ移轉ヲ完了スルニ至レリ、土工ハ前年度ニ於テハ、用地買收及物件移轉ノ遅延セル爲メ、本工ニ着手スルヲ得ザリシモ、本年度ニ入り四月早々土取場ノ準備ニ着手シ、五月ニハ移轉完了セル板田橋左岸取付ヨリ、着工シ、順次起點ニ向ヒテ工ヲ進ムルニ至レリ、一方板田橋右岸取付ヨリ終點ニ至ル間ハ、附近ニ適當ノ土取場ナキ爲メ、五箇瀬川堤外地ヨリ河底ノ土砂ヲ採取スル事トシ、七月初旬着手セリ、恰モ雨季ニ入り、數回ノ洪水ニ會ヒシモ、幸ヒ大ナル損害ヲ被ルニ至ラズ、逐次終點ニ向ヒ工ヲ進メ、八月下旬殆ンド全線ニ互リテ工ヲ始ムルニ至レリ、然レ

共一部家屋移轉ノ遅延セルト雨季ニ入り労働者ノ出役状態低下セル爲メ全工期ニ大ナル支障ヲ來シタルモ極力進工ニ努メ十月二十九日ヲ以テ全線ノ盛土及切取ヲ完成スルヲ得タリ

擁壁工モ前年度ニ於テハ用地買収及物件移轉ノ遅延セル爲メ着工スルニ至ラザリシモ板田橋左右岸兩取付盛土工事箇所ニ於ケル混凝土擁壁ニ八月上旬着手シ以來銳意進工ニ努メ十月十一日ヲ以テ完了セリ前年度ヨリ續工ノ側溝工モ亦十月末完成セリ溝橋工ハ圓型及函型各一箇所ニシテ鐵筋混凝土圓管ハ八月初旬基礎工着手以來八月上旬之ガ埋戻完了迄數回ノ出水ニ遇ヒシモ幸ヒ大禍ナク十月上旬人孔ノ完成ニ依リ全ク竣功セリ

路面工ハ諸種ノ構造物竝ニ土工ノ進捗ニ從ヒ九月上旬板田橋左岸取付口ヨリ起點ニ向ヒテ逐次路面ノ輾壓ヲ開始シ銳意工ヲ進メ十月末ヲ以テ二層式混凝土鋪裝ヲ完成セリ歩道混凝土方塊ハ前年度ヨリ引續キ製作セシ處九月末之ガ製作ヲ終リ車道混凝土鋪裝ト相前後シテ之ガ据付ニ着手シ十一月上旬全ク完成セシメタリ尙道路境界石及鋪裝境界石ハ八月着工シ十月末竣功セリ雜工ハ取付支道四箇所モ盛土ノ進行ト共ニ順次施工シ板田橋左岸取付口ヨリ五箇瀬川洪水敷ヘノ聯絡ハ石積階段ヲ左岸橋臺取付護岸ト共ニ施工シ又汚水樹及汚水樹排水管ヲ設置シテ排水ニ努メ亦街路樹根圍ヲ設置シ是等ハ盛土及路面ノ竣功ト共ニ着々進工シ十月末日完成セリ

本改良工事ハ前述ノ如ク橋梁ヲ主體トセルモノナレバ前年度ニ於テモ全カヲ之ニ注ギシモ諸般ノ準備及試験工事等ノ爲メ意外ノ遅延ヲ見第二第三號橋脚ノ大半ヲ了リタルニ過ギザリキ四月早々前年度ニ於テ床掘中ナリシ第四號橋脚ノ水替水中床掘ニ全カヲ注ギ同時ニ基礎杭打準備及各橋脚ノ根固用混凝土函地型枠作製ニ着手シ以來銳意工ヲ進メ六月末第四號橋脚ヲ竣功シ第一號橋脚ニ着手セリ然レ共數

同ノ洪水ニ遇ヒ將ニ締切工事ノ完成セントシテ再度ノ手戻リヲ餘儀ナクサレ加フルニ湧水多ク意外ノ難工事ナリシモ八月上旬基礎杭打ニ進ミ八月末第一號橋脚ノ完成ヲ見茲ニ橋脚全部ヲ完成セリ然レドモ是等橋脚ニハ河水ノ流レ急激ナル爲メ洪水ノ際ニハ基礎ヲ掘洗ハル、虞アルヲ以テ十一月濁水期ニ入リテ木工沈床ヲ施工シ翌年一月上旬完成セリ橋臺ハ前年度ニ於テ略々床掘ヲ終リタルヲ以テ四月早々基礎杭打ニ着手シ工ヲ進メ十月末橋體混凝土施工ノ際同時ニ土留混凝土ヲ施工セルヲ最後トシテ兩橋臺共全ク竣功ヲ見タリ

橋體ハ四月早々復碇着桁ノ支保工型枠及鐵筋等ノ加工ヲ進メ六月是等ノ諸準備全ク成リタルヲ以テ之ガ混凝土工ニ着手シ同月上旬竣功之ト同時ニ右岸側碇着桁竝ニ吊架桁ノ準備ヲ進メ七月下旬ニハ之ガ碇着桁ノ混凝土工ヲ完了シ引續キ吊架桁ノ混凝土工ニ着手シ八月上旬完成セリ又左岸側ニ於テハ數次ノ洪水ノ爲メ遅延セル第一號橋脚ノ竣功セルト同時ニ支保工型枠ノ組立ヲ急ギ九月中旬碇着桁混凝土工ヲ終了シ引續キ吊架桁モ九月下旬混凝土工ヲ完了セリ而シテ親柱、高欄、橋面鋪裝及照明設備等ハ順次進工シ十一月初旬支保工型枠ノ取除キト共ニ橋梁工事ヲ全ク終了セリ

本工事ノ混凝土構造物ニ使用セシ砂利、砂、栗石ハ總テ五箇瀬川、大瀬川、祝子川等ヨリ直營採取シ本工事ヲシテ毫モ支障ナカラシメタリ

本工事ニ購入使用セシ材料ハ總テ國產品ニシテ其ノ總額前年度ニ於テ四萬五千六百九十六圓、本年度ニ於テ十五萬六百四十八圓、計十九萬六千三百四十四圓ナリ又使用勞働者延人數ハ前年度ニ於テ一萬四千六百十七人、本年度ニ於テ一萬六千七百五十五人、計三萬一千三百七十二人ナリ
本工事ハ當初諸準備工事ノ大半成レル際九月二十日襲來セル暴風雨ノ爲メ五箇瀬川四米増水シ假橋其

他全部被害ヲ被リ又五箇瀨川堤外地ノ地下水位意外ニ高ク湧水甚シク是等ノ爲メ工事ノ進捗ヲ阻マレシ上用地買収及物件移轉ニ於テハ調査完了セシ處延岡市ノ委託工事起リタル爲メ工事全體ニ意外ノ遅延ヲ來シタルヲ以テ晝夜兼行銳意之ガ竣成ニ努メ遂ニ完成ヲ見ルニ至レリ今ヤ老朽危険ナリシ舊橋ニ代フルニ新裝成レル近代橋板田橋ハ其ノ改築セラレタル前後道路ト共ニ新興延岡市ノ偉觀ニシテ交通運輸ニ齎ス便益蓋シ甚大ナルモノ在リ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ「」ハ延岡市負擔額「」ハ使用無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
掘鑿	立方米	1000	立方米	800	立方米	1800	1000	1.00
築堤	平方米	1000	平方米	1000	平方米	2000	1000	1.00
擁壁	平方米	1000	平方米	1000	平方米	2000	1000	1.00
路面	平方米	1000	平方米	1000	平方米	2000	1000	1.00
溝橋	箇所	1000	箇所	1000	箇所	2000	1000	1.00
側溝	米	1000	米	1000	米	2000	1000	1.00
橋梁	箇所	1000	箇所	1000	箇所	2000	1000	1.00
採橋	箇所	1000	箇所	1000	箇所	2000	1000	1.00
雜費	箇所	1000	箇所	1000	箇所	2000	1000	1.00
地上物件移轉費	箇所	1000	箇所	1000	箇所	2000	1000	1.00

第六章 國道改良工事 (國道三號線(宮崎)改良工事)

總計	器具機械費	其他諸費
×	×	×
二、八〇〇、〇〇〇	二、六〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
×	×	×
一、〇〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
×	×	×
一、〇〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
1.00		

第二八 國道三號線（宮崎）改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ工事費十五萬圓ヲ以テ國道三號線中宮崎縣延岡市大字新町ヨリ同縣同市大字恒富ニ至ル間大瀬川ニ架設スル橋梁延長二百三十五米ノ下部工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

現在國道ハ大分市方面ヨリ宮崎市ヲ經テ鹿兒島市ニ通ズル主要幹線ナルニ往古ノ築造ニシテ路幅狹隘且路線ハ所々ニ急曲部多ク加フルニ大瀬川架橋ノ如キハ木造ニシテ既ニ年齡四十有餘年ヲ經過シ自動車交通ニ際シ甚シク動搖ヲ來シ危險ヲ感ズル事大ナリ加之近時交通量ハ激増ノ趨勢ニ在リ且延岡市ハ新興工業都市トシテ目覺シキ躍進ヲ呈スルノミナラズ輓近自動車交通ノ發達著シキ現況ニ於テ交通上ノ危險ト不便ヲ感ズルコト尠カラズ之ガ橋梁改築ハ焦眉ノ急ヲ要シ本年度ハ橋梁改築下部工事ヲ施行スルモノトス而シテ延岡市ハ國ノ計畫幅員十一米ヲ更ニ四米擴張シテ總幅員ヲ十五米ト爲サントシテ其ノ擴張工事ヲ委託シタルヲ以テ之ヲ併セテ施行スルコト、シ計畫中心線ノ決定ニ當リテハ既ニ決定セル都市計畫街路網ニ準據スルヲ最モ得策トセリ其ノ計畫ハ橋梁下部工事（有効幅員十五米ニ對スルモノ）ニシテ橋脚（井筒式鐵筋混凝土十八基）及橋臺（鐵筋混凝土扶壁式二基）トス

施工狀況

準備トシテ昭和九年四月設置セル宮崎國道改良事務所ヲ前年度ヨリ引續キ使用シ橋梁基礎地質調査ニ着手スルト共ニ井筒混凝土運搬用假橋架設等諸般ノ準備ニ着手セリ而シテ當初ハ前年度起工ノ板田橋改築竝ニ之ガ前後取付道路ノ施工ニ全力ヲ傾注シテ工事多端ヲ極メ多數ノ労働者ヲ使用シ尙延岡市ハ新興工業都市ナルヲ以テ労働者募集ニ就テハ種々方法ヲ講ゼシモ出役數少ク止ムナク遲延スルニ至レリ

井筒工ハ井筒建設十六箇所ニ對シ型枠ヲ二個トシ八月上旬作製ニ着手シ八月二十日第八號橋脚陸上床掘ヨリ開始セリ而シテ井筒長八十米トシ之ヲ第一ロツト六米第二ロツト四米ニ區分シ第一ロツト五米沈下終了後第二ロツトヲ建設スルト、シ九月二十四日第八號橋脚下流部井筒沈下ノ爲メ第一ロツトノ掘鑿ニ着手シ他方第五號橋脚ノ築島工事ヲ終リタルニ九月二十七日突如トシテ襲來セル大暴風雨ノ爲メ大瀬川ハ數十年來ノ増水ヲ來シ爲ニ材料運搬用假橋ノ流失ハ勿論其他ノ諸設備モ殆ンド水泡ニ歸シ更ニ前記工事ヲメ行フ爲メ約二箇月ノ手戻トナレリ尙宮崎縣下陸軍特別大演習ノ關係ニ依リ労働者ノ需要激增シ人夫ノ不足ヲ生ジ意ノ如ク進工セザリキ然レ共十月上旬九年度起工工事モ略完了シ同下旬ヨリ労働者ノ増加ヲ見工事ハ一齊ニ本格的着工ニ入りタリ井筒沈下ニ際シテハ豫テ用意セル沈下用ハーフタイミングラブ二個竝ニ掘鑿沈下用荷重六百吨ニテハ所期工期ヲ期シ得ラレズ十一月中旬ヨリ更ニハーフタイミングラブ二個ヲ民間ヨリ借り受ケルト共ニ十二月中旬積載荷重用混凝土塊六百吨ノ製作ニ着手シ遺憾ナキヲ期セリ而シテ當初ハ積載ヲ爲シ掘鑿スルヲ可トセルモ沈下ノ實況工期ヲ斟酌シ第一

ロットハ地質砂交リ砂利層ニシテ最モ良好ナル地盤ニシテ三十疋軌條ヲ六疋乃至十疋積載セルノミニテ井筒自重ニテ沈下ヲ爲サシメタルニ結果頗ル良好ナルヲ以テ無荷重ニテ掘鑿シ沈下セシムルヲ得タリ斯クテ各號橋脚ノ第一ロット平均一日當リ沈下量五十六糎ヲ算セリ第二ロットハ地質非常ニ堅硬ナル細砂交リ貝殻或ハ細砂貝殻交リ大玉砂利ノ層ニシテ掘鑿容易ナラズ荷重三百疋ヲ當初ヨリ積載シ掘鑿スルモ數日間沈下ヲ見ザル状態ニシテ平均一日當リ沈下量二十四糎ヲ示セリ尙是等井筒沈下ニ當リテハ晴雨ニ抱ラズ労働者ノ出役ヲ促シ極寒中ト雖モ夜間作業ヲ繼續シ沈下作業ハ午後十時半迄殘業ヲ定則トシ積載操作ノ如キハ殆ンド徹夜作業ヲ爲ス等大々のニ工ヲ急ギ本年度内ニ全沈下延長ノ九割七分ヲ竣功セシムルヲ得タリ

橋脚工ハ年度内ニ第四及第五號橋脚軀體混凝土工ヲ完了シ第三號橋脚井筒連繫部床掘ニ着手シ全橋脚軀體ノ約三十七%ヲ竣功セリ橋臺工ハ左右兩取付護岸ト共ニ全部年度内ニ竣功セシムルヲ得タリ

本工事ニ使用セシ材料ハ凡テ國産品ニシテ其總額六萬一千三百四十七圓三十五錢ナリ又使用労働者數ハ一萬七千六百八十七人ナリ

本工事ハ前述ノ如ク労働者ノ不足ト突如トシテ起レル大暴風ノ爲ニ假橋ハ勿論諸般ノ設備モ殆ンド水泡ニ歸シタル等ニ依リ大イニ進捗ヲ阻害サレシモ晝夜兼行專ラ其ノ進工ニ努メ遂ニ大部分完成セシメタリ今工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ「△」ハ延岡市負擔額「○」ハ使用無代價品評價額ヲ示ス

費目	本工事費						總計
	橋	橋	採	雜	器具 其他 諸費	其他 諸費	
前年度迄竣工高	數量						
	金額						
本年度竣工高	數量						
	金額	△	△	△	△	△	△
合計	數量						
	金額	△	△	△	△	△	△
竣工高	數量						
	金額	△	△	△	△	△	△
歩分							

第二九 國道四號線(草加)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和十年度國道改良工事トシテ工費豫算十萬圓ヲ以テ埼玉縣北足立郡草加町字神明町ヨリ同郡新田村ニ至ル延長一千五百七十米ヲ施行スルモノトス

計畫大要

本國道ハ東京ヨリ埼玉縣越谷町及栗橋町ヲ經テ北走シ栃木縣宇都宮ニ至リ遠ク北海道ニ達スル樞要幹線ニシテ陸羽街道(俗稱日光街道ノ名アリ)ト稱ス

改良區間ハ帝都ニ接近シ躍進セル自動車交通量ハ越ケ谷町入口ニ於テ一日約一千五百臺ヲ算シ尙逐日增加ノ傾向ナリ而モ幅員狹隘僅ニ七米ニ過ギザル簡易鋪裝道ニシテ神明町地先傳右川以北延長一千五百米ノ間ハ其兩側ニ老松繁茂シ風致佳良ナルモ道路ニ接シテ東ハ綾瀨川西ハ幅五米ノ用水路ニ界セラレ一般ノ交通危險ナルノミナラズ路面ノ維持益々困難トナレリ

改良計畫ハ神明町地先傳右川ニ架橋シ用水路ノ西側ニ出デ現道ト竝行シテ延長一千五百二十三米幅員七米ノ複道ヲ設ケ以下幅員ヲ九米トシ殆ンド一直線ニ蒲生村ニ至リ再ビ現道ニ聯絡スル路線ヲ決定セリ新設路線ハ殆ント低濕地ナルヲ以テ附近ノ田面ニ比シ約零米八高ニ盛土シ横斷勾配ハ四十分ノ一拋物線形ヲ用ヒ縱斷勾配八百分ノ一乃至三千分ノ一ヲ保タシム

路面鋪裝ハ中央幅六米ニシテ路床ノ硬軟其他ノ關係ニ依リ二層式若クハ一層式混凝土ヲ施シ排水設備ハ自然排水トス

橋梁ハ長十米、徑間九米、幅員六米一箇所及長十米二三、徑間斜長八米九五、幅員六米、斜交角四十三度一箇所、其他ハ橋長七米及七米九ノ二箇所、計四箇所ニシテ何レモ丁型鐵筋混凝土桁橋ナリ

施工狀況

事業開始ハ昭和十年四月十六日ニシテ先準備工ニ着手シ事務所及見張所ヲ設クルト共ニ所要土地ノ買收協議ヲ行ヒ工事ハ施行ニ先立チ起工承諾書ヲ徴シ五月二十一日ヨリ土工工事ニ着手セリ

盛土總數量ハ九千八百七十立方米ニシテ内三千九百立方米ヲ草加町地先綾瀬川廢川敷ヨリ採集シ二千五百五十立方米ハ附近民地ニ於テ補償採取ノ上何レモ零米六立方米積土運車ヲ使用人力トロニ依リ之ヲ搬入シ尙不足土ハ約七籽ヲ距テタル安行村地内民地ニ之ヲ求メ貨物自動車ニ依リ搬入全部之ヲ終了セリ

路床ハ土運搬終了ノ箇所ヨリ順次地均ヲ行ヒ六疋乃至十疋五ローラーヲ使用充分輾壓ノ上厚五糎ニ敷砂利ヲ施シ再ビ輾壓ヲ加ヘ鋪裝ニ適スル路床ヲ竣功セリ

水路横斷箇所ニハ内徑二十三糎乃至六十糎ノ陶管又ハ鐵筋混凝土管渠ヲ二十六箇所ニ設置シ水路ニ接スル道路法先ハ洗掘崩壞ノ懼レアル地先ニ高二米ノ鐵筋混凝土擁壁延長三十三米及ビ板柵延長一千三百八十四米ヲ施工セシガ後者ノ一部ハ未竣功ニ終レリ

橋梁ハ四箇所ニシテ内神明町地先傳右川横斷ノ爲メ架設セシ草加新橋ハ橋臺ヲ重力式混凝土構造トシ

度内竣成セシガ其他ノ三橋ハ翌年度へ繰越施工スルコトナレリ
 本年度使用セシ労働者延人員ハ一萬五千八百六十人ニシテ豫定人員ニ達セザリシガ工事竣功迄ニハ之ヲ超過スルニ至ルベシ
 本年度工事竣功高ハ八萬百八十六圓ニシテ之ヲ工費豫算十萬圓ニ比較スルトキハ八割強ノ竣功ナリトス其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道							0.00
工事							0.11
橋							0.00
雜費							1.00
用地			10段	18,450圓	10段	18,450圓	
器具				28圓		28圓	
機械				1,100圓		1,100圓	
雜費				1,100圓		1,100圓	
共濟組合給與金				17圓		17圓	
總計				20,125圓		20,125圓	0.00

第三〇 國道四號線(栃木)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和十年度國道改良工事トシテ工費豫算十萬圓ヲ以テ栃木縣那須郡狩野村大字遲澤ヨリ同郡東那須野村大字島方ニ至ル延長五百六十米ヲ施行スルモノトス

計畫大要

改良區間ハ所謂陸羽街道ノ一部ニ屬シ帝都ト青森地方トヲ聯絡スル重要路線ニシテ輓近自動車運輸ノ躍進ニ伴ヒ交通頗ル頻繁トナレリ然レドモ狩野東那須野兩村ノ境ヲ流ルル蛇尾川ハ現國道ヲ橫斷セルノミナラス完全ナル橋梁ナク一般交通ハ同川左岸寄ニ長十五米ノ假橋架設セラレ同橋南端ヨリ右岸ニ至ル延長約百八十五米ハ川中ニ其水面ト殆ンド同高ノ砂利道ヲ設ケ之ニ依リ僅ニ聯絡ヲ保ツ狀態ナルヲ以テ一朝出水セン乎該部分ハ勿論路上一帶ニ冠水シ交通ヲ阻害スルコト不尠之レガ改良ハ實ニ焦眉ノ急ヲ要ス

改良計畫ハ起點狩野村大字遲澤地内ヨリ七十三米五ヲ進ミタル地點ニ於テ現國道ヨリ分離稍右折シ蛇尾川右岸ニ至リ茲ニ新橋ヲ架設シ東那須野村大字島方地内ニ入り再ビ現國道ニ聯絡以下一直線ニ終點ニ達ス

縱斷勾配ハ土地ノ起伏ニ應ジ起點ヨリ右岸橋臺ニ至ル間ハ百分ノ一乃至三十分ノ一トシ左岸橋臺ヨリ

終點ニ至ル間ヲ百分ノ一乃至四百分ノ一トス

現國道ハ幅員八米乃至九米ノ完全ナル砂利道ナルヲ以テ概ネ之ヲ利用シ取付道路モ亦之ニ倣ヒ築設シ歩車道ハ之ヲ區別セズ

路面構造ハ橋梁ノ前後延長百八十米ニ限り中央六米ヲ二層式鋪裝又ハ鋪石鋪裝トシ其他ハ砂利敷ニシテ横斷勾配ハ鋪裝部ヲ五十分ノ一、砂利敷部ヲ二十五分ノ一トシ何レモ拋物線型トス

橋梁ハ蛇尾川横斷箇所ニ架設スルゲルバー型鐵筋混凝土桁橋一箇所ニシテ幅員七米五、橋長百九十五米五支間十五米、十三連ヨリ成リ橋面ハ鐵筋混凝土床版ニ碎石混凝土鋪裝ヲ施シ橋臺扶壁式橋脚ト共ニ何レモ鐵筋混凝土造ナリ

施工狀況

工事施工ニ關シテハ狩野村大字遲澤地内ニ事務所ヲ設ケ用地買收並ニ物件移轉等ノ協議ヲ開始スルト共ニ測量及實施設計ヲ行ヒ其進捗ニ伴ヒ五月十六日ヨリ諸工事ニ着手セリ

土工ハ改良區間ニ於ケル橋梁前後ノ取付道路築造ニシテ盛土用土ハ四千四百八十立方米ヲ要シ一部ハ蛇尾川橋梁下部工事根據ヨリ生ズル砂礫及粘土ヲ利用シ尙法面保護ニ要スル不足土ハ附近ノ畑土ヲ補償採取シ人力トロ又ハ輕子運搬ニ依リ年度内二千四百立方米ヲ搬入セシガ其餘ハ次年度へ繰越トナレリ

擁壁ハ水勢ノ激衝ニ依リ橋臺及袖石垣等脚部洗掘ノ虞アル箇所及橋梁前後取付道路法先保護ノ爲メ上幅六十糎、直高右岸三米一、左岸二米二乃至一米四ノ玉石練積ヲ施工シ兩岸延長百七十三米ノ内約八分通

竣功セシガ其餘ハ次年度へ繰越トナレリ
 橋梁ハ工事中最モ主要ナルモノニシテ先ヅ下部工タル橋臺、橋脚等ノ基礎根掘ニ着手シ次デ基礎杭打ヲ
 行ヒ軀體ヲ構築約九分通ヲ了リ上部工ハ支保工及型枠ノ組立ヲ爲シゲルバI型鐵筋混凝土桁並床版等
 施工セシガ功程約八分弱ニシテ其餘ハ次年度へ繰越トナレリ
 本年度使用セシ勞働者延人員ハ二萬一千八百九十七人ニシテ工事完成迄ニハ豫定人員ヲ超過スルニ至
 ルベシ

本年度工事竣功高ハ七萬五千六百三十九圓ニシテ之ヲ工費豫算十萬圓ニ比較スルトキハ七割六分ノ竣
 功ナリトス其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道							
工橋							
事橋							
費雜							
用地							
器具							
雜具							
經濟組合給與金							
總計							

第三一 國道四號線（福島）改良工事

九年度農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ總工費十二萬圓ヲ以テ福島縣信夫郡杉妻村大字清水町、同郡同村大字伏拜間延長三千百二十米ヲ改良スルモノナリシガ年度内ニ竣功スルニ至ラズ本年度ニ線越施行セルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ郡山市及福島市ヲ連ヌル重要ナル幹線ナルモ概ネ山間部ニ屬シ勾配急峻加フルニ屈曲多ク見透シ不良ナルヲ以テ工事起點ヨリ延長一千八百六十米ハ路線ヲ變更シ其他ハ大體舊路線ニ從ヒ勾配及屈曲ヲ緩和シ有効幅員七米五十糎トシ止ムヲ得ザル部分ニ最急縱斷勾配十八分ノ一二箇所延長四百五十米、最緩縱斷勾配百十二分ノ一最小屈曲半徑六十米二箇所ヲ設ク路面ハ中央六米ヲ厚十七糎ノ水締砂利道トシ兩側各七十五糎ハ厚十糎ニ砂利敷ヲ施工ス屈曲部ニハ箇所ニ依リ安全視距トシテ内側ヲ一米二十糎高ニ法切小段ヲ設ケ又盛土高ク危險ノ虞アル所ニハ駒止ヲ設置ス

施工狀況

本工事ハ昭和九年十二月十七日ニ着手シ其大部分ハ昭和九年度ニ於テ竣功シタルモノニシテ本年度ハ

昭和九年度ノ残工事ヲ施行シ切取一萬二千四百四十三立方米内岩石三千三立方米及混泥土擁壁三千二百二十六米五、混泥土側溝一千六百十八米、溝橋十二箇所ヲ竣功シ路面ハ延長二千六百二十米ノ水締砂利道ト全區域ニ互ル兩側ノ砂利敷ヲ施工シ昭和十一年一月十五日全部竣功セリ

本年度ハ土地買収九千六百一十一平方米ヲ買収シ代金一千四百二十九圓及物件移轉其他補償五百九十七圓ヲ支拂ヒタリ

使役労働者延人員ハ本年度一萬八千七百三十一人、累計八萬六千五百八十四人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計額	竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
本工								
擁壁工	六、九三〇、三	三、〇〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	七、六一四、〇〇〇	八、一三〇、〇〇〇	一、四一六、八九九	一・〇〇	一・〇〇
路面	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	九、八八〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	一、二一六、〇〇〇	一・〇〇	一・〇〇
側溝	二、八〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一・〇〇	一・〇〇
溝渠	三、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一・〇〇	一・〇〇
工事								
材料								
其他								
費用								
土地	一、〇〇〇、〇〇〇	八、八八七、〇〇〇	九、九八七、〇〇〇	一、九七四、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一・〇〇	一・〇〇
物件移轉其他補償								
費用								
器具								
機械								
費								
雜費								
合計								

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	八九、三三三	—	三〇、〇〇〇	—	一一〇、〇〇〇	一〇〇

第一、本國道改良工事（國道四號線（福島）改良工事）は、昭和二十一年四月一日から昭和二十二年三月三十一日までの期間に、前年度迄竣工高八十九、三三三圓、本年度竣工高三〇、〇〇〇圓、合計一一〇、〇〇〇圓の費用を要し、竣功合一〇〇歩に達した。

第二、本國道改良工事（國道四號線（福島）改良工事）は、昭和二十一年四月一日から昭和二十二年三月三十一日までの期間に、前年度迄竣工高八十九、三三三圓、本年度竣工高三〇、〇〇〇圓、合計一一〇、〇〇〇圓の費用を要し、竣功合一〇〇歩に達した。

第三、本國道改良工事（國道四號線（福島）改良工事）は、昭和二十一年四月一日から昭和二十二年三月三十一日までの期間に、前年度迄竣工高八十九、三三三圓、本年度竣工高三〇、〇〇〇圓、合計一一〇、〇〇〇圓の費用を要し、竣功合一〇〇歩に達した。

第三二 國道四號線(福島)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和十年度農村其他應急土木事業トシテ總工費八萬圓ヲ以テ福島縣信夫郡杉妻村大字伏拜ヨリ同郡吉井田村大字方木田間延長一千九百六十米ノ國道改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ福島市及郡山市ヲ連ヌル幹線道路ニシテ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ施工セラル終點ヨリ福島市ニ接續スル部分ニシテ自動車其他ノ交通頻繁ヲ極ムルモ路面ハ砂利道ニシテ凹凸甚シク且排水設備不充分ニシテ殊ニ降雨期ニハ一般交通ニ不便ヲ感ジツ、アル状態ナリ依テ一部幅員ヲ擴張シ工事終點ヨリ百米間ハ有効幅員ヲ七米五ニ夫ヨリ終點ニ至ル延長一千八百六十米ハ有効幅員九米ニ改築シ路面ハ六米乃至七米ヲ水締砂利道ニ仕上ゲ更ニ側溝並暗渠ヲ改築シ一般交通ノ利便ヲ計ラントス

最急縱斷勾配三十分ノ一、最小屈曲半徑二百五十分ノ一ナリ

施工狀況

本工事ハ昭和十年四月八日諸般ノ準備ヲ整ヘ直チニ用地買收並地上物件ノ移轉ニ對シテハ夫々所有者

ヨリ起工承諾ヲ求メ着工鋭意工事ノ進捗ニ努メ土工ハ切取二千四百四十立方米、盛土五千五百五十立方
 米、側溝二千二十七米、暗渠十五箇所及擁壁一千四百五十八平方米ヲ竣功シ更ニ路面ニハ中央六米乃至七
 米ヲ厚十七糎ノ水締砂利道ヲ施工シ四千九百平方米ヲ仕上ゲ其兩側ハ厚十糎ニ砂利敷ヲ爲シ一千四百
 平方米ヲ施工シ路面及側溝暗渠等ノ各工事ノ一部ヲ翌年度ニ繰越セリ
 土地買收ハ本年度ニ於テ五千三十五平方米ヲ買收シ代金七千九百七十八圓及物件移轉其他補償四千百
 八十七圓ヲ支拂ヒタリ
 使役労働者延人員三萬四千四百八十人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工			七、九〇〇 立方米	二、一〇〇 圓	七、九〇〇 立方米	二、一〇〇 圓	〇・九八
擁壁			一、五〇〇 平方米	六、〇〇〇 圓	一、五〇〇 平方米	六、〇〇〇 圓	一・〇〇
路面			〇・〇〇〇 箇所	一、一〇〇 圓	〇・〇〇〇 箇所	一、一〇〇 圓	〇・〇〇
溝橋			二、一〇〇 米	三、〇〇〇 圓	二、一〇〇 米	三、〇〇〇 圓	〇・〇〇
側溝			二、一〇〇 米	一、〇〇〇 圓	二、一〇〇 米	一、〇〇〇 圓	〇・〇〇
工事							
材料							
採							
其他							
費用							
土地							
買收							
物件移轉其他補償							
費用							
器具							
機械							
費							
雜費							

共濟組合給與金

總計	1	1	1	1	1	1	1
計	1	1	1	1	1	1	1

第六卷... 共濟組合... 給與金... 總計... 計...

第三三 國道四號線(宮城)改良工事 九年度農村其他應急

緒言

本改良工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシ總工費五萬圓ヲ以テ宮城縣刈田郡白石町ヨリ同郡宮村間延長四千七百八十六米ノ國道改良工事ニシテ本年度ニ線越施行シ昭和十一年二月二十九日竣功セリ

計畫大要

本改良區間ハ東北ヲ縱走セル四號國道ノ一部ニシテ福島市仙臺市ノ中間ニ位シ車馬ノ交通頗ル頻繁ナリ然ルニ道路ハ一般ニ低ク路面不整幅員狹小ノ箇所多ク且兩側ニ松並木ノ土手ヲ控ヘ排水不充分ニシテ一般交通ニ不便ヲ感ジツツアル状態ナリ依テ白石町地内ハ幅員六米ヲ混凝土鋪裝ニ其兩側ヲ瀝青乳劑塗裝ヲ爲シ其他ハ路面ヲ高メ成ルベク並木ノ損傷ヲ避ケ幅員ヲ擴大シ有効幅員七米五ノ砂利道ニ改築シ構橋三箇所暗渠三箇所ヲ鐵筋混凝土ニ改築スルモノナリ縱斷勾配ハ橋梁取付ニ於テ最急ニシテ三十六分ノ一其他ハ概ネ平坦ニシテ最小屈曲半徑五十米ナリ

施工狀況

本工事ハ昭和九年度ニテ殆ド竣功シ本年度ハ僅ニ路面中央部ノ混凝土鋪裝三十八平方米竝其兩側ニ瀝

青乳劑塗裝一千二百平方米及水締砂利道一萬七千四百二平方米ヲ施工シ全工事ヲ竣功セリ
 土地買收ハ既ニ昨年度ニ於テ全部承諾ヲ了シタルモ手續ノ關係一部之ガ代金ノ支拂ヲ本年度ニ繰越セ
 ルモノニシテ宅地二百四十五平方米、田百五十九平方米、畑九十九平方米、原野百二十九平方米ニテ代金二
 百三十三圓二十八錢ヲ支拂ヒタリ
 使役勞働者延人員本年度一千七百七十人、累計四萬二千九百六十七人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本路工事	一七、六〇〇 立方 米	一四、八八八 円	一 立方 米	一 円	一七、六〇〇 立方 米	一四、八八八 円	一〇〇
溝橋	一、三三三 米	一、七七一 円	一、三三三 米	一、七七一 円	一、三三三 米	一、七七一 円	一〇〇
側溝	一、三三三 米	一、七七一 円	一、三三三 米	一、七七一 円	一、三三三 米	一、七七一 円	一〇〇
工事材料採取	—	—	—	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—	—
用地(土地買收)	一、三三三 平方 米	—	一、三三三 平方 米	—	一、三三三 平方 米	—	—
費用(物件移轉其他補償)	—	—	—	—	—	—	—
器具機械費	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共済組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	〇、〇〇〇	—	〇、〇〇〇	—	〇、〇〇〇	—

第三四 國道四號線（宮城）改良工事

農村其他應急

緒言

本改良工事ハ昭和十年年度農村其他應急土木事業トシテ總工費十萬圓ヲ以テ宮城縣刈田郡福岡村長袋ヨリ同郡同村深谷ニ至ル延長三千七百二十五米ノ國道改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ四號國道ノ一部ニシテ福島市、仙臺市トノ中間ニアリ交通頻繁ナル重要道路ニテ曩ニ昭和九年度ニ於テ兒捨川橋並同前後取付道路ヲ除キ砂利道ニ改築セルト雖高速度交通機關ノ發達ニ伴ヒ之ガ路面ニ鋪裝ヲ施工シ又兒捨川橋ハ木橋ニテ既ニ橋齡盡キ腐朽甚シク一般交通ニ危險ナル狀態ナルヲ以テ橋長四十四米一五、徑間十米五、四連、有効幅員七米五ノ鐵筋混凝土桁橋ニ架替ヘ併セテ其前後取付道路ノ改築鋪裝ヲ施行スルモノナリ

道路ハ有効幅員七米五、最急縱斷勾配三十分ノ一、最小屈曲半徑六十米ナリ

施工狀況

本工事ハ昭和十年四月十六日諸般ノ準備ヲ整ヘ着手シ銳意工事ノ進捗ニ努メ殆ト竣功セルト雖僅カニ路面鋪裝並砂利敷ノ一部ヲ翌年度ニ繰越セリ

道路工事ハ土工トシテ切取二十立方米、盛土二千立方米ヲ施行シ盛土ノ内二十立方米ハ切取土利用其他ハ附近民有地ヨリ無償採取運搬シ築立法面ニ芝張ニ替玉石張四百九十平方米ヲ施行セリ路面ハ中央幅員六米ヲ厚十七糎ニ鋪裝シ其兩側ハ一部ヲ厚十二糎ニ鋪裝シ其他ハ厚七糎ノ砂利敷トス中央部ハ混凝土鋪裝二萬六十五平方米、小鋪石鋪裝九百十三平方米竝兩側混凝土鋪裝一千百三十八平方米及砂利敷一千六百八十七平方米ヲ施工シ尙橋梁附近人家寄ニ玉石積側溝八十五米ヲ施工セリ

橋梁ノ架設箇所ハ地盤堅牢ナルヲ以テ橋臺、橋脚共川底ヨリ約四米掘下ゲ混凝土基礎ヲ施シ鐵筋混凝土ノ軀體ヲ築造ス橋體ハ鐵筋混凝土丁桁ニシテ橋面混凝土鋪裝高欄ハ又鐵筋混凝土造ニシテ瓦斯管ヲ併用親柱ハ花崗石ヲ用ヒ小叩仕上ニシタリ本橋ハ五月中旬工事ニ着手シ以來極力工事ノ進捗ヲ計リ本年度末ニ竣功セリ

本年度ノ土地買收ハ宅地百二十九平方米七十四圓九十四錢、畑百八十二平方米五十八圓七十錢、原野三十六平方米六圓五錢計三百四十七平方米代金百三十九圓、六十九錢竝物件移轉二件代金七百三十二圓六十七錢ヲ支拂ヒ尙使役勞働者延人員四萬七千四百四十三人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費 目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合 計		竣 功 合 功
	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	
土 工			11,000 ^{立方} 米	8,141	11,000 ^{立方} 米	8,141	0.00 ^{四分}
路 面			3,800 ^{平方} 米	1,678	3,800 ^{平方} 米	1,678	0.00
側 溝			8 ^全 米	118	8 ^全 米	118	0.00
採 取			1 ^箇 所	10,780	1 ^箇 所	10,780	0.00
橋 材							
橋 梁							
本 工 事 費							

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
用地				1,000 <small>平方米</small>		1,000 <small>平方米</small>	
土地買收				1,000 <small>平方米</small>		1,000 <small>平方米</small>	
費用				1,000 <small>平方米</small>		1,000 <small>平方米</small>	
物件移轉其他補償				1,000 <small>平方米</small>		1,000 <small>平方米</small>	
器具機械費				1,000 <small>平方米</small>		1,000 <small>平方米</small>	
雜費				1,000 <small>平方米</small>		1,000 <small>平方米</small>	
共濟組合給與金				1,000 <small>平方米</small>		1,000 <small>平方米</small>	
總計				1,000 <small>平方米</small>		1,000 <small>平方米</small>	0.2%

第三五 國道四號線(宮城)改良工事

九年度農村其他應急

緒言

本改良工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシ總工費八萬圓ヲ以テ宮城縣志田郡三本木町音無ヨリ同郡同町三本木ニ至ル延長四千米ノ國道改良工事ニシテ本年度ニ繰越施行シ竣功セリ

計畫大要

本改良區間ハ四號國道ノ一部ニシテ仙臺市ヨリ盛岡市ニ通ズル幹線路ナルモ幅員狹小且路面不整ナル砂利道ニシテ近代交通機關ノ發達ニ伴ヒ不便ト不安ヲ感ジツ、アリ改良工事ハ概ネ現在道路ノ中心線ニ從ヒ幅員ヲ擴大シ見透シ惡キ箇所ヲ直シ起點ヨリ二千六百米間ハ砂利道トシ更ニ終點一千四百米間ハ混凝土鋪裝ニ改良スルモノナリ有効幅員七米五、最急縱斷勾配百三十分ノ一、最小屈曲半徑百米ナリ

施工狀況

本工事ハ昭和九年度工程約七割ニテ繰越セルモノニシテ本年度ハ切取百三十二立方米、盛土一千二立方米、內百三十二立方米ハ切取土利用其他ハ附近民有地ヨリ無償採取運搬シ築立テ路面中央部ノ混凝土鋪裝八千四百平方米並砂利敷一萬九千四百五十四平方米ヲ仕上ゲ混凝土開渠ノ側溝七百十米溝橋一箇所並鐵筋混凝土管渠十四箇所ヲ施行シ昭和十年十一月三十日全工事ヲ竣功セリ

土地買收ハ昨年度ノ繰越ニシテ宅地三百九平方米、田二千百九十五平方米、畑二千六十六平方米、山林其他八百三十三平方米、計五千四百三平方米代金一千六百七十五圓十錢並物件移轉其他補償一件代金二十四圓五十五錢ヲ支拂ヒタリ使役勞働者延人員本年度七千四百八十六人、累計六萬二千九百四十四人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本路土工	50.780 立方米	11,733.34	33,000 立方米	1,333.34	83,780 立方米	12,066.68	100
溝橋	1.27 箇所	1,270.00	1.27 箇所	1,270.00	2.54 箇所	2,540.00	100
鐵筋混凝土管渠	1.27 米	3,318.00	1.27 米	3,318.00	2.54 米	6,636.00	100
側溝	140 米	3,318.00	70 米	1,659.00	210 米	4,977.00	100
材料採取	—	—	—	—	—	—	100
其他	—	—	—	—	—	—	100
用地(土地買收)	1.94 平方米	4,000.00	3.88 平方米	8,000.00	5.82 平方米	12,000.00	100
費用(物件移轉其他補償)	—	—	—	—	—	—	100
器具機械費	—	—	—	—	—	—	100
雜費	—	—	—	—	—	—	100
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	100
總計	—	110,474	—	13,989.94	—	124,463.94	100

第三六 國道四號線(宮城)改良工事

農村其他應急

緒言

本改良工事ハ昭和十年度農村其他應急土木事業トシテ總工費二十萬圓ヲ以テ宮城縣志田郡三本木町三本木ヨリ同郡志田村米袋ニ至ル延長一千三百五十五米ノ國道改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ仙臺市ヨリ縣北樞要町村ヲ經テ岩手縣ニ通スル重要道路ニシテ曩ニ昭和九年度ニ於テ一部道路ノ改築並鋪裝工事ヲ施行セルト雖尙三本木橋並多田川橋ハ何レモ木橋ニシテ既ニ腐朽甚シク一般交通ニ對シ不安ヲ感ジツ、アル現況ナルヲ以テ是等橋梁ノ架替ヲ爲シ併テ橋梁前後道路ノ改築鋪裝ヲ施工スルモノナリ

三本木橋ハ橋長百三十七米八一、有効幅員七米五ノ鐵筋混凝土ダブルバー並單桁橋ニシテ徑間二十一米一、一連十六米一一五、二連十二米六三、五連十米六六五、二連橋臺扶壁式鐵筋混凝土基礎杭打橋脚鐵筋混凝土基礎井筒二基、杭打七基、橋面混凝土鋪裝高欄ハ鐵筋混凝土ニ鑄鐵ヲ併用シ親柱ハ花崗石ヲ使用セリ
多田川橋ハ橋長七十五米八五、有効幅員七米五ノ鐵筋混凝土單桁橋ニシテ徑間十二米六三、六連橋臺、橋脚共鐵筋混凝土基礎杭打、高欄鐵筋混凝土瓦斯管ヲ併用シ親柱ハ花崗石ヲ使用セリ
道路ハ有効幅員七米五ニシテ路面中央六米ヲ二層式混凝土鋪裝トシ最急縱斷勾配三八五%、最小屈曲半

徑三十米ナリ

施工狀況

本工事ハ昭和十年四月十六日諸般準備ヲ整へ着工シ銳意工事ノ進捗ヲ計リタルモ偶々九月下旬並十月下旬ノ豪雨ニ依ル出水ト冬季ニ於ケル稀有ノ積雪ト寒氣トニ阻マレ意ノ如クナラズ工程三本木橋七割、多田川橋八割、道路四割ニシテ遂ニ各工事ヲ翌年度ニ繰越セリ

橋梁工事ノ三本木橋ハ橋臺一基、橋脚杭打基礎ノモノ五基、橋體徑間十二米六三、二連、十米六六五、一連ヲ竣功シ多田川橋ハ橋臺並橋脚四基、橋體三連ヲ竣功シ夫々工事ヲ翌年度ニ繰越セリ

道路工事ハ土工トシテ切取四百六十三立方米、盛土五千六百七十二立方米内四百六十三立方米ハ切取土利用其他ハ附近民有地ヨリ無償採取シ築立芝付一千七百八十四平方米ヲ仕上ゲ路面混凝土鋪裝一千二百平方米ヲ施工シ工事ヲ翌年度ニ繰越セリ

本年度ノ土地買收ハ宅地四百四十平方米一千四十三圓十一錢、田三十三平方米九圓、畑七平方米一圓二十錢、池沼二百二十八平方米十一圓四錢、計七百八平方米代金一千六十四圓三十五錢並家屋其他移轉補償十二件二千三百十七圓四錢合、計三千三百八十一圓三十九錢ヲ支拂ヒ完了ス使役勞働者延人員六萬四千二百二十九人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工							
土							
路面							
工事							
材料							
採取							
橋							
用地							
土地							
買収							
費用							
其他							
補償							
物件							
移轉							
其他							
費用							
器具							
機械							
費用							
雜費							
共濟組合							
給與金							
總計							

第三七 國道四號線（岩手）改良工事

九年度農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ總工費八萬圓ヲ以テ岩手縣西磐井郡一關町ヨリ同縣同郡平泉村大字平泉ニ至ル延長三千二百四十米ノ國道改良工事ニシテ本年度ニ繰越施行シ昭和十年九月一日竣功セリ

計畫大要

本改良區間ハ東北ヲ縱走セル四號國道ノ一部ニシテ仙臺市、盛岡市ノ中央ニ位シ車馬ノ交通頻繁ニシテ加フルニ近代交通機關ノ發達ニ伴ヒ益輻輳ヲ來セルモ幅員ハ狹小且路面不整ニシテ一般交通ニ不便ト不安トヲ感ジツ、アルノミナラズ平泉村地内ノ如キハ路面低ク北上川出水ニ依リ毎年冠水屢々ナリ依テ施工延長三千二百四十米ノ内一關町地内一千四十米ハ混凝土鋪裝ヲ爲シ山目中里兩村地内一千米ハ側溝ヲ設ケ路幅ヲ整ヘ尙平泉村地内一千二百米ヲ有効幅員七米五ノ砂利道ニ改築シ在來ノ小屈曲ヲ直シ路面ヲ高メ冠水ノ災厄ヲ除キ更ニ溝渠及水路附替ヲ施工スルモノナリ道路ノ最急縱斷勾配五十分ノ一、最小屈曲半徑三百米ナリ

施工狀況

本改良工事ハ昭和九年度ノ繰越工事ニシテ本年度盛土一千七百四十立方米ヲ施行シ又路面混凝土鋪裝ハ既ニ昭和九年度大部分ヲ竣功セルニ付僅ニ六百平方米ヲ施工シ竣功セリ砂利道箇所ハ土質ノ關係將來ヲ考慮シ中央幅六米ニ玉石ヲ厚二十糎敷並べ路床ヲ作り之レニ厚十八糎ノ砂利敷ヲ施シ水締輾壓ニ仕上ゲタリ更ニ鐵筋混凝土造ノ溝橋二箇所及取付道路一箇所水路附替百十米ヲ施工セリ材料採取トシテ砂利玉石ヲ昭和九年度ヨリ引續キ北上川及磐井川筋ヨリ採取セリ使役勞働者延人員本年度一萬七千四百五十人累計六萬三百八十九人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計額	竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
本土工	11,110 立方米	11,798.84	1,790 立方米	8,154.4	1,790 立方米	1,790.00	1.00	
路面工	7,100 平方米	15,811.11	6,000 平方米	8,110.00	1,100 平方米	1,771.11	1.00	
溝渠	5 箇所	210.00	2 箇所	300.00	7 箇所	2,014.00	1.00	
側溝	11,000 米	6,144.44	1 米	1.00	11,001 米	6,145.44	1.00	
工事費	5,100 立方米	11,811.11	9 立方米	1.11	5,109 立方米	11,812.22	1.00	
材料費	3,100 立方米	9,400.00	1 立方米	1.00	3,101 立方米	9,401.00	1.00	
其他	3,500 平方米	7,375.00	1 平方米	1.00	3,501 平方米	7,376.00	1.00	
土地買収	1,187.5 平方尺	1,187.50	1 平方尺	1.00	1,188.5 平方尺	1,188.50	1.00	
物件移轉其他補償	1,187.5 平方尺	1,187.50	1 平方尺	1.00	1,188.5 平方尺	1,188.50	1.00	
機械費	1,111.11	1,111.11	1,111.11	1,111.11	2,222.22	2,222.22	1.00	
雜費	1,111.11	1,111.11	1,111.11	1,111.11	2,222.22	2,222.22	1.00	
共濟組合給與金	1,111.11	1,111.11	1,111.11	1,111.11	2,222.22	2,222.22	1.00	
總計	1,111.11	1,111.11	1,111.11	1,111.11	2,222.22	2,222.22	1.00	

第三八 國道四號線（岩手）改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和十年度農村其他應急土木事業トシテ工費十萬圓ヲ以テ岩手縣西磐井郡一關町ヨリ同縣同郡中里村大字中里ニ至ル延長二千七百十五米ノ國道改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ東北ヲ縱走スル四號國道ノ一部ニシテ仙臺市、盛岡市ノ中間ニ在リ車馬ノ交通頗ル多ク近時交通機關ノ發達ニ伴ヒ益輻輳ヲ來セルヲ以テ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ一關町、平泉村間延長三千二百四十米ノ改築並鋪裝工事ヲ施行セルト雖尙未改良區間ハ依然砂利道ニシテ路面惡シク且幅員狹小ニシテ一般交通ニ不便ヲ感ジツ、アルヲ以テ一關町、山目村、中里村地内延長一千九百七十五米ヲ混凝土鋪裝ヲ爲シ尙山目村ニ於テ延長七百四十米ノ路線ヲ附替ヘ有効幅員七米ノ砂利道ニ改築セシトスルモノナリ

施工狀況

本改良工事ハ昭和十年四月八日諸般ノ準備ヲ整ヘ直ニ材料採取ヲ行ヒ傍ヲ買收スベキ土地ニ對シテハ夫々所有者ニ起工承諾ヲ求メ着工シ銳意工事ノ進捗ヲ計リタルモ寒氣ト降雪ニ阻マレ遂ニ盛土ノ一部

並路面砂利敷及橋梁ノ一部ヲ翌年度ニ繰越セリ

道路工事ノ土工ハ切取三千七百九十立方米内一千五百立方米ハ盛土ニ利用其他ハ運搬距離ノ關係附近ニ捨土セリ盛土ハ切取土利用ノ他ハ附近民有地ヨリ無償採取シ三千七百五立方米ヲ築立芝付百七十四平方米ヲ施行シ石積擁壁二百七十七平方米及鐵筋混凝土暗渠一箇所鐵筋混凝土管十五箇所並混凝土側溝一千六百五十米ヲ竣功シ路面鋪裝ハ一關町地内延長五百八十五米幅員八米山目村中里村地内延長七百五十米ハ幅員七米五ニ何レモ厚十七糎ノ二層式混凝土鋪裝ヲ施工シ又中里村地内ノ路磐惡シキ箇所六百四十米ノ路面ハ幅六米ヲ厚十七糎ノ鐵筋混凝土鋪裝其兩側各七十五糎ハ前同様二層式混凝土鋪裝ヲ施シ何レモ竣功シ僅カニ砂利道箇所ノ砂利敷ヲ翌年度ニ繰越雜工事ハ取付道路四箇所水路附替七十五米用地境界杭四十本ヲ製作セリ

橋梁工事ハ橋長八米六六有効幅員七米五ノ鐵筋混凝土桁橋橋臺基礎杭打重力式混凝土造ニシテ八月一日着工シ之ガ進捗ニ努メ僅カニ親柱ヲ殘シ翌年度ニ繰越セリ

本年度ハ宅地一千八百三十三平方米代金四千三百三十圓三十二錢畑二百九十四平方米代金三百五十六圓山林三百三十四平方米代金三百三圓及物件移轉其他補償八千七百四十五圓ヲ支拂ヒタリ尙此外用地トシテ所有者十三名ヨリ宅地三千九平方米畑百十九平方米ノ寄附及無償物件移轉ノ申出アリタルヲ以テ之ヲ採納セリ使役勞働者延人員三萬七千三百三十八人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工	—	—	七、四〇五 五五五	三、〇〇七 七四	七、四〇五 五五五	三、〇〇七 七四	〇、八八五 五五
歩							
竣功							
合							

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣 合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
路面	—	—	1,510 ^{平方米}	31,830 ^円	1,510 ^{平方米}	31,830 ^円	0.16
側溝	—	—	227	75	227	75	0.33
橋	—	—	—	—	—	—	—
材料採	—	—	—	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—	—
土地買收	—	—	2,451 ^{平方米}	4,989	2,451 ^{平方米}	4,989	—
費用其他補償	—	—	—	—	—	—	—
器具機械費	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	—	—	41,649	—	41,649	0.16

第三九 國道四號線(岩手)改良工事

九年度農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ總工費八萬圓ヲ以テ岩手縣紫波郡見前村大字西見前ヨリ盛岡市仙北町ニ至ル延長五千米ノ國道改良工事ニシテ本年度ニ繰越施行シ昭和十年七月三十一日竣功セリ

計畫大要

本改良區間ハ盛岡市ノ南入口ニ當リ花卷町一關町ヲ經テ仙臺市ニ至ル幹線道路ニシテ車馬ノ往還頻繁ニテ日々輻輳セルニモ拘ラズ幅員狹小且路面不整ニシテ一般交通ニ不便ヲ感ジツ、アリ依テ起點ヨリ四千二百米ニ至ル間ハ幅員ヲ擴張シ縱斷勾配及屈曲ヲ直シ砂利道ニ改良シ尙此間二箇所ノ小橋梁ヲ架替へ更ニ測點四千二百米ヨリ終點ニ至ル八百米ノ路面ニ混凝土鋪裝ヲ爲シ併テ側溝ヲ改築シ一般交通ノ利便ヲ計ラントス

道路ハ有効幅員七米五、最急縱斷勾配三十分ノ一、最小屈曲半徑二百米ナリ

橋梁ハ何レモ有効幅員七米五ノ鐵筋混凝土丁桁橋ニシテ橋長ハ大沼橋六米五、小鷹橋十一米六ナリ

施工狀況

道路工事ハ本年度ハ切取二千九十四立方米、盛土二千四百六十八立方米及擁壁四百平方米ヲ施行シ又路面鋪裝箇所ニハ中央六米ヲ厚十七糎、其兩側ハ厚十二糎ニ混凝土鋪裝ヲ爲シ五千六百二十五平方米ヲ仕上ゲ尙終點際橋梁取付箇所坂路ニ鋪石鋪裝四百七十平方米ヲ施工シ更ニ砂利道箇所ニ三萬一千三百六十平方米ノ砂利敷ヲ爲シ竣功セリ

橋梁工事ハ大沼橋、小鷹橋共線越トナレル橋臺ノ一部ト橋體ヲ施行シ竣功セリ使役勞働者延人員本年度一萬九千六百三十六人、累計四萬九千九百九十六人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	
	數	金額	數	金額	數	金額	額	步竣
	量	額	量	額	量	金額	額	功
土擁壁工	立方米 二、二八	一、〇四〇円	立方米 四、五三	三、八三九円	立方米 六、八一	四、八七九円	一、〇四〇	1.00
路面	平方米 一一	一一	平方米 一、六八	一、六八	平方米 二、七九	二、七九	一一	1.00
溝渠	箇所 九	一、〇九一	箇所 三、七四	一、六八四	箇所 四、六三	三、七三五	一、〇九一	1.00
側溝	米 三、〇〇	一、二四二	米 一、〇〇	一、〇〇	米 四、〇〇	二、二四二	一、二四二	1.00
橋梁	未竣功 立方米 三、四四	一、一三六	竣功 立方米 三、二四	四、〇九〇	立方米 六、六八	五、二二六	一、一三六	1.00
材料採	其他	—	其他	—	其他	—	—	—
器具機	其他	—	其他	—	其他	—	—	—
雜費	其他	—	其他	—	其他	—	—	—
共濟組合給與金	其他	—	其他	—	其他	—	—	—
總計	—	三、一七四	—	三、三三六	—	六、五一〇	三、一七四	1.00

第四〇 國道四號線(岩手)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和十年度農村其他應急土木事業トシテ工費十三萬圓ヲ以テ岩手縣紫波郡德田村大字高田ヨリ同縣盛岡市仙北町ニ至ル延長六千七百八十一米九ノ國道改良工事ナリ然ルニ其後設計ヲ變更シ延長十四米ヲ減シ總延長六千七百六十七米九ノ改築鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ盛岡市ノ南入口ニ當リ車馬ノ交通頗ル多ク日々幅狹セルニモ不拘路面砂利道ナルヲ以テ高速度交通機關ニ對シテハ不便尠カラザルニ依リ總延長六千七百六十七米九ノ内二千五百六十七米九ヲ有効幅員七米五ニ改築シ昭和九年度農村其他應急土木事業ニテ砂利道ニ改築セル四千二百米ヲ加ヘ全區間ニ互リ鋪裝シ更ニ側溝並ニ溝渠ヲ改築シ一般交通ノ利便ヲ計ラントスルモノナリ
道路最急縱斷勾配七十六分ノ一、最小屈曲半徑二百米ナリ

施工狀況

本工事ハ昭和十年四月八日諸般ノ準備ヲ整ヘテ着工シ土工トシテ切取一千五百六十立方米、盛土六千六百八十一立方米内一千五百六十立方米ハ切取土利用其他ハ附近官民有地ヨリ無償採取運搬ヲ爲シ築立

土羽付二千百五十平方米ヲ施工シ路面ハ中央幅六米ヲ厚十七糎ノ二層式混凝土鋪裝其兩側ハ厚十糎ニ砂利敷ヲ爲シ鋪裝三萬八千四百四十七平方米砂利敷八千七百七十八平方米ヲ仕上ゲ在來溝渠十三箇所ハ鐵筋混凝土管ニ改築シ路面排水トシテ混凝土L形側溝四百二十米並混凝土開渠ノ側溝八百米ヲ竣功セリ斯シテ殆ド工事完成セルモ岩手縣施行ニ係ル徳田村見前村境界ニアル見前橋工事中ノ爲メ僅ニ其前後取付箇所ノ土工及路面工事ヲ翌年度ニ繰越セリ本年度使役勞働者延人員五萬六千八百二十三人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工路面工			八、二四〇 立方 米	五、三〇〇	一三、五四〇	一〇、九四〇	〇・八〇
溝渠			四七、八七〇 平方 米	七、八三三	五三、七〇三	一七、〇三三	〇・三一
側溝			一〇米	五、〇〇〇	一〇米	五、〇〇〇	一・〇〇
工事費			一、一三〇 立方 米	三、〇〇〇	一、一三〇 立方 米	三、〇〇〇	一・〇〇
材料採			一〇、一〇〇 立方 米	三、三三三	一〇、一〇〇 立方 米	三、三三三	〇・三三
器具機械費				一、〇〇〇		一、〇〇〇	一・〇〇
雜費				一、〇〇〇		一、〇〇〇	一・〇〇
經濟組合給與金				一、〇〇〇		一、〇〇〇	一・〇〇
總計				一三、五四〇		一三、五四〇	〇・八〇

第四一 國道四號線(岩手)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和十年年度農村其他應急土木事業トシテ總工費十萬圓ヲ以テ岩手縣二戸郡金田一村大字金田一地内延長一千二百米ノ國道改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ岩手縣ノ北端部ニシテ岩手、青森兩縣ヲ聯絡スル重要幹線ナリ然ルニ鐵道東北本線ニ對シ平面交叉一箇所及木造道路跨線橋一箇所アリ共ニ其前後ハ急屈曲ヲ爲シ又馬淵川ニ架セル在來橋梁ハ木橋ニシテ既ニ腐朽シ屢々之ガ應急修理ヲ爲シ辛フジテ車馬ノ交通ニ耐ヘ得ル現狀ニテ近代ノ高速度交通機關ニ對シ危險ト不安ヲ感ジツ、アル狀態ナリ依テ一部路線ヲ附替ヘ平面交叉ヲ避ケ橋梁ヲ架替ヘ道路ハ有効幅員七米五ノ砂利道ニ改築セントスルモノナリ

道路最急縱斷勾配四十分ノ一、最小屈曲半徑四十米ナリ

橋梁ハ鋼板桁橋ニシテ有効幅員六米、橋長七十二米二、徑間十八米四連、床版鐵筋混凝土、橋面混凝土鋪裝トス

施工狀況

第四二 國道四號線（岩手、青森）改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ當初工費十五萬圓ヲ以テ岩手縣二戸郡金田一村ヨリ青森縣三戸郡留崎村間延長百八十九米ノ青岩橋架設工事ヲ施行セル處其後橋梁前後取付道路延長一千一百一十米施行ノ爲メ工費一萬八千圓ヲ増額シ總工費十六萬八千圓ニテ延長一千二百米間ノ改良工事ヲ施行スルコトトシ着手セルモ工事ノ都合上昭和十年度ニ繰越セルモノナリ

計畫大要

青岩橋ハ岩手、青森兩縣ヲ劃流スル馬淵川ニ架設セルモノニシテ主要ナル橋梁ナリ舊橋ハ大正三年ノ洪水ニ際シ落橋シタル儘ニテ現在ハ其代用トシテ舊橋ノ上流ニ假橋ヲ架シ辛フジテ一般交通ニ備フルト雖モ假橋ニ至ル取付道路ハ迂餘曲折甚シク最急勾配十分ノ一ナリ且假橋ハ既ニ腐朽甚シク輓近ノ交通機關ニハ危險ト不安トヲ感ジツツアル現狀ナルヲ以テ舊橋ノ位置ヨリ僅カ上流ニ鋼板桁橋ヲ架設シ取付道路ハ青森縣側ハ延長五百九十一米、舊道敷ヲ利用擴張シ岩手縣延長四百二十米ノ内起點ヨリ百六十六米ハ舊道ニ從ヒ尙二百六十米ハ道路ヲ附替テ改築セントスルモノナリ青岩橋ハ長百八十九米、徑間二十一米九連、有効幅員六米、橋臺鐵筋混凝土造橋脚ハ高約五乃至六米ノ混凝土脚柱上ニ高十二米八ノ鋼構脚ヲ設ク橋體ハ鋼板桁ト爲シ橋面ハ混凝土鋪裝トス又取付道路ハ有効幅員七米五步車道ノ區別及待避所

ヲ設ケズ路面ハ砂利敷ニシテ最急縱斷勾配二十五分ノ一、最緩縱斷勾配二百分ノ一、最小屈曲半徑六十米ナリ

施工狀況

本工事ハ昭和九年度ノ着手ニ係リ功程七割三分ニテ橋梁及道路工事ノ各一部ヲ本年度ニ繰越シ施行スルモノニシテ昭和十年八月三十一日竣功セリ

道路工事ノ本年度ハ切取四千百五十一立方米、盛土九百六十二立方米及路面砂利敷七千五百九十平方米ヲ施行セリ

橋梁工事ハ昭和九年度既ニ工事ノ大部分ヲ完成セルヲ以テ本年度ハ僅ニ床版及高欄竝親柱ノ施行ニシテ床版ハ厚二十糎ノ鐵筋混凝土ヲ打チ之ニ厚五糎ノ混凝土鋪裝ヲ施行セリ高欄ハ鑄鐵製ニシテ昭和十年三月二十二日函館製網船具株式會社へ四千二百圓ニテ製作方ヲ請負ハシメ本年六月之ガ取付ヲ爲シ花崗石ノ親柱ヲ配シ仕上タリ使役勞働者延人員本年度一萬一千五百九十八人ニシテ累計四萬四千四百八十四人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

事工本	費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
七路擁壁	工面壁	立方 米 二九、〇〇〇	七、〇〇〇	立方 米 一、一三三	一、〇〇〇	立方 米 三〇、一三三	八、〇〇〇	一〇〇
		平方 米 一、〇〇〇	一、〇〇〇	平方 米 七、五〇〇	七、〇〇〇	平方 米 八、五〇〇	八、〇〇〇	一〇〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇〇

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
橋梁	1箇所	1,189,933円	1箇所	1,612,252円	2箇所	2,802,185円
土地買収	5,524.50平方米	11,582,900円	5,524.50平方米	11,582,900円	11,045.80平方米	23,165,800円
物件移轉其他補償		11,000円		11,000円		22,000円
器具機械費		1,201円		300円		1,501円
雜費		8,428円		1,672円		10,100円
共濟組合給與金		121円		300円		421円
總計		1,210,154円		3,316,824円		4,526,978円
竣功	1.00		1.00		2.00	

第四三 國道四號線(青森)改良工事

九年度農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ總工費五萬圓ヲ以テ青森縣東津輕郡野内村大字淺虫ヨリ同縣同郡同村大字久栗坂ニ至ル延長二千米ノ改良工事施行ノ計畫ナリシモ其後工事ノ都合上更ニ四百十米ヲ延長シ合計二千四百十米ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ昭和九年度ニ竣功ノ豫定ナリシガ一部未完成ニ終リ本年度ニ繰越施行セルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ淺虫ヨリ青森市ニ通ズル唯一ノ連絡道路ニシテ日々自動車ノ交通頻繁ヲ極ム依テ昭和七年度ニ於テ直轄事業トシテ改良工事ヲ施行セルモ其目的ハ道路ト鐵道トノ平面交叉四箇所ノ除去竝ニ勾配及屈曲ノ改良ニ在リタルヲ以テ路面ハ砂利敷ニ止メタリ然ルニ其後交通ハ益々増加シ其維持ニ多額ノ費用ヲ要シツツアルヲ以テ之ヲ鋪裝シ尙側溝ヲ混凝土開渠ニ改築シ道路ノ機能ヲ完全ナラシメントス

道路ハ有効幅員七米五ノ内六米ハ厚十七糎ノ二層式混凝土鋪裝其兩側ヲ砂利敷トス金山跨線橋前後勾配二十五分ノ一ノ箇所ハ車輛ノ滑走ヲ慮リ滑止工法トシテ小石鋪裝ヲ施行スルモノナリ

施工狀況

昭和九年十二月二十一日工事ニ着手シ銳意進捗ヲ計リタルモ寒氣ト降雪トニ阻マレ遂ニ竣功ニ至ラズ
 本年度ニ繰越セルモノナリ
 本年度ハ僅カニ昭和九年度未竣功トナレル混凝土側溝八百米ヲ施工セルノミニシテ昭和十年六月三十
 日竣功セリ使役勞働者延人員本年度二千百十九人、累計延人員二萬四千四百八十四人ヲ算セリ其工事竣
 功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工	1,100 立方米	3,900 円	1 立方米	4 円	1,101 立方米	3,904 円	100%
土	1,100 平方米	3,180 円	1 平方米	3 円	1,101 平方米	3,183 円	100%
側溝	17,000 米	3,180 円	800 米	3,180 円	17,800 米	6,360 円	100%
工事費	8,480 米	3,180 円	800 米	3,180 円	9,280 米	6,360 円	100%
器具							
機							
械							
雜費							
共濟組合給與金							
總計		8,080 円		3,184 円		11,264 円	100%

第四四 國道四號線(青森)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和十年年度農村其他應急土木事業トシテ總工費二十二萬圓ヲ以テ青森縣東津輕郡野内村大字久栗坂ヨリ青森市大字造道ニ至ル延長七千二百十六米五ノ國道改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ青森市ト淺虫トヲ連絡スル唯一ノ道路ニシテ交通頻繁ニテ近時高速度交通機關ノ發達ニ伴ヒ益々輻輳セルモ路面ハ凹凸甚シク且路線ハ迂餘曲折シ東北本線ト六箇所ニ於テ平面交叉シ著シク危險ナルヲ以テ曩ニ昭和七年度ニテ野内村地内ヲ改良シ鐵道トノ平面交叉ヲ除キ昭和九年度ニテ是等改築爲セル箇所ノ一部ヲ鋪裝シタルト雖尙其他ハ依然砂利道ニテ路面惡シク且數箇所ノ橋梁ハ木橋ニテ既ニ腐朽シ危險ナル状態ナリ依テ屈曲高低甚シキ箇所ヲ直シ有効幅員六米四乃至九米ニ改築シ路面中央六米ヲ鋪裝シ平坦部ハ厚十七糎ノ二層式混凝土坂路ハ下層ニ混凝土ヲ打チ小石五糎角六面體ノモノヲ鋪裝シ鋪裝兩側ハ何レモ厚十糎ニ砂利敷ヲ施工ス最急縱斷勾配二十分ノ一最小屈曲半徑六十米ナリ又橋梁ハ有効幅員七米五ノ鐵筋混凝土丁桁橋ニ架替シ橋長ハ第一號橋三十一米八三徑間第二、第五、第六號橋ハ五米五、一徑間、第三、第四號橋ハ十米六、一徑間ニシテ基礎ハ何レモ杭打トス

施工狀況

本工事ハ昭和十年四月八日諸般ノ準備ヲ爲シ直ニ工事用材料ノ砂利、砂ノ採取ヲ行ヒ又買收スベキ土地ニ對シテハ夫々所有者ノ起工承諾ヲ求メ銳意工事ノ進捗ニ努力セルモ數十年來稀有ノ降雪ト嚴寒トニ阻マレ遂ニ工期九割一分ニシテ工事ヲ翌年度ニ繰越セリ

道路工事ハ土工トシテ切取一萬七千七百九十六立方米一、内一萬二千九百六十四立方米ハ盛土ニ利用シ築立、残土ハ附近民有地へ無償捨土セリ

路面ハ混凝土鋪裝二萬九千五百八十平方米、小石鋪裝一萬六百二十平方米、砂利敷一千五百五十七平方米ヲ仕上ゲ練積玉石擁壁八百二十三平方米、混凝土側溝一千九百十二米及鐵筋混凝土溝橋徑間二米一箇所ヲ竣功シ工期八割六分ニテ翌年度へ繰越セリ

橋梁工事ハ六箇所ノ内第一號橋ハ橋面鋪裝及高欄竝親柱ヲ殘シ殆ド竣功シ其他ハ第五號橋ヲ除キ何レモ工期約七割ニテ工事ヲ翌年度ニ繰越セリ又第五號橋ハ工事ノ都合上之レガ着手ヲ見合セタリ

土地買收ハ七千七百八十六平方米ノ内本年度買收セルモノハ宅地八百八十平方米一千四百五十圓五十二錢、田畑一千七百三十九平方米五百七十五圓十四錢、山林其他四千八百五十九平方米五百七十四圓二十三錢、計七千四百六十八平方米代金二千六百圓八十九錢及地上物件移轉其他補償二十九件ニシテ二千二百二十二圓六十錢ヲ支拂ヒタリ使役勞働者延人員十萬一千九百三十六人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工			竣功 100.1127 立方 米	12,111.16	100.1127	12,111.16	0.24
路面			竣功 100.1127 平方 米	12,111.16	100.1127	12,111.16	0.24
溝橋			竣功 100.1127 箇所	4,011	100.1127	4,011	0.08
側溝			竣功 100.1127 米	4,011	100.1127	4,011	0.08
擁壁			竣功 100.1127 平方 米	4,011	100.1127	4,011	0.08
雜橋			竣功 100.1127 箇所	4,011	100.1127	4,011	0.08
費事			未竣功 100.1127 箇所	4,011	100.1127	4,011	0.08
用地			未竣功 100.1127 平方 米	4,011	100.1127	4,011	0.08
費用			未竣功 100.1127 平方 米	4,011	100.1127	4,011	0.08
器具			未竣功 100.1127 平方 米	4,011	100.1127	4,011	0.08
雜費			未竣功 100.1127 平方 米	4,011	100.1127	4,011	0.08
共濟組合給與金			未竣功 100.1127 平方 米	4,011	100.1127	4,011	0.08
總計			未竣功 100.1127 平方 米	4,011	100.1127	4,011	0.08

第四五 國道五號線（福島、山形）改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救土木事業トシテ總工費二十萬圓ヲ以テ福島、山形兩縣ニ跨ル栗子隧道ノ改良工事ニシテ隧道延長八百六十四米ノ内六百米ト其前後取付道路延長百七十六米トヲ改良スルモノナリ

本改良箇所ハ山間僻地ノ爲メ出役人夫少數ニシテ加フルニ隧道掘鑿中屢々大落盤アリ著シク工事ノ進捗ヲ阻害セラレ昭和九年度ニ於テ總工費ニ殘餘ヲ生ズルニ至リ依テ昭和九年十月十六日仙臺土木出張所管内國道四號線岩手縣二戸郡金田一村大字釜澤ヨリ青森縣三戸郡留崎村大字目時間改良工事費へ一萬二千圓ヲ流用シ更ニ昭和十年二月五日新潟土木出張所管内道路工事費へ一萬圓充當ノ爲メ減額シ總工費十七萬八千圓ヲ以テ施行スルコトトナリシガ本年度ニ繰越ノ上竣功スルニ至レルモメナリ

計畫大要

栗子隧道ハ標高九百米ノ地點ニ在リ明治十三年十月ノ竣功ニ係ルモノニシテ其有効高二米、有効幅員二米ナルモ掘放シニシテ冬期氷結ニ依ル岩盤ノ崩壞甚シク處々ニ木材ヲ以テ補強シアルモ既ニ該補強材ハ腐朽シ危險ニシテ辛フシテ人馬ノ通行シ得ルノミニシテ自動車ノ交通ハ不可能ナル状態ニ在リ依テ坑内ヲ切擴ゲ有効幅員六米、有効高四米五（拱高五米一）トシ拱環厚四十糎ノ混凝土卷立ヲ爲シ路面ノ横斷

配ハ四十分ノ一、縦斷勾配ハ四十分ノ一乃至百四十分ノ一トシ、兩側ニ幅三十糎ノ側溝ヲ施シ、排水設備ヲ爲スモノナリ。取付道路ハ延長南口八十米、北口九十六米、計百七十六米ニシテ、有効幅員六米、路面ノ横斷勾配二十分ノ一トシ、縦斷勾配ハ最急十五分ノ一、最緩百四十分ノ一トシテ、兩側各々五十糎ハ路肩トシ、中央六米ニ砂利敷ヲ爲スモノナリ。

施工狀況

隧道工事ハ昭和九年度ニ於テ最モ困難ナル箇所ヲ施工シタルヲ以テ、本年度ハ順調ニ工事ヲ進捗スルヲ得、切擴ゲ六千八百八十一立方米、卷立三百九十一米五、支保工四百八十六米、側溝六百米ヲ竣功セリ。尙卷立裏ノ湧水ノ排除ニ意ヲ用ヒ、裏込トシテ厚二十糎ノ詰石ヲ行ヒ、兩側ニ分水セシメ、三米毎ニ青竹二本ヲ挿入シテ側溝ニ導水セシメタリ。

道路工事ハ土工トシテ、切取一千八十六立方米、盛土七百八十二立方米ヲ施工シ、擁壁三百九十九平方米、側溝八十九米二及路面砂利敷一千四十四平方米ヲ施工シ、昭和十年十月十五日全工事ヲ竣功セリ。使役労働者延人員ハ本年度四千六百九十一人ニシテ、累計七萬一千六百九十二人ヲ算セリ。其工事竣功表左ノ如シ。

工本	費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
擁路土	壁面工	立方米 1,770.7	1,314.1	立方米 1,086.6	1,681.1	立方米 2,857.3	1,681.1	100
		平方米 3	1	平方米 800	6	平方米 1,000	6	100
			33		1,681.1		1,681.1	100

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
側溝	未竣功	—	竣功	—	竣功	—	—
隧道	—	—	—	—	—	—	—
材料採取	—	—	—	—	—	—	—
器械	—	—	—	—	—	—	—
器具	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	1,400,000	—	1,117,220	—	1,287,000	100

第四六 國道五號線(福島山形)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和十年度農村其他應急土木事業トシテ總工費三十萬圓ヲ以テ福島縣信夫郡中野村、山形縣南置賜郡萬世村大字梓山間延長八千九百八十九米内道路八千七米九、路面補修二千米ヲ含ム橋梁三箇所百一十一米一、隧道八百七十米ノ改築工事ナリ然ルニ之ガ實施ニ當リ道路改築五千三百一十一米三五路面補修三千五百八十八米六五ニ變更更ニ測點百九十五號附近ノ暗渠ヲ地形ノ關係橋梁ニ變更シ施行セリ從テ延長ハ道路一萬九百米内路面補修五千五百八十八米六五、橋梁百米二四、隧道八百七十米、計一萬一千八百七十米二四ナリ

計畫大要

本改良區間ハ福島市、米澤市ヲ連絡スル唯一ノ幹線道路ニシテ産業上並軍事上重要ナルモノナルモ幅員狹隘ニシテ四分ノ一乃至十五分ノ一ノ急勾配數多アリ九十九折ノ屈曲ヲ爲シ且各橋梁ハ木橋ニテ腐朽破損甚シク又二ツ小屋隧道、栗子隧道ハ共ニ有効幅員二米、高二米ノ掘放シ道坑ニシテ處々崩壞シ木材等ヲ以テ補強セラレアルモ既ニ腐朽シ危險ニシテ僅カニ人馬ノ交通シ得ル程度ニテ自動車ノ通行ハ全ク不可能ナル狀態ナリ依テ曩ニ昭和八年度ニ二ツ小屋隧道及其前後道路ヲ改築シ又昭和九年度ニ栗子隧道延長八百七十米ノ内福島口並米澤口延長六百米ノ改築ニ着手シ之ガ竣工ノ域ニ在リ本工事ハ是等ノ

工事ニ引續キ栗子隧道ノ一部竝道路、橋梁ヲ改築スルモノナリ

道路工事ハ從來ノ急勾配及屈曲部ヲ可及的緩和シ有効幅員六米ノ砂利道ニ改築シ最急縱斷勾配十分ノ一十四箇所、最小屈曲半徑十米十箇所アリ

橋梁工事ハ新澤橋、烏川橋、大平橋、杭甲橋ノ四橋ニシテ何レモ有効幅員六米ノ鐵筋混凝土橋ニテ橋面混凝土鋪裝トス

新澤橋ハ橋長四十二米、徑間中央部三十三米、拱矢七米五ノ無鉸開側拱橋側徑間三米六二連床版橋トシ基礎岩盤ナリ、烏川橋及大平橋ハ何レモ橋長二十三米二九、徑間十一米二連丁桁橋、橋臺、橋脚共鐵筋混凝土造リ基礎ハ何レモ岩盤ナリ、杭甲橋ハ橋長十一米六六丁桁橋、橋臺重力式混凝土造リ基礎岩盤ナリ

隧道工事ハ昭和九年度工事ニ引續キ栗子隧道中央部ヲ改築シ同隧道ノ路面ニ混凝土鋪裝ヲ施工スルモノナリ、有効幅員六米、拱高五米一、拱環厚四十糎、混凝土卷、側溝混凝土造トス

施工狀況

本工事ハ福島、山形兩縣ヲ劃スル奥羽山脈ヲ橫斷スル箇所ニシテ栗子隧道ハ標高九百米餘ノ地點ニ在リ殊ニ冬季ハ積雪深ク寒氣酷烈ナルヲ以テ勞働者ノ出役狀況充分ナラズ作業ニ困難ヲ極メ特ニ隧道工事ヲ除ク外ハ冬期間工事施行不可能ノ狀態ナルヲ以テ冬季前極力工事ノ進捗ニ努力セシモ十月下旬ノ降雪ニ依リ勞働者ハ恐ヲ爲シ早々下山スルモノ多數ニ及ビ之ガ各工事ニ影響シ隧道工事ハ路面鋪裝ヲ又橋梁竝道路工事ハ其大部分ヲ翌年度ニ繰越セリ

隧道ハ比較的良質ノ岩盤ナルヲ以テ支保工モ容易ナリシモ北口ヨリ三百二十米附近ノ舊混凝土卷立箇

所延長約五十米ハ岩質殊ノ外粗悪ニテ屢々落盤アリ支保工モ卷込マレル程ニテ作業困難ヲ極メタリ切掘九千六百九十五立方米、卷立四百五十三米及側溝五百四十米ヲ竣功シ僅ニ路面鋪裝ヲ翌年度ニ繰越セ

リ

道路ハ土工トシテ切取八萬二千七立方米、盛土二萬七千三百五十立方米ヲ施行シ石積並混凝土擁壁二千五十一平方米及暗渠十箇所ヲ竣功シ尙路面ニ水締砂利道六千二百八十平方米ヲ仕上ゲタリ

橋梁ハ四橋ノ内烏川橋ハ高欄ノ一部及橋面鋪裝ヲ殘シ殆ド竣功セルモ其他ノ三橋ハ基礎工事ヲ施行セ

ルノミニテ大部分ヲ翌年度ニ繰越セリ使役勞働者延人員十二萬六百七人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如

シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工							
擁壁							
路面							
側溝							
橋							
隧							
材料							
其他							
合計							

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
用地(土地)買收			1,151.16 <small>平方米</small>	2,090.00 <small>円</small>	1,151.16 <small>平方米</small>	2,090.00 <small>円</small>	0.44 <small>割分</small>
費用(物件移轉其他補償)			1,120.00	2,011.14	1,120.00	2,011.14	1.00
器具機械費				2,229.00		2,229.00	
雜費				2,229.00		2,229.00	
共濟組合給與金				2,229.00		2,229.00	
總計				11,110.00 <small>千円</small>		11,110.00 <small>千円</small>	0.44

第四七 國道五號線(秋田)改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救土木事業トシテ總工費十六萬圓ヲ以テ五號國道秋田縣雄勝郡岩崎町大字岩崎、同縣平鹿郡十文字町大字佐賀會間岩崎橋及其取付道路ノ改築工事ヲ施行スルモノニシテ延長橋梁二百五十三米七、取付道路三百十九米二五、計五百七十三米ナリ然ルニ之ガ本年度ニ繰越シ施行ノ處更ニ設計ヲ變更シ取付道路三百二十七米延長シ施行總延長九百米ト爲シ昭和十一年一月三十一日全ク竣功セリ

計畫大要

岩崎橋ハ明治四十一年十二月竣功セルモノニシテ腐朽折損甚ダシキヲ以テ架替ヲ爲スモノニシテ新橋位置ハ洪水時皆瀬川ノ水流狀態及道路ノ線形ヲ考慮シ舊橋ヨリ約二十米下流ニ略々並行ニ架設スルモノナリ橋長二百五十三米七、ゲルバー式鐵筋混凝土丁桁橋ニシテ支間十八米五・二連二十四米九連有効幅員六米四、縱斷勾配二百分ノ一、橫斷勾配五十分ノ一、橋面ハ混凝土鋪裝ナリ
皆瀬川ハ急流ニシテ低水路ノ位置常ナラズ又洪水時流速ヲ増シ橋脚附近ノ河底洗掘セラルルコトアルヲ以テ低水路附近橋脚五基ヲ井筒基礎トシ其他五基ハ杭打基礎トセリ橋臺ハ扶壁式鐵筋混凝土ニシテ杭打基礎トス
取付道路ハ歩車道ノ區別ナク有効幅員七米五、最急縱斷勾配三十二分ノ一ノ砂利道ニ改築セントスルモ

ノナリシモ其後設計ヲ變更シ最急縱斷勾配ヲ三十五分ノ一ニ改メ尙起點ヨリ百七十五米ヲ延長シ橋梁南詰ヨリ此間二百八十米ノ路面ニ幅六米ノ混凝土鋪裝ヲ施工シ又橋梁北詰三十米ヲ前同様鋪裝ヲ爲シ更ニ同所ヨリ三百二十米距リタル箇所ノ屈曲部ヲ除却セント終點ヨリ百五十一米四五ヲ延長シ砂利道ニ改築セントスルモノナリ

施工狀況

橋梁工事ハ昭和九年度ニ於テ橋脚十基ノ内杭打基礎ノモノ二基竣功シ橋臺ト橋脚七基ハ殆ンド完成シ井筒基礎橋脚一基ト橋體工ヲ本年度ニ繰越シ施行セルモノナリ井筒ノ沈下ニハ昭和九年度同様ガツトメルヲ使用シ時々潜水夫ヲ使役シテ工事ノ進捗ニ努メ四月中沈下ヲ終へ試験荷重ヲカケ基礎ノ安定ヲ檢シ底部混凝土ヲ打チ中埋ヲ爲シ引續キ軀體混凝土ヲ施行セリ

橋體工ハ昭和九年度中鐵筋加工型枠製作、支保工仕拵ヘノ一部ヲ施行シ工事ノ大部分ヲ本年度ニ繰越シタルモノナリ本年度ニ入り天候ノ回復ヲ待チ直チニ型枠ノ組立ヲ爲シ鐵筋ヲ配置シ四月二十八日復碇着桁第一回目ノ混凝土ヲ施工セリ其量百六十五立方米ニシテ混凝土混合機三臺ヲ運轉シ純操業十二時間半ヲ要セリ填充ニハ混凝土ノ沈下ト凝結硬化ノ收縮ヲ考慮シ部分的ニ連續作業ヲ爲シヘイヤクラツクノ生ズルコトヲ防止セリ

橋體混凝土打終ルヤ直チニ橋面鋪裝ニ着手シ鋪裝用混凝土ハ硬練リノモノヲ用ヒ充分ニ搗固メ刷毛仕上ゲヲ爲シ充分ニ濕潤養生ニ努メ引續キ高欄及親柱ヲ施行シ橋梁工事ヲ竣功セリ
取付道路ハ昭和九年度ニテ十文字町側盛土ノ大部分ヲ完了シ一部分ヲ本年度へ繰越シタルモノニシテ

皆瀬川河川敷ヨリ良質砂利交リ土砂ヲ運搬セリ鋪裝ハ岩崎町側二百八十米、十文字町側三十米計三百十米ヲ幅員六米ニ厚十七種ノ二層式ノ混凝土鋪裝ヲ施工シ全部竣功セリ
 工事用材料ノ内砂利、砂及玉石ハ何レモ工事場附近皆瀬川ヨリ直營採取運搬セリ其量砂利二千九百七十二立方米九八、砂二百二十七立方米九一、玉石三十二立方米五ナリ
 土地買收ハ本年度へ繰越シタル原野百四十八平方米ニ對スル十圓二十錢ト本年度新タニ發表シタル宅地六十八平方米、田十三平方米此代金五十一圓七十三錢、合計六十一圓九十三錢ヲ支拂ヒ尙地上物件移轉料四件、家屋四百二十三平方米代金八百二十六圓四錢ヲ支拂ヒタリ使役勞働者延人員二萬三千九百九十一人、累計五萬九千三百四十八人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度		本年度		合計	
	數	金額	數	金額	數	金額
本路土工	竣功 一箇所 七、七〇七 平方米	二、二〇二 圓	竣功 一箇所 一、七三三 平方米	二、一〇〇 圓	竣功 二箇所 九、四四〇 平方米	四、三〇二 圓
側溝	竣功 一箇所 一、二二	—	竣功 一箇所 三、三〇〇 米	—	竣功 二箇所 四、五二〇 米	—
橋	未竣功 一箇所	六、七四八	竣功 一箇所	一、〇〇〇	竣功 二箇所 一、〇〇〇	—
事費	—	三、一七三	—	三、〇〇〇	—	—
材料費	—	一九六	—	三三八	—	—
其他	—	—	—	—	—	—
用地費	—	—	—	—	—	—
土地買收	—	—	—	—	—	—
物件移轉其他補償	—	—	—	—	—	—
器具機械費	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
雜費	—	4,814	—	4,711	—	9,525	—
共濟組合給與金	—	1,221	—	1,021	—	2,242	—
總計	—	6,035	—	5,732	—	11,767	1.00

本工事は、前年度に引き続き、秋田県内各地方に於て、其工事の進行状況を調査し、其結果を基として、本年度の工事計画を決定し、之を執行するに努むる所である。本年度の工事計画は、前年度に引き続き、秋田県内各地方に於て、其工事の進行状況を調査し、其結果を基として、本年度の工事計画を決定し、之を執行するに努むる所である。本年度の工事計画は、前年度に引き続き、秋田県内各地方に於て、其工事の進行状況を調査し、其結果を基として、本年度の工事計画を決定し、之を執行するに努むる所である。

第四八 國道五號線(秋田)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和十年度農村其他應急土木事業トシテ總工費十五萬圓ヲ以テ五號國道秋田縣北秋田郡大館町地内長木橋々長百五十一米七及其前後取付道路延長百六十一米三計三百十三米ノ改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

長木橋ハ米代川支流長木川ニ架設シアルモノニシテ大館驛ガ川ヲ距テテ一方ニ偏在スル關係上交通頻繁ニシテ縣下第一ノ交通量アリ現橋ハ木橋ニシテ腐朽折損甚シク且幅員五米五ナルヲ以テ近代交通機關ニ對シテ不安且危險ノ現狀ニ在リ依テ之ヲ架替セントスルモノナリ

橋梁ハ長木川改修工事堤防法線ト不離ノ關係アルヲ以テ彼是研究シ橋長ヲ定メゲルバー式鐵筋混凝土丁桁橋ヲ採用シ支間十八米二連支間二十三米五連有効幅員九米橋臺重力式混凝土造リ基礎杭打橋脚ハ鐵筋混凝土造ニシテ基礎六基中二基ヲ杭打他ハ井筒トシ橋面混凝土鋪裝トス縱斷勾配二百五十分ノ一、横斷勾配五十分ノ一ナリ

取付道路ハ有効幅員九米路面ハ混凝土鋪裝ニシテ最急縱斷勾配二十五分ノ一ナリ

施工狀況

昭和十年四月十六日諸般ノ準備ヲ整ヘ工事ニ着手セリ以來好天候ニ惠マレ尙晝夜操業ヲ爲シ功程大ニ進捗セシガ偶々八月二十一日ヨリ同二十四日ニ互ル霖雨ハ降雨量累計四百三十六耗ニ達シ長木川ハ稀ニ見ルノ大洪水トナリ其災害甚大ニシテ各種工事ノ被害竝器具機械材類ノ流失等ニ遭ヒ之ガ復舊ニ約二箇月ヲ要シ大ニ工事ノ進捗ヲ拒マレタリ又今冬ハ五十年來ノ大積雪ニテ三月ニ入ルモ尙連日吹雪アリテ作業充分ナラズ遂ニ工事ノ一部ヲ翌年度ニ繰越スノ已ムナキニ至レリ

橋梁工事ハ橋臺二基橋脚六基ヲ略々竣功セシメタリ井筒沈下ニハ荷重トシテ三十瓩レールヲ使用シ唧筒ニテ排水ヲ爲シ人力ニ依リテ掘鑿シ沈下ニ努メタリ沈下終了後井筒底ニ四回乃至六回ダイナマイトニ依リ小發破ヲ行ヒテ井筒ヲ固定セシメ配合一、二、四、厚一米八ノ底部混凝土及中埋土砂ヲ填充軀體混凝土ヲ施工シ橋體工ハ洪水災害復舊ノ爲メ下部工ノ竣功遅延シ十一月十日右岸寄碇着桁一連、同月二十日右岸終端吊桁一連施工シタルモ時已ニ冬季ニ入り混凝土施工ノ續行不可能ナル状態トナリ依テ支保工杭打鐵筋加工竝型枠製作等ヲ爲シ工事ノ大部分ヲ翌年度ニ繰越セリ

取付道路工事ハ本年度盛土三千九百四十八立方米五ヲ施工石積暗渠一箇所、鐵筋混凝土管理設二箇所ヲ完成シ擁壁ハ石積ニシテ十平方米ヲ施行シ芝張其他ノ工事ヲ翌年度へ繰越セリ使役勞働者延人員三萬四千七百七十七人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
土工			竣工 3.949 立方 米	11,483.00	3.949	11,483.00
擁壁			竣工 1.0 平方 米	100.00	1.0	100.00
溝渠			竣工 3 箇所	200.00	3	200.00
橋梁			未竣工 1	83,643.00	1	83,643.00
材料採取				5,623.00		5,623.00
其他補償				100.00		100.00
用地費(物件移轉)				1,000.00		1,000.00
器械費				2,800.00		2,800.00
雜具費				1,800.00		1,800.00
共濟組合給與金				3,000.00		3,000.00
總計			未竣工 1	114,833.00	1	114,833.00
			竣工 3 箇所	200.00	3	200.00
			竣工 1.0 平方 米	100.00	1.0	100.00
			竣工 3.949 立方 米	11,483.00	3.949	11,483.00
				5,623.00		5,623.00
				100.00		100.00
				1,000.00		1,000.00
				2,800.00		2,800.00
				1,800.00		1,800.00
				3,000.00		3,000.00
				114,833.00		114,833.00
				200.00		200.00
				100.00		100.00
				11,483.00		11,483.00
				5,623.00		5,623.00
				100.00		100.00
				1,000.00		1,000.00
				2,800.00		2,800.00
				1,800.00		1,800.00
				3,000.00		3,000.00
				114,833.00		114,833.00
				200.00		200.00
				100.00		100.00
				11,483.00		11,483.00
				5,623.00		5,623.00
				100.00		100.00
				1,000.00		1,000.00
				2,800.00		2,800.00
				1,800.00		1,800.00
				3,000.00		3,000.00
				114,833.00		114,833.00
				200.00		200.00
				100.00		100.00
				11,483.00		11,483.00
				5,623.00		5,623.00
				100.00		100.00
				1,000.00		1,000.00
				2,800.00		2,800.00
				1,800.00		1,800.00
				3,000.00		3,000.00
				114,833.00		114,833.00

第四九 國道五號線（青森）改良工事

九年度農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和九年度農村其他應急土木事業トシテ總工費五萬圓ヲ以テ青森縣中津輕郡和徳村大字堅田ヨリ同縣同郡同村大字撫牛子間延長一千二百米ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ昭和九年度ニ竣功ノ豫定ナリシモ一部未完成ニ終リタルヲ以テ本年度ニ繰越セルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ弘前市ヨリ青森市ニ通ズル軍事上竝ニ一般交通上唯一ノ幹線道路ニシテ又縣下五所川原方面ヘノ交通モアリ車馬ノ往還著シク幅狹ス然ルニ現在道路ハ路面凹凸甚シク且降雨或ハ融雪期ニハ泥濘トナリ交通頗ル困難ナリ又二箇所ノ橋梁ハ何レモ木橋ニシテ腐朽甚シク通過車輛モ重量ニ制限ヲナシ辛フジテ通行シ得ル現狀ナリ依テ之ガ改良ニ當リテハ專ラ高低屈曲及幅員ヲ正シ鋪裝ヲ施工シ併テ側溝ヲ改築スル外更ニ二箇所ノ橋梁ノ架替ヲ爲スモノトス道路ハ有効幅員平均七米八ニシテ内六米ハ厚十七糎ノ二層式混凝土鋪裝其兩側ヲ砂利敷トス最急縱斷勾配百分ノ一最小屈曲半徑六十米ナリ橋梁ハ何レモ鐵筋混凝土丁桁橋ニシテ有効幅員七米ナリ橋長ハ第一號橋（堅田橋）十三米二、一徑間第二號橋（撫牛子橋）ハ二十一米八二徑間トス

施工状況

本工事ハ昭和九年十二月十七日着手鋭意工事ノ進捗ニ努メタルモ時既ニ降雪期ニ入り作業意ノ如クナラズ遂ニ工事ノ一部ヲ本年度ニ繰越施行シ昭和十年七月三十一日竣功セリ

道路工事ノ本年度ハ土工トシテ僅カニ切取十四立方米三ヲ施行シ之ヲ盛土ニ利用シ築立、石積、擁壁三百九十七平方米ヲ仕上ゲ路面ハ中央幅六米ヲ厚十七糎ノ二層式混泥土鋪装二千七百五十平方米、其兩側ハ厚十糎ニ砂利敷ヲ一千三百二十八平方米ヲ施行セリ

橋梁工事ハ堅田橋、撫牛子橋共昭和九年度ニ於テ僅ニ基礎工事ヲ施行セルノミニテ寒氣ト降雪トニ阻マレ工事ノ大部分ヲ本年度ニ繰越シタルモノニシテ兩橋共、橋體及高欄竝親柱ヲ施工シ昭和十年七月二十九日竣功セリ

使役労働者延人員本年度二千九百八十六人、累計二萬一千六百三十六人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費事工本	費目	前年度		本年度		合		計	竣功
		數	金額	數	金額	數	金額		
土路側擁橋	工面溝壁梁	未竣功	二、一七三	一、一〇一	竣功	二、一七三	一、一〇一	二、一七三	一、一〇一
		立方	二、一七三	九、九八	立方	二、一七三	九、九八	二、一七三	九、九八
		平方	四、四〇〇	一、一〇一	平方	四、四〇〇	一、一〇一	四、四〇〇	一、一〇一
		圓	二、一七三	一、一〇一	圓	二、一七三	一、一〇一	二、一七三	一、一〇一
橋	擁壁	未竣功	一、一〇一	一、一〇一	竣功	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一
		平方	一、一〇一	一、一〇一	平方	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一
		圓	一、一〇一	一、一〇一	圓	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一
		圓	一、一〇一	一、一〇一	圓	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一
橋	梁	未竣功	一、一〇一	一、一〇一	竣功	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一
		平方	一、一〇一	一、一〇一	平方	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一
		圓	一、一〇一	一、一〇一	圓	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一
		圓	一、一〇一	一、一〇一	圓	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一	一、一〇一

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
器具機械費		三、七二六円		四		三、七二六円	割分
雜費		八七七		一八八		一、〇六五	
共濟組合給與金		一八		三		二一	
總計		三八、四〇一		一一、二九八		四九、六九九	一・〇〇

第五〇 國道五號線(青森)改良工事

農村其他應急

緒言

本工事ハ昭和十年年度農村其他應急土木事業トシテ工費六萬圓ヲ以テ青森縣中津輕郡和徳村大字撫牛子ヨリ同縣同郡同村大字津賀野ニ至ル延長一千五百米ノ國道改良工事ヲ施行スルモノナリ

計畫大要

本改良區間ハ五號國道ノ一部ニシテ弘前市ヨリ青森市ニ通ズル軍事上並産業上重要ナル幹線道路ニシテ一部昭和九年度ニ改良セラレタリト雖尙未改良箇所ハ依然路面惡シク降雨時或ハ融雪期ニハ泥濘化シ交通困難ヲ極メ又橋梁ハ木橋ニシテ既ニ腐朽シ車輛モ重量ヲ制限シ通行シ得ル現状ナリ依テ側溝ヲ改築シ幅員ヲ整へ路面ヲ鋪裝シ更ニ橋梁ヲ鐵筋混凝土丁桁橋ニ架替へ一般交通ノ利便ヲ計ラントス道路ハ有効幅員六米乃至九米四、最急縱斷勾配七十分ノ一、最小屈曲半徑百八十米ナリ橋梁ハ有効幅員七米橋長十八米〇三、徑間九米二連ナリ

施工狀況

本工事ハ昭和十年四月八日諸般ノ準備ヲ整へ直ニ着手シ土工トシテ切取五百三十七立方米、盛土二千三百四立方米内五百三十七立方米ハ切取土利用其他ハ附近民有地ヨリ無償採取運搬ヲ爲シ築立、練積玉石

擁壁二千九百九十八平方米及鐵筋混凝土溝橋一箇所ヲ施工シ尙混凝土側溝延長一千二百八十二米ヲ設ケ排水ヲ計リ又路面ハ充分輾壓ヲ爲シ中央六米ハ厚十七糎ノ二層式混凝土鋪裝八千八百七十七平方米ヲ仕上ゲ其兩側ニハ厚十糎ノ砂利敷一千八百二十八平方米ヲ施工セリ

橋梁ハ大久保橋一橋ニシテ橋臺橋脚共重力式混凝土造基礎杭打橋體ハ鐵筋混凝土丁桁橋橋面混凝土鋪裝高欄竝親柱ハ又鐵筋混凝土造ニテ高欄ニ瓦斯管ヲ併用セリ本工事ハ昭和十年五月一日着手シ銳意進捗ニ努メ本年度内ニ竣功セリ使役勞働者延人員三萬一千五百八十四人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工 土路工			2,882.00 立方米	2,882.00 圓	2,882.00 立方米	2,882.00 圓
溝橋	10,750.00 平方米	111,562.00	10,750.00 平方米	111,562.00	21,500.00 平方米	222,724.00
側溝	1,212.00 米	8,108.00	1,212.00 米	8,108.00	1,212.00 米	16,216.00
擁壁	2,998.00 平方米	10,000.00	2,998.00 平方米	10,000.00	2,998.00 平方米	39,998.00
橋梁	1箇所	11,111.00	1箇所	11,111.00	2箇所	22,222.00
器機 具械						
雜費						
共濟組合給與金						
總計		40,000.00		40,000.00		80,000.00
						1.00

第五一 國道六號線(金町)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和十年年度國道改良事業トシテ當初工費豫算二十萬圓ヲ以テ昭和八、九兩年度ニ互リ新道ヲ開設セシ東京市葛飾區本田四ツ木町ヨリ同區新宿町一丁目ニ至ル延長三千百五十三米三ノ路面鋪裝及排水設備其他起點以西延長約六十米ヲ追加施行ノ豫定ナリシガ其後工費ヲ二萬圓減額シ十八萬圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

計畫大要

本國道ハ東京市淺草區言問橋西詰ニ於テ四號國道ト分岐シ葛飾區新宿町、金町ヲ經テ取手、水戸ヲ通過シ宮城縣岩沼町ニ於テ再ビ四號國道ニ合シ仙臺市ニ達ス所謂陸前濱街道ニシテ産業及交通聯絡上ノ要路ナリ然ルニ現道路ハ其幅員概ネ狹隘ニシテ屈曲多ク近時激增セル自動車運輸等ノ爲メ一般ノ交通頗ル危険トナレリ

計畫路線ハ金町以西ハ都市計畫決定線ニ依リ開設セシ新道ニシテ一部ハ排水設備及歩道輾壓等施工セシガ其他ハ概ネ盛土ノ儘ナルヲ以テ本年度ニ於テ之ヲ鋪裝セントス
有効幅員ハ二十五米ニシテ歩車道ヲ高低區別シ中央十六米六ヲ車道ニ宛テ兩側各四米二ヲ歩道トス縱斷勾配ハ中川大橋前後(三十五分ノ一)乃至五十分ノ一ヲ除キ五百分ノ一乃至一千分ノ一ニシテ橫斷勾配

ハ車道ヲ四十分ノ一、双曲線トシ、歩道ハ六十分ノ一、平面勾配ヲ附セリ、排水設備ハ車道兩側ニ街渠聚水枳ヲ設ケ、縱斷排水管ニ導キ、附近ノ水路ニ排疏セシム。

路面鋪裝ノ内車道中央五米八ハ、他日東京市上水道配水主鐵管埋設後同市ニ於テ施行ノ旨申請ニ依リ之ヲ容レ、只地均及輾壓ニ止メ、中川大橋前後ニ限リ、土砂流失防止ノ爲メ、瀝青乳劑マカダム鋪裝ヲ施シ、其兩側各四米八ハ二層式(基層厚十四糎配合一、三、六、混凝土、表層厚四糎配合一、二、五、三、碎石混凝土)ニ依リ、全區域ヲ鋪裝ス、而シテ十米毎ニ伸縮目地ヲ設ケ、同橋前後延長百七十二米ハ盛土高キニ依リ、特ニ鐵網ヲ插入之ヲ補強ス、歩道ハ同橋ニ接スル左岸寄二百米ノ内橋梁ニ近キ部分ハ全幅ヲ混凝土平板鋪裝トシ、以下終點ニ至ル間ハ中央部ニ同三枚竝ヲ施行ス。

橋梁ハ本田四ツ木町地内水路横斷ノ爲メ、架設スルモノ一箇所ニシテ、幅員二十五米、長三米九、純徑間二米二、斜交角右四十一度ノ鐵筋混凝土函型框構ナリ。

起點以西追加延長六十米ハ盛土ヲ施シ、地均及輾壓ヲ行ヒ、水路横斷箇所ハ幅員六米、長五米ノ木橋同型二箇所ヲ假ニ架設シ、一時府道吾孀、新宿線ト聯絡セシム。

施工狀況

工事施行ニ關シテハ、工事區間ヲ二分シ、各見張所ヲ設ケ、四月二十三日ヨリ諸工事ニ着手セリ。路床工ハ橋梁以外ノ車道延長三千百五十三米三ニ於ケル路面鋪裝ノ基礎工ニシテ、地均ノ上重量十噸五ダイーゼル輾壓機ヲ使用シ、二十回以上反覆輾壓ヲ行ヒ、歩道ハ八年度事業ニ依リ完了セシ部分ヲ除キ、兩側延長三千七百四十九米ノ地均ヲ行ヒ、四噸輾壓機ヲ以テ充分輾壓ヲ施シ、全部ヲ竣成セリ。

排水工ハ路床ノ進捗ニ呼應シ車道兩端ニ街渠ヲ設ケ同柵及人孔ヲ合セ九百四十七個ヲ設置シ歩道下ニハ排水管三千五百四十三米七同支管二百五十八米一ヲ埋設シ全部之ヲ完了セリ

路面鋪裝ハ中川大橋前後ニ於テ車道中央幅五米八ニ厚六種ノ簡易鋪裝ヲ施シ面積二千五百四十平方米ヲ竣功セシメ其兩側各四米八ハ全長三千百五十三米三ニ互リ所定ノ二層式ヲ施工シ一部ニハ鐵網ヲ挿入總面積三萬一千六百二十八平方米ヲ竣成セリ歩道鋪裝ハ中川大橋以下終點ニ至ル約二百米ニシテ橋梁ニ近キ部分ハ全幅ニ混凝土平板ヲ敷詰メ其他ハ同三枚竝ヲ施シ面積五百五十平方米ヲ竣功セリ

橋梁ハ鐵筋混凝土函型框構一箇所ニシテ基礎ハ松丸太杭打ヲ施工シ次デ軀體混凝土及石積袖工等順調ニ進捗シ全部之ヲ竣成セシメ同橋ニ接シ宅地ニ面スル盛土高キ部分ニハ高一米六延長八米五ノ重力型擁壁ヲ築造セリ

起點以西追加延長六十米ニ要スル盛土ハ附近ニ之ヲ需メ難キニ依リ約十三籽ヲ距テタル千葉縣東葛飾郡明村地内ニ於テ補償採集シ貨物自動車ニ依リ二千三百七十立方米ヲ搬入ノ上地均及輾壓ヲ施行シ水路橫斷箇所ニハ假ニ木橋二箇所ヲ架設セリ

其他路面境界石及植樹根圍等ヲ施行セシガ見張小屋、材料小屋等ノ取壞シ運搬及全區域ニ互ル跡片付ハ遂ニ翌年度へ繰越トナレリ本年度使用セシ勞働者延人員ハ三萬九千五百五十四人ニシテ工事竣功迄ニハ豫定人員ヲ超過スルニ至ルベシ

本年度工事竣功高ハ十七萬六千九百六圓ニシテ之ヲ工費豫算十八萬圓ニ比較スルトキハ九割八分ノ竣功ナリトス其工事竣功表左ノ如シ

總計	共濟組合給與金	雜費	器具機械費	用地費	工事費		費目
					橋	道	
							前年度迄竣工高
							數量
							金額
							本年度竣工高
						竣工 一箇所 一段	數量
							金額
14,140.00	1,000.00	29,333.00	3,333.00	9,333.00	35,818.00	四,三三九	133,964.00
						竣工 一箇所 一段	數量
							金額
14,140.00	1,000.00	29,333.00	3,333.00	9,333.00	35,818.00	四,三三九	133,964.00
							合計
							竣工高
0.28					0.90	1.00	1.00

第五二 國道七號線(千葉)改良工事

九年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費豫算二十萬圓ヲ以テ千葉縣千葉郡津田沼町地内延長一千六百四十二米及八年度同事業ニ依リ路床ヲ完了セシ同郡幕張町竝檢見川町地内延長一千九百七十九米ノ車道鋪裝ヲ併セ施行中ノ處一部未竣功トナリシニ依リ本年度之ヲ繼續施行スルコトトナレリ

計畫大要

本國道ハ東京ヨリ市川ヲ經テ終點千葉市ニ達スル外房總地方ニ通ジ且市川松戸間ノ縣道ニ依リ六號國道所謂陸前濱街道ト聯絡セルヲ以テ産業及運輸上重要ナル路線ナリ

津田沼町地内ハ人家稠密シ而モ幅員狹隘漸ク七米五内外ニ過ギザル砂利道ニシテ軌近重交通頻繁ノ爲メ常ニ砂塵ヲ舉ゲ沿道住民ノ被ル損失及不安大ナルノミナラズ路面ノ損傷亦著シク其維持頗ル困難トナレリ

本計畫ニ於テハ概ネ現路線ヲ利用シ其片側ノ何レカヲ擴張シ家屋及物件移轉費其他補償費等ノ輕減ヲ計ルト共ニ屈曲ヲ緩和シ最小屈曲半徑九十五米、縱斷勾配ハ最急百分ノ一、其延長三十米、最小五百分ノ一トス有効幅員ハ十一米四ニシテ中央八米五ヲ車道ニ、兩側各一米四五ヲ歩道トシ尙其外側ニ幅五十五糎ノ側溝ヲ設ケ總幅員ヲ十二米五トス而シテ終點寄百六十五米ヲ除キ其他ハ凡テ歩車道ヲ高低區別シ車

道横斷勾配ハ四十分ノ一、拋物線形ヲ用ヒ歩道ハ車道ニ向ヒ五十分ノ一勾配トス路面排水ニハ車道兩側ニ街渠ヲ設ケ三十米間隔ニ街渠柵ヲ設置シ之ニ汚水ヲ聚集セシメ更ニ排水支管ニ依リ歩道端ニ設クル側溝ニ導キ横斷管渠ヲ通ジテ在來ノ水路ニ流下セシム

車道鋪裝ハ主トシテ厚六種ノトベカ式瀝青混凝土ナルモ土地ノ狀況ニ依リ二層式(基層厚十二種配合一、三、六混凝土、表層厚三種配合一、二、四碎石混凝土)トシ適當ニ施行ス

施工狀況

本工事ハ前年度ニ於テ殆ンド竣功シ剩スハ津田沼町地内車道鋪裝ノミナリ

鋪裝ハ厚六種ノ細粒式瀝青混凝土ニ依リ車道幅員七米五延長一千六百四十二米ヲ施工シ面積一萬二千九百八十平方米ヲ竣功セシメ次デ跡片付等八月三十一日迄ニ全部之ヲ完了セリ

本年度使用セシ勞働者延人員ハ四千七百二十人ニシテ前年度使用人員ヲ合シ三萬四千三百九十五人トナレリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
道路	一、七五七米	三、三三三、三三三圓	一、六四二米	一、七、四三三、三三三圓	三、三九九米	五、〇六六、六六六圓	一、〇〇〇	一、〇〇〇
雜費	六段	一、〇〇〇	一段	一、〇〇〇	六段	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
工費		一、〇〇〇		一、〇〇〇		一、〇〇〇		
用地費		一、〇〇〇		一、〇〇〇		一、〇〇〇		
機械費		一、〇〇〇		一、〇〇〇		一、〇〇〇		
器具費		一、〇〇〇		一、〇〇〇		一、〇〇〇		

總計		1,212,344		1,011,111		1,242,345	1,000
雜費		1,112,344		911,111		1,142,345	
共濟組合給與金							